

令和2年度
市町村支援技術者養成事業
報告書

令和3年2月

一般社団法人 全国林業改良普及協会

目 次

事業のあらまし	1
I. 事業の目的	2
II. 事業の内容	2
1. カリキュラム等、検討業務	2
2. 森林経営管理制度円滑化対策研修	2
3. 技術力維持・向上対策研修	2
4. 情報共有ネットワーク化	2
III. 事業の年間スケジュール	3
1. 森林経営管理制度円滑化対策研修	4
2. 技術力維持・向上対策研修、情報共有ネットワーク化	5
森林経営管理制度円滑化対策研修	7
I. 森林経営管理制度円滑化対策研修の目的	8
II. 研修カリキュラムの構築	8
1. カリキュラム構築にあたっての考え方	8
2. カリキュラムと個別研修項目の内容	10
III. 研修の実施方法	13
1. 運営体制	13
2. 研修の開催県	13
3. 研修の準備	13
4. 受講生への連絡	14
5. 事前課題の受取	14
6. 新型コロナウイルス感染対策	14
7. 研修実施に当たっての事前調整	15
IV. 研修実施結果	17
1. 研修の実施概要	17
V. 森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況	24
①北海道・東北ブロック	25
②関東ブロック	30
③中部・近畿①ブロック	35
④中部・近畿②ブロック	40
⑤西日本ブロック	45
⑥四国ブロック	50
⑦九州ブロック	55
VI. アンケートからみる研修の成果	60
1. アンケート結果の概要	60
VII. 研修の実施における課題と改善点	66
森林経営管理制度円滑化対策研修・参考資料	69
1-1 森林経営管理制度円滑化対策研修アンケート調査票	70
1-2 森林経営管理制度円滑化対策研修ふりかえりシートの様式	72
1-3 各ブロックの評価アンケート調査票	75
1-4 ブロック事務局名簿	117
1-5 新型コロナウイルスに対応した森林経営管理制度円滑化対策研修の実施方法について	119
1-6 研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について	122
1-7 体温・体調等記録用紙例	124

技術力維持・向上対策研修	127
I. 研修の実施概要	128
1. 運営体制	128
2. 技術力維持・向上対策研修の実施概要	128
II. 各ブロックの研修実施状況	145
1. 北海道ブロック	146
2. 東北ブロック	151
3. 関東ブロック	156
4. 中部ブロック	161
5. 近畿中国ブロック	166
6. 四国ブロック	171
III. 主な意見と課題の整理及び総括	176
1. 外部講師の主な意見	176
2. アンケート結果の概要(ブロック別)	179
3. アンケート結果の概要(全体)	185
4. 運営改善報告書の概要	187
5. 実践研修の課題の整理	189
6. 総括	191
情報共有ネットワーク化	193
I. サイトの開設状況	194
1. 市町村支援技術者養成事業ポータルサイト	194
2. 実践研修受講生向けサイト	195
3. 森林総合監理士PRサイト	197
4. 森林総合監理士ネットワークサイト	199
II. 総括	203
技術力維持・向上対策研修・参考資料	205
1-1 実践研修講師リスト(外部講師、林野庁講師)	206
1-2 実践研修修了者名簿	210
1-3 実践研修ふりかえりシートの様式例	212
1-4 実践研修アンケート調査票	214
1-5 実践研修タイムスケジュールの事例	215
1-6 研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について	218
1-7 体温・体調等記録用紙例	220
2-1 安全管理マニュアル	222
2-2 本事業で使用している研修関係用語の説明	233
2-3 事務担当、事務局名簿(統括事務局、ブロック事務局)	235

事業のあらまし

事業のあらまし

I. 事業の目的

森林経営管理制度の円滑な運用に向け、市町村に対し適切な指導・助言等の支援を行う都道府県職員等の技術者を養成・確保するため、森林経営管理制度に対応した研修カリキュラムの検討及び技術者養成のための研修の運営並びに技術者(森林総合監理士等を含む)の技術力の維持・向上を図るための実践的な継続教育の実施等を行う。

II. 事業の内容

1. カリキュラム等、検討業務

(1)カリキュラムの作成

市町村が森林経営管理制度を円滑に運営できるよう、市町村を支援できる都道府県職員等の人材を育成するため、森林経営管理制度円滑化対策研修に係るカリキュラム・講師、研修資料等の研修カリキュラム案(「カリキュラム案」という)を作成するとともに、受講生のアンケート結果の分析や林野庁担当官との打合せ等を基に当該研修の実施結果を考察し、翌年度に向けたカリキュラム案の改善点の整理を行う。

(2)基本テキストの作成

林野庁で企画した原稿を元に、研修等で使用する基本テキストを作成する。

2. 森林経営管理制度円滑化対策研修

市町村が森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、適切な指導・助言等を行う都道府県職員等の技術者を養成することを目的として、森林経営管理制度に基づく意向調査の実施や、経営管理権集積計画の作成、林業経営者への事業発注に関する手法等の技術的な知見等の習得を図るものとし、ブロック単位で講義形式及び対話形式により実施する。

3. 技術力維持・向上対策研修

市町村への指導・助言の役割を担うべき森林総合監理士をはじめとする技術者の技術水準の維持・向上を図ることを目的として、森林経営管理制度、地域の森林・林業の再生、林業の成長産業化等の課題をテーマに、現地検討及び討議等を通じて現場レベルでの課題解決策を共有する研修(「実践研修」という)をブロック単位で実施する。

4. 情報共有ネットワーク化

森林経営管理制度を運営していく上での課題への対応や先進的な地域活動の支援を行うため、森林総合監理士等相互間の情報共有や連携を推進するためのホームページを運営するとともに、森林総合監理士を広く一般にPRするための一般向けのサイトの運営と、森林総合監理士相互間の情報共有に供するための森林総合監理士専用サイト(パスワード等を設定)の運営等を行い、森林総合監理士等のネットワーク構築を行う。

Ⅲ. 事業の年間スケジュール

次頁図のとおりである。

2. 技術力維持・向上対策研修(実践研修)、情報共有ネットワーク化

事業の内容	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	1月	2月																				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第1週	第2週	第3週	第4週																						
技術力維持・向上対策研修(実践研修)	4~8 祝:4.5.6	11~15 祝:11.12.13	18~22 祝:18.19.20	25~29 祝:25.26.27	1~5 祝:1.2.3	8~12 祝:8.9.10	15~19 祝:15.16.17	22~26 祝:22.23.24	6~10 祝:6.7.8	13~17 祝:13.14.15	20~24 祝:20.21.22	3~7 祝:3.4.5	10~14 祝:10.11.12	17~21 祝:17.18.19	24~28 祝:24.25.26	31~9/4 祝:31.1.2	7~11 祝:7.8.9	14~18 祝:14.15.16	21~25 祝:21.22.23	28~30 祝:28.29.30	5~9 祝:5.6.7	12~16 祝:12.13.14	19~23 祝:19.20.21	26~30 祝:26.27.28	2~6 祝:2.3.4	9~13 祝:9.10.11	16~20 祝:16.17.18	23~27 祝:23.24.25											
北海道ブロック																																							
東北ブロック																																							
関東ブロック																																							
中部ブロック																																							
近畿中国ブロック																																							
四国ブロック																																							
その他																																							
情報共有ネットワーク化																																							

森林経営管理制度円滑化対策研修

森林経営管理制度円滑化対策研修

I. 森林経営管理制度円滑化対策研修の目的

本研修は、「令和2年市町村支援技術者養成事業委託事業」において行われる研修事業のうちのひとつである。事業の目的は、市町村が森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、適切な指導・助言等を行う都道府県職員等の技術者を養成することである。

II. 研修カリキュラムの構築

1. カリキュラム構築にあたっての考え方

ア 基本的な考え方

本研修は平成31年4月に施行された「森林経営管理法」に基づく森林経営管理制度の円滑な運用を図るため、市町村の森林・林業担当者に対し適切な指導・助言等ができる都道府県等の技術者の養成を目的として実施されるものであった。

制度への取組も2年目となり、全国各地で地域特性を活かした本制度の推進に向けた様々な取組が進められている。地域によって様々な課題が整理され、その課題解決に向けた多くの試行錯誤が行われている。そうした先行する市町村のノウハウ等を学びながら、制度の導入にあたって、適切な運用方法を検討し、市町村に対して指導・助言等ができるよう、特に応用力を養うことを主たる目的としてカリキュラムの作成を行った。

イ 研修内容の検討

森林経営管理制度の運用を円滑に進めるために、上記の基本的な考え方も念頭に、研修においてどのような内容を理解させることが効果的かの検討を行った。

研修全体の流れとしては、まず、基本的なものとして、①森林経営管理制度そのものに係る理解をさらに深めること、その上で、②現状における他の市町村の取組に対する理解を通じて、研修生自身の今後の対応にあたっての応用力の強化を図ることとした。

さらに制度における個別の手続きに関する理解を深めることが必要との観点から、③市町村が再委託を行う民間事業者を選定する上で必要となる、優れた民間事業者についての理解の促進と、④「経営管理権集積計画」の模範的作成を通じた基本の理解と疑問点の解消、⑤「市町村森林経営管理事業」を実施する上で必要となる適切な森林施業に対する理解の促進を図ることとした。④については発表、質問、意見交換などの手法を用いることにより応用力を養うこととした。

そして、研修生が市町村に対して効果的な支援・指導を行えるようになるためとの観点から、⑥制度の実施主体である市町村の制度に対する考え方や抱える課題に対する理解の促進を図ることとした。詳細については以下のとおりである。

① 森林経営管理制度そのものに係る理解の促進

森林経営管理制度については、これまで林野庁が各都道府県において制度に関する説明会を開催していることや林野庁が「森林経営管理制度に係る事務の手引」（令和2年12月24日付け最終改正）を作成していることから、研修生は制度の概要については一定の理解をしていると思われるが、この制度が創設された背景や制度の目的を十分理解することで市町村支援にあたって応

用の幅を広げること、また、制度の要となる市町村が作成する「経営管理権集積計画」のポイントや作成手順などについて、理解を深め、これまでの疑問を解消するため、研修項目「森林経営管理制度の概要と現状」及び「経営管理権集積計画の作成」を行う。

② 他の都道府県や市町村の取組に対する理解と今後の対応における応用力の強化

研修生の属する都道府県内の任意の市町村の意向調査実施（予定）状況を調べて、その結果を意向調査の事例として提出し、研修生が相互に発表・紹介を行い、それに対して質問や意見交換を行うことで、他都道府県等の市町村の意向調査の取組の詳細や背景、課題についての理解を促すとともに、これらを通じて研修生が自らの地域への応用を考えることなどより、今後の市町村支援における応用力を養うため、研修項目「経営管理権集積計画の作成」（講義と事前課題「意向調査の実施状況」についての研修生からの発表、意見交換）を行う。

③ 市町村が再委託を行う民間事業者を選定する上で必要となる、優れた民間事業者についての理解の促進

森林経営管理制度では、市町村は森林所有者から管理経営の委託を受けた森林のうち、林業経営に適した森林については民間事業者に再委託をすることができるが、この民間事業者について、法律（第36条第2項）では、①経営管理を効率的かつ安定的に行う能力を有すると認められること、②経営管理を確実に行うに足る経理的な基礎を有すると認められることの2つの要件に適合することが必要とされている。

また、その基準については「森林経営管理法の運用について」（平成30年12月21日付け林野庁長官通知）においてその考えが示されている。

このような基準を満たす優良な民間事業者の経営や事業実行に対する考え方を知り、その特徴を把握した上で、今後の再委託等の事務に取り組むことが可能となるよう、研修項目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」を行う。

④「経営管理権集積計画」の模擬的作成を通じた基本の理解と疑問点の解消

「経営管理権集積計画」とは、市町村が所有者に代わって森林の経営管理を行うことが必要かつ適当と認める場合に、当該森林の経営管理を行う権利を市町村が取得するために定める計画である。

「経営管理権集積計画」の模擬的作成を事前課題として研修生に課し、計画作成プロセスの体験を通じて疑問点等を明らかにし、研修においてこれらの疑問点を解消することなどにより、計画の概要や作成手順の理解を促進させるため、研修項目「経営管理権集積計画演習」を行う。

⑤「市町村森林経営管理事業」を実施する上で必要となる適切な森林施業に対する理解

経営管理権集積計画により市町村が森林所有者から委託を受けた森林は、林業経営が成り立つかどうかにより、①民間事業者に再委託されるものと、②市町村自らが管理するものとに区分される。

このうち、市町村自らが管理経営を行う際に実施する「市町村森林経営管理事業」について法律では、「事業の対象となる森林の状況を踏まえて、複層林化その他の方法により、その森林について経営管理を行うものとする」（第33条第2項）とされている。

このため、複層林化を含めた森林づくりの考え方や手法についての理解を促進するため、研修項目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」を行う。

⑥制度の実施主体である市町村の制度に対する考え方や抱える課題に対する理解の促進

都道府県職員が市町村に対して支援・指導をする際に、市町村が森林経営管理制度に対してどのような考えを持っているか、何を課題と考えているかなどについて理解していることは、支援・指導を円滑に行う上でも重要である。このため、本制度に対して先進的あるいは積極的に対応している市町村からの事例紹介を通じて、市町村の考え方等を理解するため、研修項目「先進市町村の取組事例」を行う。

ウ 研修効果を高める研修手法の採用

研修生間での発表（報告）や意見交換、林野庁からのコメントやアドバイスなどを受けることを通じて応用力を養うこととし、研修方法は講師から講義を受ける方法のみならず、研修生に事前に課した、事前課題1「森林経営管理制度に対する質問」、事前課題2「意向調査の実施状況」、事前課題3「模擬的 経営管理権集積計画の作成」などを研修資料として活用し、研修生による発表（報告）や意見交換等が活発に行われる方法を採用した。

また、発表（報告）や意見交換において、研修生の積極的な参加を可能とするよう、進行役（コーディネーター）が研修生の積極的参加を促すよう運営に努めた。

このような方法を採用することで、他の研修生や林野庁に対する質問や意見交換を通じて、森林経営管理制度への理解を深めることができるとともに、他の都道府県や市町村での経営管理制度についての取組状況や抱える課題、そして対応などについても知ることができ、研修生それぞれが今後直面する課題等に対応するための貴重な知見となり応用力を広げることができると考えられた。

2. カリキュラムと個別研修項目の内容

研修期間は研修生の業務を念頭に比較的参加が容易と考えられる3日間（実質の研修期間2日間）とし、上記1. イの研修内容の考え方を踏まえ、3日間の研修の研修項目のねらい、概要及び進め方については以下を基本とした。なお、研修項目の割当時間については、ブロックによって若干異なるため、本研修第1回目の北海道・東北ブロックのカリキュラムに基づいて紹介する。

1日目午後

【講義】「森林経営管理制度の概要と現状」(13:10～14:30)

ねらい：森林経営管理制度の意義や概要、制度に関連する都道府県や市町村の対応についての理解を深めること目的とする。

研修概要：教材に基づき説明した後、事前課題1である「森林経営管理制度に対する質問等」のうち、制度全般に関する質問への回答や意見交換を行いながら講義を進める。また、都道府県や市町村の対応について、全国的な動向や特徴のある事例を紹介する。

進め方：研修にあたって、これまでの林野庁の説明会などで十分理解できなかった点などをクリアにしてもらうため、予め研修生から事前課題（1）「森林経営管理制度に対する質問等」を提出してもらい、この点にも触れながら講義を行う。さらに、制度の取組が全国的にどのような状況であるのか、特徴のある市町村の事例等についても紹介する。

【講義・意見交換】「経営管理権集積計画の作成」(14:45～16:30)

ねらい：意向調査の実施から経営管理権集積計画の作成までの基本的な流れや集積計画に記載す

べき内容を理解する。

研修概要：集積計画の標準的な作成方法等についての説明のほか、事前課題1のうち、経営管理権集積計画に関する質問への回答や意見交換を行いながら講義を進める。

さらに、事前課題「意向調査の実施状況」についての受講生からの発表について意見交換を行う。

進め方：事前課題2の提出資料「意向調査の実施状況」により、次について研修生が発表する。研修生が所属する都道府県内の任意の市町村の意向調査実施（予定）状況、基本的な考え方、進め方、進捗状況等、都道府県や支援組織の支援状況、取組の課題、受講生や林野庁と意見交換したい事項等。発表者の選定は、当該ブロックの研修に参加した都道府県のバランス等も考慮する。

それらの発表に対して、他都道府県の研修生からの質問や意見交換を行ってもらおう。また、適宜林野庁からコメント等をもろう。

2日目午前

【講義・意見交換】「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」(9:15~10:55)

ねらい：都道府県は、経営管理実施権の設定を希望する民間事業者を公募・公表することとなっており、この際、市町村は都道府県が公表するにふさわしい者を推薦することができることとなっている。また、市町村は経営管理実施権配分計画を定める場合、都道府県が公表した民間事業者の中から、経営管理実施権を設定する民間事業者を選定することとなっている。

このため、優れた民間事業者の経営姿勢や現場の活動などの特徴を理解することで、民間事業者の選定等に係る判断や育成方法の検討に必要な能力を養う。

研修概要：優れた民間事業者の活動や取組について、民間事業者から説明を受け、質疑や意見交換を行い、その特徴をまとめる。

進め方：民間事業者からの説明を受けて、意見交換等を行い、研修生は優良な民間事業者の特徴のポイントを整理する。これに対して民間事業者から正しく特徴を捉えているかどうかの観点でコメントをもろう。

【講義・意見交換】「先進市町村の取組事例」(11:10~12:10)

ねらい：森林経営管理制度の実施主体である市町村がどのような考えで制度に対する取組を行い、どのような課題を有しているかについて理解を深める。

研修概要：積極的に取り組んでいる（取り組もうとしている）市町村等から取組内容や課題についての説明を受け、質問や意見交換を行う。

進め方：市町村による説明終了後に、質問及び意見交換の時間を十分に確保する。

2日目午後

【演習】「経営管理権集積計画演習」(13:00~16:45)

ねらい：事前課題3で作成した模擬的「経営管理権集積計画」の発表と林野庁からのコメント、受講生間の意見交換等を通じて、計画を作成するにあたっての対象森林の考え方、経営管理の内容の検討等について、様々な視点から考えられる力を身に付けてもらう。

研修概要：受講生が事前課題3で作成した模擬的「経営管理権集積計画」について、作成にあたって生じた疑問点や課題なども含めて発表を行った後、これに対する質疑や意見交換を行いながら演習を進める。

進め方：研修生より提出のあった模擬的な経営管理権集積計画について、各県少なくとも1名の研修生に発表してもらおう。発表にあたっては事前課題3の模擬的「経営管理権集積計画」により作成した、基本編2課題（「集積計画の本文（個別事項、共通事項、別添）」「集積計画対象森林を明らかにする図面」と応用編により説明してもらおう。

発表に対して他の研修生から、例えば、自分が作成にあたって困難と思ったことを発表者がどのようにクリアしたかなどの質問等をしてもらい、計画の作成方法について理解を深めてもらう。また、研修生の発表、質問等に対して、必要に応じて林野庁からコメントをもらう。最後に、林野庁で検討した団地A及び団地Bの集積計画の作成例について解説する。

3日目午前

【講義】「市町村森林経営管理事業のための森林施業」(9:15～10:45)

ねらい：市町村森林経営管理事業に関連し、森林づくり全般に対する考え方について最新の知見により理解を深める。

研修概要：針広混交林化等に向け、自然的条件等の状況に応じた施業方法を選択できるように、森林づくり全般に関する講義を行う。

進め方：講義終了に質問時間を十分に確保する。

【講義】「経営管理権集積計画の作成等に係る留意事項」(10:55～11:55)

ねらい：集積計画の作成等を行うにあたって、特に留意すべきポイントについて、習得してもらい、「経営管理権集積計画演習」を通して身に付けてもらった知見とあわせ、今後、市町村等に対して適切に指導・助言できる能力を習得してもらう。

研修概要：集積計画の実例も交えながら、計画の作成等に当たって留意すべき事項等について講義を行う。

進め方：研修全体を通じての質問等を受ける。

Ⅲ. 研修の実施方法

1. 運営体制

別図のとおり研修運営を行った。

2. 研修の開催県

研修を開催した都道府県は次のとおり。()内は受講対象とする主な都道府県を割り振ったが、他のブロックへの参加も可能とした。

(1) 北海道・東北ブロック 開催県：宮城県（北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）

(2) 関東ブロック 開催県：栃木県（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県）

(3) 中部・近畿①ブロック 開催県：石川県 中部（長野県、富山県、石川県、福井県）、近畿（滋賀県、京都府、大阪府）

(4) 中部・近畿②ブロック 開催県：静岡県 中部（愛知県、岐阜県、静岡県、山梨県）、近畿（三重県、奈良県、和歌山県）

(5) 西日本ブロック 開催県：鳥取県 中国（岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県）、近畿（兵庫県）

(6) 四国ブロック 開催県：高知県 四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

(7) 九州ブロック 開催県：鹿児島県 九州（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

3. 研修の準備

①研修開催県との打合せ内容

- ・推薦いただいた外部講師（制度に先進的に取り組む市町村）の確認
- ・外部講師（優良民間事業者）の選定
- ・研修日程の確認
- ・研修会場の確認
 - *基本的に県庁所在地等の主要都市で、駅からのアクセスが容易な会場を選定。
- ・都道府県独自のコロナウィルス感染対策防止の確認

②各ブロックの打合せ内容

研修の実施に際し、諸準備を行うことを目的に、研修を実施した7県に研修運営をサポートするブロック事務局を設置した。各ブロック事務局との打合せ内容は次のとおり。

- ・研修会場の選定・確認
 - *コロナウィルス感染対策防止の対応として、募集人員の2倍以上の収容人員の会場を確保。
- ・必要な機材や課題等を確認
- ・受講生の座席位置の検討等
- ・役割分担、研修の流れの確認
- ・県庁への情報提供と協力依頼

- ・研修開催時の基本的なコロナウイルス感染防止策の共有

4. 受講生への連絡

○受講案内

各都道府県の受講生と研修窓口（森林経営管理制度）に向けて、ブロックごとに研修の案内の第一報「受講の手引き」とともに事前課題の作成要領等を送付した。

- ・受講の手引き
- ・研修の概要
- ・カリキュラム
- ・事前課題について（受講生に研修前に作成・提出いただく資料）
- ・模範的「経営管理権集積計画」の作成要領
- ・受講生名簿（各ブロックごと）
- ・コロナウイルス感染防止対策について（共通）
- ・体温・体調等記録用紙（共通）

○問い合わせ先

研修会場等、研修運営についての問い合わせ先は、各ブロック事務局とし、研修内容、事前課題内容についての問い合わせ先は、事務局・全国林業改良普及協会とした。

5. 事前課題の受取

受講生からの事前課題の受け取りは各ブロック事務局が行い、事前課題の締め切り日を目途に未提出者に督促を行った。ブロック事務局は取りまとめた事前課題を事務局・全国林業改良普及協会へ送付した。事務局では課題内容を確認し、内容に不足があった場合には各受講生に直接連絡して対応を行った。おおよその事前課題を事務局が受け取った段階で、林野庁と課題の共有を行った。

6. 新型コロナウイルス感染対策

令和2年度の研修実施にあたって、いわゆるコロナ禍の中でこれまでどおりの集合形式での研修が実施できるかどうか危ぶまれた。

本研修は、講師の講義のみによるものではなく、受講生との意見交換、受講生の課題発表など、受講生とともに作り上げる研修であり、このような研修方法により研修効果を高めることとしていたことから、集合形式での研修が困難となれば、十分な研修効果が得られないことが心配されたところである。

しかしながら、7ブロックでの研修が9～11月の実施となり、コロナウイルスの感染が小康状態にあった時期であったことから、国が示すコロナ禍でのイベント実施の方法等を十分に踏まえ、研修会場においては、体温計、アルコールなどの消毒薬を準備するほか、講師と受講生の間にはアクリル板を設置し、講師等にはフェイスガードを着用していただくなどの措置を講じるとともに、受講生に対しても研修開始の2週間前から検温を行うように指示し、研修期間中も研修開始時には事務局で検温を行い、それらを記録用紙に記録させるとともに、研修中において体調不良となった場合には研修参加を中止してもらい旨予め伝えるなどの対応を行い、研修生自身が十分なコロナ対策を行うように促したところである。

なお、検温記録は事務局で保管し、その後の万が一に備えたところである。

このような対応の下、研修においてコロナ感染が発生することはなく、無事に研修を実施することができた。

これらの対応に関しての資料は、事前に林野庁と行った考え方の整理（参考資料 1-5）、研修生に対する指示事項（参考資料 1-6、参考資料 1-7）である。

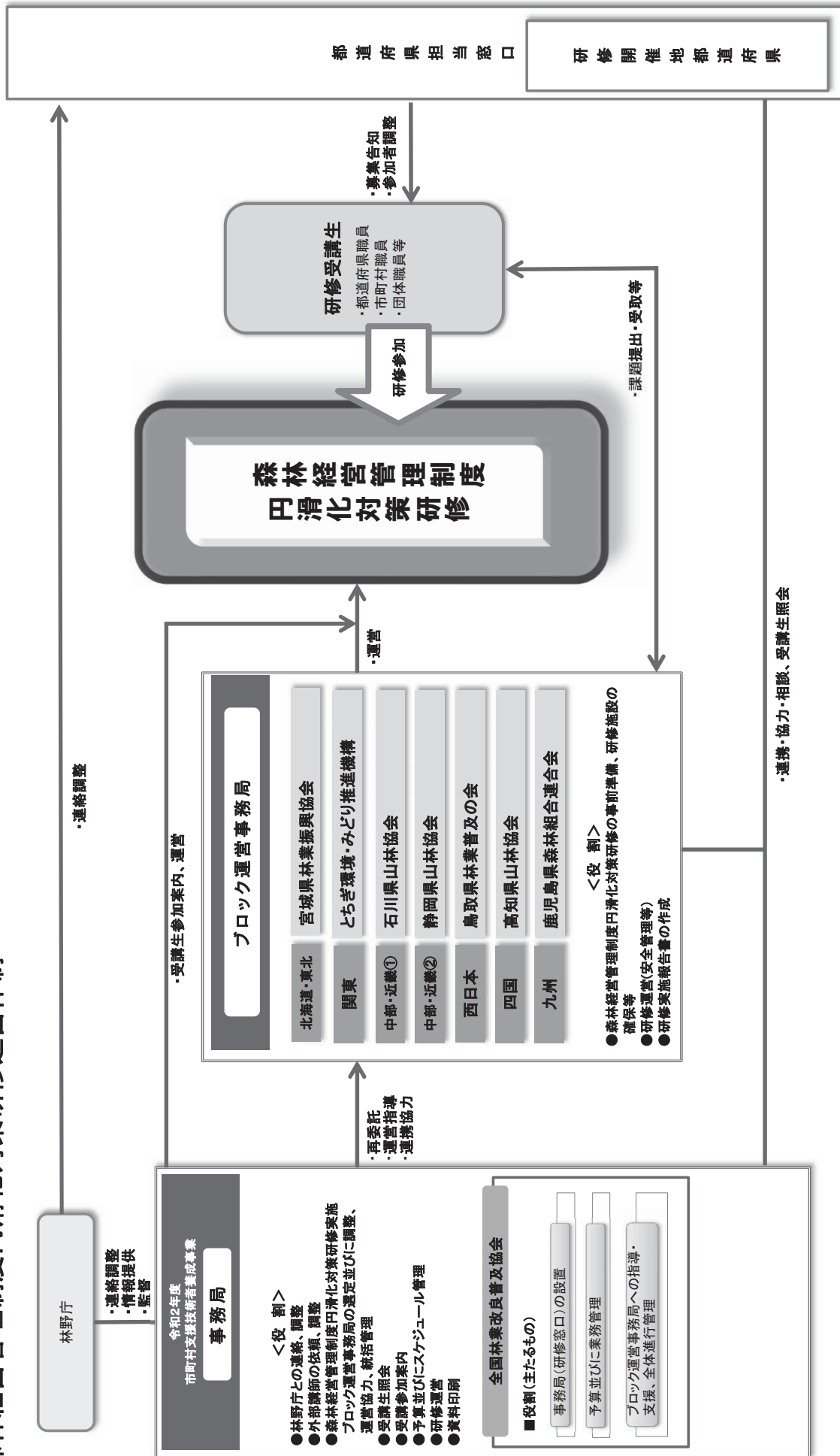
7. 研修実施に当たっての事前調整

研修の目的や構成、講師に依頼する講義の研修における位置づけなどが適切に伝わっていない場合、講師の人選、講義の内容が十分研修の目的に沿ったものとならないことがある。

このため、関係者には複数回連絡をとるなどして、これらについて説明を行ってきた。今回の研修においてもこれまでどおりそのような対応を取り、講師には十分理解されていたと考えていたが、直前になって提出された資料を確認したところ、十分な理解が得られていないことが判明し、急遽具体的な修正依頼を行った事例があった。

講師の理解が得られたかどうかは提出された資料により初めて確認ができるが、講師の事情もあり、十分な時間をもって資料を提出していただくことができないこともある。そのため、その後は過去の講義の資料を送るなどして、ポイントとなるところを説明して理解を得ることとした。また、このような調整を含め事前調整には、森林経営管理制度に関する一定の知識と林業に関する知識が必要とされたところである。

1. 森林経営管理制度円滑化対策研修運営体制



IV. 研修実施結果

1. 研修の実施概要

(1) 研修実施場所・研修日程

研修は全国7ブロック（北海道・東北、関東、中部・近畿①、中部・近畿②、西日本、四国、九州）において9月から11月にかけて実施した。

ブロック名	日程	研修会場	
		施設名	所在地
北海道・東北	9月16日 ～18日	仙都会館	宮城県仙台市青葉区中央2-2-10
関東	11月24日 ～26日	地方職員共済組合栃木県職員 会館 ニューみくら	栃木県宇都宮市昭和1丁目3番6号
中部・近畿①	10月27日 ～29日	金沢勤労者プラザ	石川県金沢市北安江3-2-20
中部・近畿②	10月20日 ～22日	<1～2日目> 静岡県男女共同参画センター あざれあ	静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17番1号
		<3日目> レイアップ御幸町ビル	静岡県静岡市葵区御幸町11-8
西日本	10月6日 ～8日	鳥取市民交流センター	鳥取県鳥取市幸町71
四国	9月28日 ～30日	高知市町村職員共済会館	高知県高知市本町5丁目3-20
九州	11月10日 ～12日	宝山ホール (鹿児島県文化センター)	鹿児島県鹿児島市山下町5-3

(2)カリキュラム例

ブロックによって、会場の利用時間が若干異なったため、ブロックごとの研修開始・終了時間は30分程度前後した。次に示すのは、令和2年度の本研修第1回目の北海道・東北ブロックのカリキュラム例である。

森林経営管理制度円滑化対策研修（北海道・東北ブロック）カリキュラム										休憩マーク			
		9:10	10:00	11:00	12:00	12:45	14:00	15:00	16:00	～17:00			
9月16日 (水) 1日目		会場の利用時間9:00～17:00のため、9時から10分間準備、9:10に研修開始とする				開講式・オリエンテーション(25分) 12:45～	事務局	【講義】森林経営管理制度の概要と現状(80分) 13:10～14:30	林野庁	【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成*事前課題「意向調査の実施状況」の発表・意見交換を含む(105分) 14:45～16:30	林野庁 受講生からの発表	ふりかえり(20分)	事務連絡(10分)
		休憩(15分)					休憩(15分)						
9月17日 (木) 2日目	日程説明等(5分)	【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換(100分) 9:15～10:55	【講義・意見交換】先進市町村の取組事例(60分) 11:10～12:10		昼食(50分)	【演習】経営管理権集積計画演習(前半)(105分) 13:00～14:45		【演習】経営管理権集積計画演習(後半)(105分) 15:00～16:45		ふりかえり(10分)	事務連絡(5分)		
		林業事業者の担当者	市町村の担当者			受講生からの発表 アドバイス：林野庁		受講生からの発表 アドバイス：林野庁					
休憩(10分)													
9月18日 (金) 3日目	日程説明等(5分)	【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業(90分) 9:15～10:45	【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項(60分) 10:55～11:55	総括(20分) 11:55～12:15	ふりかえり(20分)	閉講(5分) ～12:40終了							
		森林総研	林野庁	林野庁									
※各講義や演習における()は予定時間であり、変更となる可能性があります。													
※開始・終了時刻は、会場の利用条件等により変更となる可能性があります。													

(3) 研修講師

北海道・東北ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	佐藤太一	株式会社 佐久
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	千葉哲彦	登米市 農林振興課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

関東ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	高瀬洋之	たかはら森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	斎藤敦子	矢板市農林課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

中部・近畿①ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	安高志穂	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	大石貴久	林野庁森林利用課森林集積推進室

【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	片山健二	かが森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	井海之傑 (代理 間明弘光)	白山市林業水産課 (石川県林業公社 林業アドバイザー)
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

中部・近畿②ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	望月貴治	株式会社 白糸植物園
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	渡邊直樹	富士市林政課
【演習】経営管理権集積計画演習	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

西日本ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	嶋沢和幸	鳥取県東部森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	下石直生 東 勇太	鳥取市林務水産課 八頭町役場産業観光課
【演習】経営管理権集積計画演習	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室

【講義】市町村森林経営管理事業のための 森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等 に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

四国ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の 作成	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための 優良民間事業者との意見交換	宮本昌博	中村市森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	室町爽子	四万十市農林水産課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための 森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等 に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

九州ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の 作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための 優良民間事業者との意見交換	田中佑樹	有限会社 田中林業
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	山中敏博 坂元成康 山之口 猛	鹿児島市農林水産部生産流通課 鹿児島県森林組合連合会 森林経営管理市町村サポートセンター (鹿児島県森林組合連合会)
【演習】経営管理権集積計画演習	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための 森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等 に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

(4) 研修受講者

ブロック	都道府県名	都道府県別受講者内訳					ブロック別受講者内訳				
		計	都道府県	市町村	団体	国有林	計	都道府県	市町村	団体	国有林
北海道 東北	北海道	5	5				24	14	8	2	0
	青森県	5	2	1	2						
	岩手県	1	1								
	宮城県	4	3	1							
	秋田県	0									
	山形県	3	1	2							
	福島県	6	2	4							
	福島県	3	1	2							
関東	茨城県	0				13	4	8	1	0	
	栃木県	7	1	6							
	群馬県	1	1								
	埼玉県	0									
	千葉県	1	1								
	東京都	0									
	神奈川県	1			1						
	山梨県	0									
	新潟県	1		1							20
富山県	2	2									
石川県	12	6	3	3							
福井県	0										
長野県	0										
愛知県	0										
三重県	0										
滋賀県	1	1									
京都府	1	1									
大阪府	1	1									
和歌山県	1	1									
国有林	1				1						
中部近畿②	山梨県	1	1			20	4	10	6	0	
	静岡県	14	2	7	5						
	愛知県	1	1								
	京都府	1		1							
	和歌山県	3		2	1						
西日本	京都府	1	1			19	9	6	3	1	
	兵庫県	6	2	3	1						
	鳥取県	10	5	3	2						
	島根県	0									
	岡山県	0									
	広島県	0									
	山口県	0									
	愛媛県	1	1								
	国有林	1									1
四国	山口県	1	1			22	13	5	4	0	
	徳島県	0									
	香川県	0									
	愛媛県	9	3	2	4						
	高知県	12	9	3							
九州	福岡県	1	1			14	7	5	2	0	
	佐賀県	1		1							
	長崎県	2	2								
	熊本県	1	1								
	大分県	1			1						
	宮崎県	2		1	1						
	鹿児島県	6	3	3							
	沖縄県	0									
合計		132	63	46	21	2	132	63	46	21	2

(5) 研修受講者の年齢構成、男女比

① 年齢構成

年齢構成の表からは、全受講生 132 名のうち、名簿に年齢の記録がない（スポット参加）の 19 名については除いている。

表 受講生の所属ごとの参加者数

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
全受講生		1	16	27	41	18	9	1	113
所属	都道府県		5	10	23	16	3		57
	市町村	1	9	13	16	2	2		43
	団体		2	4	2		4	1	13

(単位:人)

表 受講生の所属ごとの年代別割合

(各属性を 100%としたときの割合)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全受講生		0.9	14.2	23.9	36.3	15.9	8.0	0.9
属性	都道府県	0.0	8.8	17.5	40.4	28.1	5.3	0.0
	市町村	2.3	20.9	30.2	37.2	4.7	4.7	0.0
	団体	0.0	15.4	30.8	15.4	0.0	30.8	7.7

(単位:%)

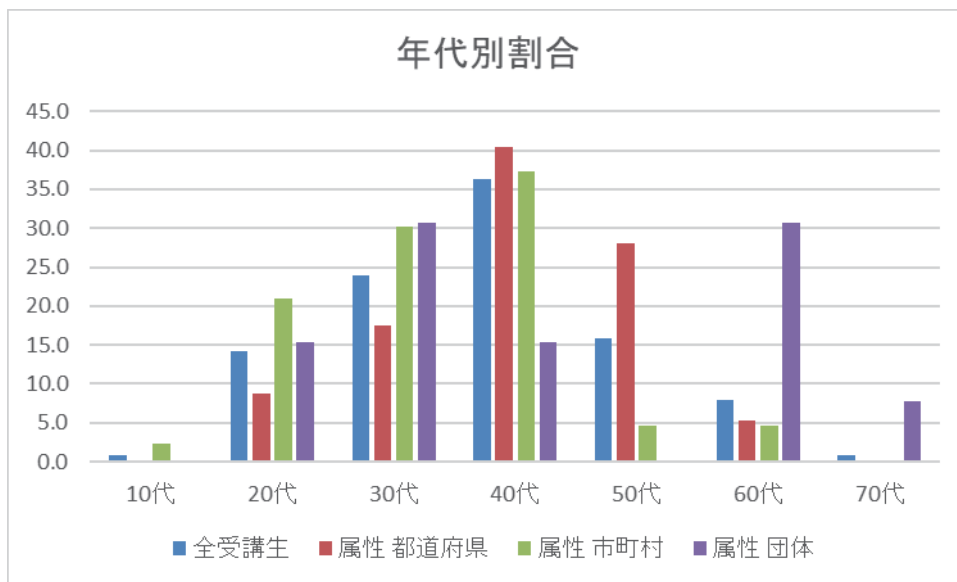


図 受講生の属性ごとの年代別割合 (各属性を 100%としたときの割合)

② 男女比

	総数	男性	女性
人数(人)	132	112	20
比率(%)	100	84.8	15.2

V. 森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況

森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況を共有する資料として、各ブロックでの研修の概要をまとめた「実施報告書」、受講生のアンケートを集計した「アンケート結果」を作成した。

研修の実施状況を記録写真（北海道・東北ブロック）によって、以下に紹介する。

		
<p>研修会場全景：1日目</p>	<p>森林経営管理制度の概要と現状：1日目</p>	<p>事例発表の流れ説明：1日目</p>
		
<p>制度運用のための優良民間事業者との意見交換（外部講師）：2日目</p>	<p>受講生からの事業者に対する経営姿勢や特徴などを集約：2日目</p>	<p>先進市町村の取組事例（外部講師）：2日目</p>
		
<p>経営管理権集積計画演習（事前課題発表）：2日目</p>	<p>市町村森林経営管理事業のための森林施業（外部講師）：3日目</p>	<p>経営管理権集積計画の作成等に係る留意事項：3日目</p>
		
<p>研修総括：3日目</p>	<p>受講風景1</p>	<p>受付時の検温（コロナウィルス感染対策）</p>

①森林経営管理制度円滑化対策研修 北海道・東北ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年9月16日(水)～9月18日(金)
研修会場 仙都会館5階5A会議室(宮城県仙台市)

2 研修受講者数:24名 [男性:21名 女性:3名]
(道県職員14名、市町村職員8名、公益社団法人2名)

北海道	5名	青森県	5名	岩手県	1名	宮城県	4名
山形県	3名	福島県	6名				

途中欠席者数:1名

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・初日、オリエンテーションと森林経営管理制度の概要と現状、経営管理権集積計画の作成。後者の講義では、北海道・青森・岩手・宮城・山形・福島各1名の計6名の受講生から事前課題の「意向調査の実施状況」について発表があったが、持ち時間が不足気味であった。

・2日目は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(南三陸町(佐久)におけるFSC認証を活用した取り組み/株式会社佐久)、先進市町村の取組事例(～大切な森林を次の世代へ～登米市の森林経営管理制度の取り組みについて/宮城県登米市)による講義が行われた。午後の経営管理権集積計画演習では、課題に対する理解度に温度差が感じられた。2、3日目は、受講生のうち1名が体調不良のため欠席(診察結果は熱中症)。

・3日目は、カリキュラムどおり、定刻どおりに終了。



2日目:制度運用のための優良民間事業者との意見交換



2日目先進市町村の取組事例

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・講師からの一方的な講義だけでなく受講生の発表の場の機会を設けるなど双方向による講義を工夫していた。事業者や自治体担当者による事例発表、現場(実践)主義の講義内容。

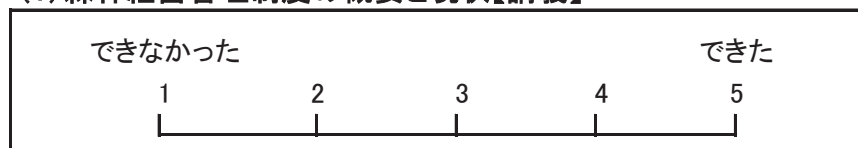
・コロナ禍での感染対策の措置。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 北海道東北ブロック アンケート集計結果

回収率： 21名 / 24名 (88%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

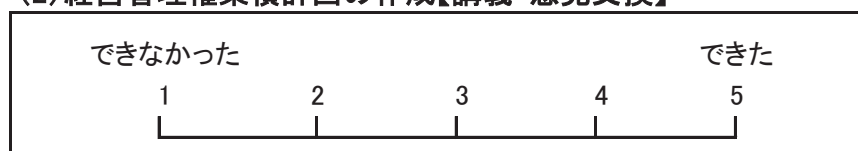
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (16名) 林野庁の担当者から直接話が聞け、ためになった／新しい情報も得られて良かった
- 5 (5名) 内容のおさらいとコメントで理解を深めた／丁寧な説明だった

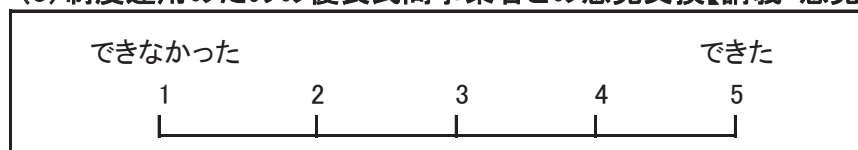
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：3.9

- 1 (0名)
- 2 (1名) 時間が足りなかった
- 3 (5名) 意見、質問の時間は多く取ってほしい／取組課題や意見交換の項目が参考になった
- 4 (11名) 今後の進め方に参考になった
- 5 (4名) 他道県の取組状況や考え方など勉強になった

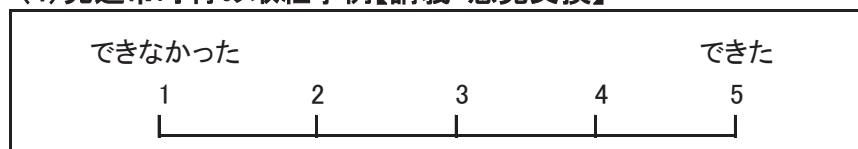
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0名)
- 2 (1名) 森林経営管理制度に関する取り組み内容がなく、今回の研修にはそぐわないと思った
- 3 (2名) 意欲と能力のある事業者の取り組みを学べて良かった
- 4 (8名) 地域に根差した林業事業者の話聞くことができ参考になった
- 5 (11名) FSC®を基軸に地域発展に貢献している取組事例を聞いて大変参考になった

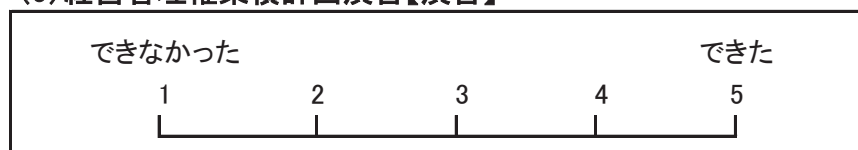
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 市への県のサポート体制がしっかりしていることに興味した
- 4 (14 名) 具体的な流れややり方の話を聞くことができ参考になった
- 5 (6 名) 意向調査をコンサルに委託した内容が参考になった

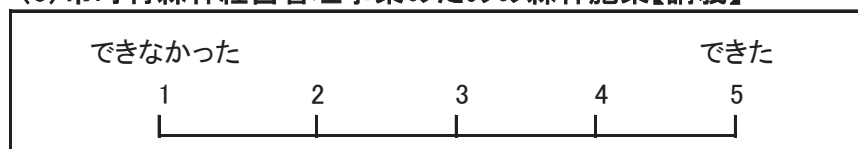
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.8

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 勉強不足で分からない点が多く、引き続き勉強する必要性を強く感じた
- 3 (5 名) 他の方の作成例や林野庁の方の作成例で以前よりもイメージができるようになった
- 4 (11 名) 集積計画を考える、様々なヒントを得ることができた
- 5 (4 名) 集積計画作成の注意点を振り返ることができた

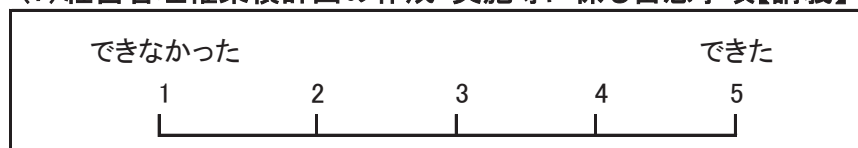
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 天然更新の認識不足が分かった
- 4 (14 名) 天然更新の難しさを知ることができた
- 5 (6 名) 天然更新を進めるポイントとして各種データを紹介して分かりやすい講義だった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.3

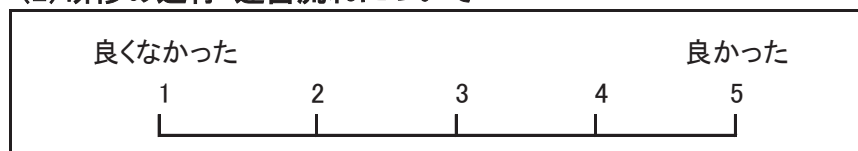
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 内容が盛りだくさんで覚えるのが大変だが、市町村に情報提供していきたい
- 4 (13 名) 重要なポイントが聞けた／所有権界と筆界の違いについて理解した
- 5 (6 名) 法律改正のポイント、国土地理院の内容が理解できた／理解度が増した

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（20名）
2：できていない（1名） 課題を提出した時に届いた旨の確認メールが欲しかった

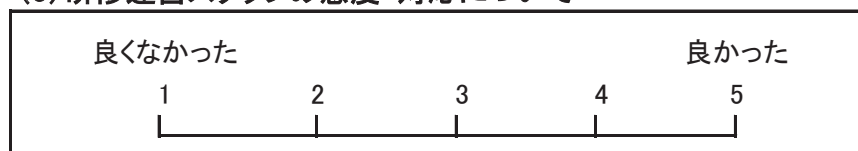
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：3.9

- 1（1名） 段取りが悪い
2（0名）
3（4名） パワーポイントの色、大きさをもっと大きく見えるものにした方が良かった
4（11名） 新しい生活様式での研修の進行は問題なかった
5（5名） スムーズで良かった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.5

- 1（1名） 運営が研修に集中していない場面があった。今後のブロックでは改善してほしい
2（0名）
3（2名）
4（3名） 良かった
5（15名） 丁寧な対応、同じ目線で対応していただいた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 今後地域の市町村へ支援するため資料提供を願う
- ・ 各県より提出された事例書の森林集積推進室での手直しや共通の特に多い修正すべきところが記された資料
- ・ パワーポイントのデータ共有
- ・ 後学のため、研修資料のファイル提供をお願いしたい
- ・ 林野庁の熱量は、県、市町村、末端まで伝わっているとは言えないため、説明会、研修は数多く続けてほしい
- ・ 経営管理制度上、必要な事務の細かい研修(境界明確化、集積計画の作成などポイントを絞ったもの)
- ・ 経験年数に応じて内容を変えてほしい
- ・ 新しい制度等に対応した研修にしてほしい
- ・ 意欲能力のある経営者の企画提案スキルアップ研修
- ・ 事業体の育成向けの研修。特に自分の森林を持っていない先進的な事業体の経営計画、皆伐、再造林の取組
- ・ 市町村を対象とした税の使い方

- ・ 森林以外への譲与税の活用法、考え方など

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全て参考になった
- ・ 国からのコメント等、非常に参考になる
- ・ 林野庁担当者の熱を感じた。率直なお話しが聞けて良かった
- ・ 今回の研修を受けて「自分の頭が固い」と感じた。もっと柔軟に業務を進めていきたいと感じた
- ・ 集積計画作成方法。事前の課題が出され、それについての振り返りをする研修方法で知識を深めることができた
- ・ 優良民間事業者（株式会社佐久）の講義
- ・ 林野庁の講義は具体的で大変分かりやすかった
- ・ 集積計画の演習発表は様々な意見、考えが聞けて良かった
- ・ 事前課題3つの課題設定の難易度が高いと感じた
- ・ グループ討議がないならリモートでの研修でも良いと思う
- ・ 他県の人と話さない、話せない研修は初めてだった。せめて席順をかえるなり話しやすいようにしてほしい
- ・ 研修時間が少ないためメニューは広くしないで作成書類の内容検討の具体的な指導としてほしい
- ・ 林野庁との意見交換の時間をもっと増やしてほしい
- ・ 講義を撮影していたようなので、動画をDVDで欲しい。聞いた内容を改めて市町村に伝えるが、時間、能力的に厳しい
- ・ 意見交換が多いので、学校形式より口の字の方が良いと思った
- ・ 時間がないため、ふりかえりシートは1日目のはじめに配ってほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(3 名)	資料は極力少なく、要点を分かりやすくしてほしい
80点台	(7 名)	他県と全く話ができなくて残念
90点台	(6 名)	時間が少し不足気味
100点	(5 名)	

平均： 87 点

②森林経営管理制度円滑化対策研修 関東ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年11月24日(火)～11月26日(木)
研修会場 地方職員共済組合栃木県職員会館ニューみくら(栃木県宇都宮市)

2 研修受講者数:13名 [男性:12名 女性:1名]

(県職員4名、市職員8名、民間事業者1名)

福島県	3名	群馬県	1名	栃木県	7名	千葉県	1名
神奈川県	1名						

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目林野庁森林集積推進室の概要講義と、意向調査に関する受講生の発表があり、その後の質疑応答は時間超過での途中打ち切りとなってしまった。

・2日目午前は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(たかはら森林組合)と先進市町村の取組事例(森林経営管理制度の取組/栃木県矢板市)の取組状況、実践事例の報告を聴き、質疑応答が行われた。

・午後の集積計画演習では、各受講者が提出した課題について策定意図等を発表し、質問や意見を受ける流れで進められ、すべての発表に対し、林野庁講師からのアドバイスがあった。

・午後後半は、林野庁講師から、計画策定例が説明され、質疑応答、ふりかえりの後、予定時間での終了となった。

・最終日は、森林総合研究所による講義と、林野庁講師からの事業実施における留意事項等の説明と総括があり、終了した。

・休憩時間を惜しんで意見交換等をしている研修生が多くみられ、他自治体の情報収集等もブロック会議の大きな意義と感じた。



2日目:制度運用のための優良民間事業者との意見交換(たかはら森林組合・栃木県)



2日目:先進市町村の取組事例(栃木県矢板市)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・感染防止対策としての座席配置、会場の換気・消毒、受付時の検温・手指消毒等、参加者の健康管理にできる限り配慮した。

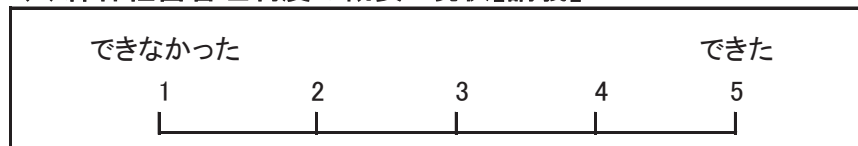
・資料は、事前に袋詰めし、まとめて配付することで準備時間の短縮に努めた。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 関東ブロック アンケート集計結果

回収率： 12名 / 13名 (92%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

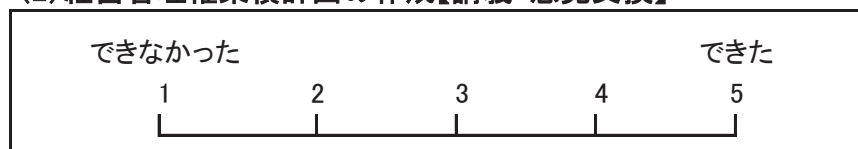
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：3.9

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 制度概要は理解できるが集積計画をどのように活用できるかメリットを見出しにくい
- 4 (7名) 制度についての確認と全国の現状についての情報は今後の参考になると感じた
- 5 (1名) 分かりやすくまとまった資料で説明して頂いたので理解しやすかった

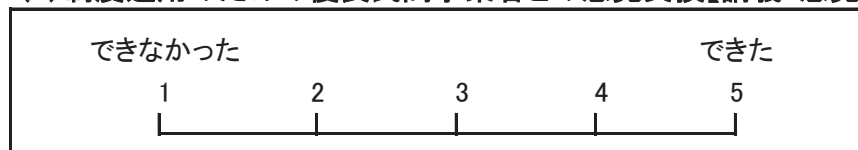
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：3.6

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 意識調査がどのようなものか理解が深まった／再度資料を自分なりに整理したい
- 4 (6名) 意識調査についての正しい理解を得ることができた
- 5 (0名)

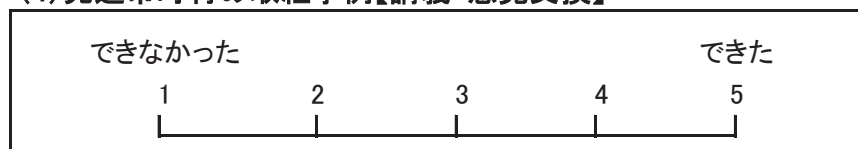
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (3名) 林分の材積の量、価格の算出方法を知ることができ有益だった／参考になった
- 4 (3名) 積極的に事業を行っている森林組合の事例に触れることができた
- 5 (5名) 見積額の提示や作業員のモチベーションが上がる賃金システム等経営努力を感じた

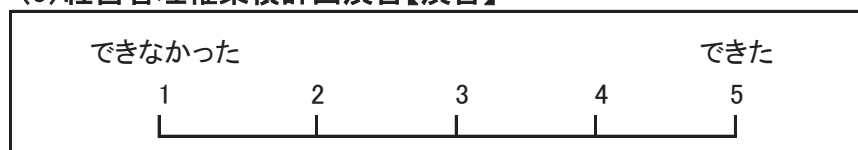
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.0

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 市の先進的取組を聞いて興味深い
- 4 (5 名) 積極的な取り組みに触れ、参考にしたいと考えた
- 5 (3 名) 制度への取り組みや意向調査の事前準備等、その後の流れなどを知ることができた

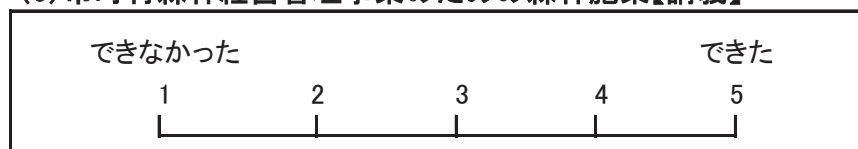
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：4.0

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 計画を立てる上での参考になった
- 4 (9 名) 自ら取り組む良い機会が効果的に理解が進んだ／有意義だった
- 5 (1 名)

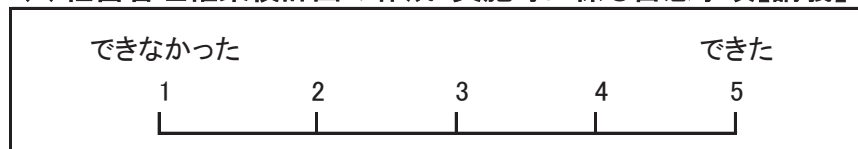
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名)
- 4 (8 名) 実際の森づくりにあたっての考え方を知ることができた
- 5 (3 名) 広葉樹林化について、いかに大変で時間がかかることなのか理解することができた

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：3.8

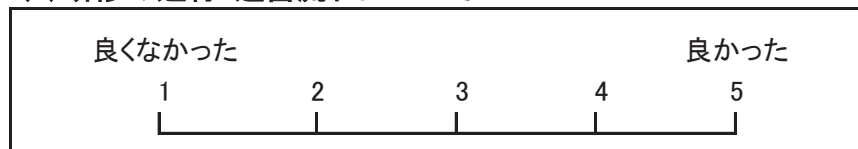
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (4 名) もう少し時間をとって説明してもらえると良かった／今後取り組む際の参考としたい
- 4 (4 名) 集積計画策定後は再委託が望ましいとこの研修に参加するまではそう思っていた
- 5 (2 名)

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1 : できていた (10 名)
2 : できていない (0 名)

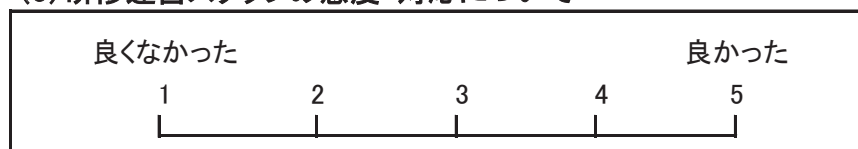
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均: 4.3

- 1 (0 名)
2 (0 名)
3 (2 名) もう少し問題を議論する雰囲気が必要だと思う／配布資料の整理が不十分と思われる
4 (3 名) 全体として時間が足りなかった／講義の進捗に合わせて時間の管理をされていた
5 (5 名) 事前の入念な準備のお陰でストレスなく取り組めた

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均: 4.8

- 1 (0 名)
2 (0 名)
3 (0 名)
4 (2 名)
5 (8 名) 丁寧に案内して頂けて大変助かった／コロナ対策等大変な中ご対応頂き感謝

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 林野庁の方が何時でも連絡すれば対応して頂けるのは有難いですが、県でも支援制度をとって頂けると大変助かる
- ・ 研修の内容が充実している分、庁内に持ち帰って展開するのが心配。このような有益な機会が増えると良い
- ・ 市町村職員は森林施業について詳しく学ぶ機会が少ないのでそのようなサポートや研修があると良い
- ・ 現地検討会

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全てが印象的であった
- ・ 広葉樹の天然更新について

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満 (0 名)

40点台 (0 名)

50点台 (0 名)

60点台 (0 名)

70点台 (3 名) 内容が多すぎて十分に理解する時間が不足／資料が整理されていない

80点台 (1 名) ややスピードが速くてついていけないところがあった

90点台 (2 名) 研修の時間が十分でなく、駆け足で進んでしまったところがある

100点 (3 名)

平均: 86 点

③森林経営管理制度円滑化対策研修 中部・近畿①ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年10月27日(火)～10月29日(木)
研修会場 金沢勤労者プラザ304・305研修室(石川県金沢市)

2 研修受講者数:20名 [男性:16名 女性:4名]
(府県職員12名、市町職員4名、国有林職員1名、団体職員3名)

新潟県	1名	富山県	2名	石川県	12名	和歌山県	1名
滋賀県	1名	京都府	1名	大阪府	1名	国有林	1名

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、林野庁森林集積推進室から経営管理制度の概要についての講義があり、受講者から木質利用の取扱や森林環境税と森林環境譲与税との関係などについて、質問があった。

・2日目は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(かが森林組合の概要/かが森林組合)と先進市町村の取組事例(白山市の森林経営管理制度の取組/白山市)が報告された。受講者からかが森林組合に対して、意向調査発注時の契約方法や事業体が市町に求めていることなどについて質問がなされた。白山市に対しては、意向調査地区の選定方法や所有者が不明な森林の扱いなどについての質問がなされた。

・3日目は、森林総合研究所から森林管理をしていく上での考え方などについて講義があった。目標とする林型など技術的な観点でおおいに参考になった。また、森林集積推進室から筆界推定にかかる手法などについて講義がなされた。

・講義中はもとより、講義終了後にも受講者は講師に個別事案について相談するなど、有意義な研修となった。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換(かが森林組合)



同意見交換で民間事業者に示された受講者からのコメント

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・広い会議室を使用するなど、新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に講じた上での開催となった。

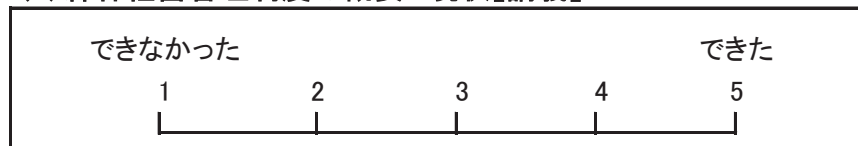
・それぞれの県や市町村での進捗状況に差があると思うが、森林経営管理集積計画に絞って研修し、同計画を事前課題で策定させるなど、より実践的な内容であった。それぞれの持ち場に帰って、業務に生かせると感じた。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 中部・近畿①ブロック アンケート集計結果

回収率： 19名 / 20名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

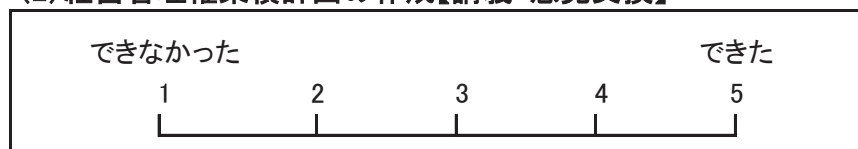
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.5

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (8名) 森林経営管理制度の基本から話を聞いて良かった／講義により理解を深められた
- 5 (7名) 譲与税の活用の検討の視点、市町村指導の参考となる／分かりやすい説明だった

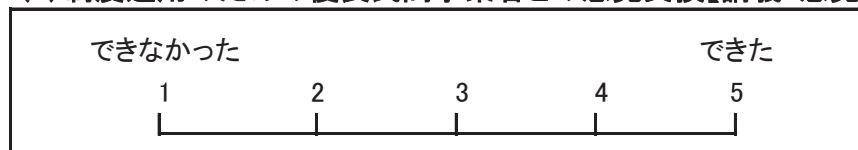
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.1

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 近県の情報をもっと知りたい／説明は分かりやすかった
- 4 (6名) 意向調査を実施している町が多く、参考にさせて頂きたい
- 5 (5名) 他の市町と情報共有が出来た／各県の悩みや問題点が聞けて有意義だった

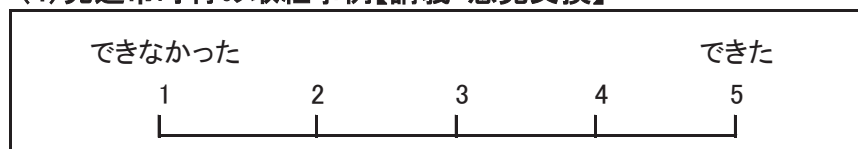
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 当市と全く違う状況の中での取組事例を当事者から聞いたことが良かった
- 4 (8名) 森林経営管理制度に対する熱意等を聞いて良かった／良い事例で参考となった
- 5 (9名) 地域の森林組合と協力して制度を運用する方法が分かった

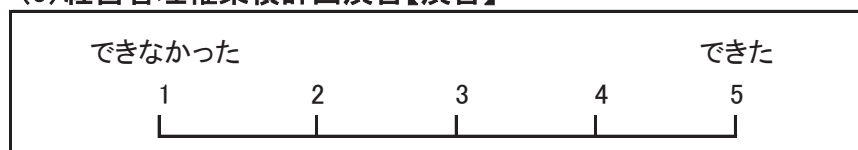
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 担当者の市職員から是非ご講義頂きたかった
- 4 (7 名) 地理や土地柄に合わせた制度運用があり、様々な視点があると感じた
- 5 (9 名) アドバイザーと市との連携の重要性、有意性がよく理解できた

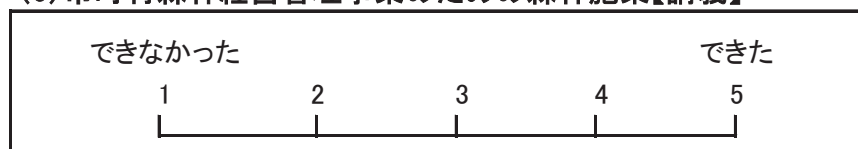
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.5

- 1 (1 名) 課題が深まった
- 2 (3 名) 集積計画の作成をしたことが無いので難しかった／よく見直して身につけていきたい
- 3 (2 名) 受講生の理解度や取り組みの差が大きかった／学ぶべき事がまだまだたくさんあると感じた
- 4 (3 名) 自らが考えた集積計画に対する添削・指導を直接頂けたことは大きな収穫であった
- 5 (4 名) 集積計画の規模感を掴めた／計画作成のポイントを学ぶことができた

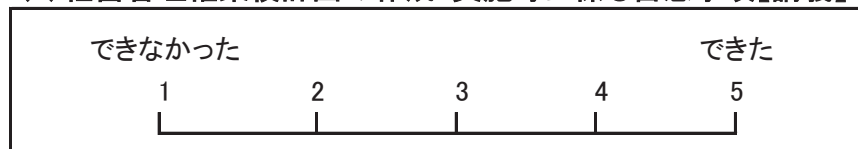
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.5

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 経験がなく、用語から覚えていく必要を感じた
- 3 (1 名) 内容の専門性が高く理解が追いつかなかった
- 4 (4 名) 天然更新完了基準を基本として考えていたがそれだけでは難しいことが分かった
- 5 (12 名) 現地に合わせた施業が重要であることが分かった／大変興味深い内容であった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

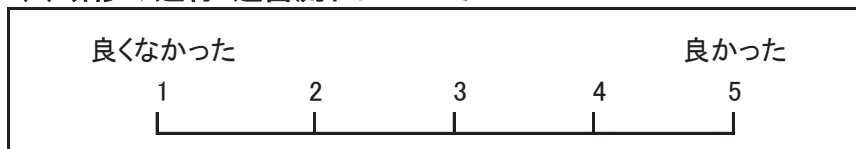
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 全国的な事から地元に使えそうなものを考えていく必要を感じた
- 4 (7 名) 境界明確化の進め方について参考になった
- 5 (9 名) 集積計画の作成にあたって、市町村等に指導、助言するポイントを学ぶことができた

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（17名）
- 2：できていない（0名）

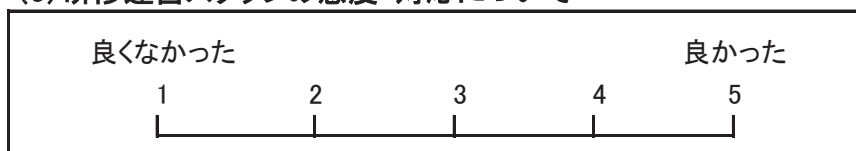
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.4

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（1名） 事前のファイリング、付箋等されているとスムーズかと感じた
- 4（8名） 時間が長くなった場合の休息のタイミングを工夫してほしい
- 5（9名） スムーズな進行・運営がされていたと思う

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.6

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（1名）
- 4（5名） 最前列で受講したが、スタッフとの距離が近すぎた
- 5（12名） 研修運営の円滑化に努力されていた／コロナ対応がしっかりできた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・この研修の実施箇所（ブロック）が増えれば良いと考える（距離的な問題、社会情勢等から、このような有益な研修に参加できないのはもったいないと考えるため）
- ・県単位で良いのももう少し市町村向けの内容の研修をお願いしたい
- ・市町村向けの基礎からのサポートがあると良いと思う
- ・制度開始から1年半が経ち、市町村の取組状況に差ができていることから進捗に応じた市町村向け研修を複数用意してほしい
- ・事例がでたとき、事例を含めた内容の研修
- ・優良事例とともに上手く進んでいない事例を紹介し、原因分析と対処方法を話し合う研修の実施
- ・先進・優良事例のみを集めた研修
- ・先進事例地の現地研修等
- ・市、県、企業のレベルを合わせて協議したい（市のみ、県のみ、企業のみなど）
- ・配布資料が分かりやすく充実しており受講できて良かった。今後適時アップデートされた資料等が閲覧できる体制を充実してほしい
- ・このような森林経営管理法の研修や所得者不明土地に関する法整備の講義があると助かる
- ・税の用途に関する研修（森林整備以外の取り組み）

- ・ 事業体へ対する理解を深めたり良い関係を構築できる内容の研修
- ・ 実際の意向調査票事例集が欲しい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 資料1のスライド9「制度による効果」
- ・ かが森林組合専務の講義（意見交換）
- ・ 広葉樹更新の手法などは今後に掛かる話なので特に印象に残った
- ・ 市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義
- ・ 各県の意向調査実施状況について聞けて良かった
- ・ 勉強になった講義、市町での実務の状況等、全てが印象に残った
- ・ このような研修は大変有意義であり市町村にはもっと参加してほしい
- ・ もっと多くの事業体の取組事例を聞きたかった
- ・ 意向調査実施後、集積計画に至る過程での課題について意見交換する場があれば良い
（今後増加するものと思われる）
- ・ 森林経営管理制度は民法等を踏まえて慎重に対応すべき点もある事を補足されていた講義を聞いて、制度運用の注意点についてより詳しく説明があればと思った
- ・ 法律関係の講義を今後もお願いしたい
- ・ 林野庁からの説明時間がもう少しゆっくと説明してほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	市町村でやっていない内容があったため
80点台	(6 名)	参加者の市町村と都道府県を分けた方が良かった
90点台	(5 名)	3日間では足らなかった
100点	(4 名)	業務を効率的に進める内容が含まれていた

平均： 89 点

④森林経営管理制度円滑化対策研修 中部・近畿②ブロック実施報告書

- 1 日程・研修場所 令和2年10月20日(火)～10月22日(木)
研修会場 ・1、2日目静岡県男女共同参画センターあざれあ2階(静岡県静岡市)
・3日目レイアップ御幸町ビル5階(静岡県静岡市)

- 2 研修受講者数:20名 [男性:19名 女性:1名]
(府県職員4名、市町村職員10名、団体職員6名)

山梨県	1名	静岡県	14名	愛知県	1名	京都府	1名
和歌山県	3名						

3 研修実施概要

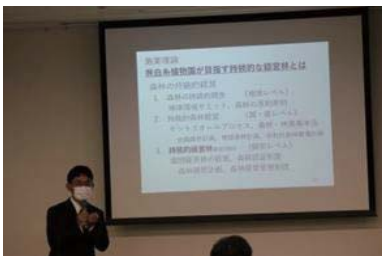
○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・2日目午前は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換((株)白糸植物園/富士宮市)と先進市町村の取組事例(森林経営管理制度を活用した富士市の取組状況について/富士市)の報告があった。富士市の取組に対しては、制度の運用実際や発生している課題等についての参加者の関心が高く、活発な意見交換が行われた。

・3日目は、市町村森林経営管理事業として森づくりを進めるにあたり参考となる、最新の知見に基づく森林施業技術が紹介された。目標林型を定めるための情報や広葉樹林化のコストや期間について、受講者にとって有用な講義となった。

・全体としては、事前課題の作成に取り組んだことにより、単なる講義の受講にとどまらず、発表や意見交換を通じて、各受講生が主体的に参加する姿が認められ、講義終了後にも受講者同士や講師との情報交換も積極的に行われ、自らの抱える課題の解決につなげていたことが印象的であった。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換((株)白糸植物園)



先進市町村の取組事例(富士市)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

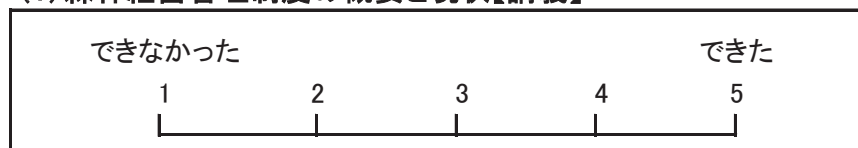
- ・開催県の推薦枠として、「静岡県森林整備アドバイザー」4名のスポット参加を得て、アドバイザーとしての市町村等への支援経験に基づくコメントを頂くことができた。
- ・新型コロナウイルス感染対策として、「新しい生活様式」に対応した研修となるよう、会議室定員の半分以下の人数、パーティション設置、マスク・フェイスシールド着用、受付時の体温測定、休憩時の換気などを適切に実施し、参加者の健康管理に配慮した。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 中部・近畿②ブロック アンケート集計結果

回収率： 19名 / 20名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

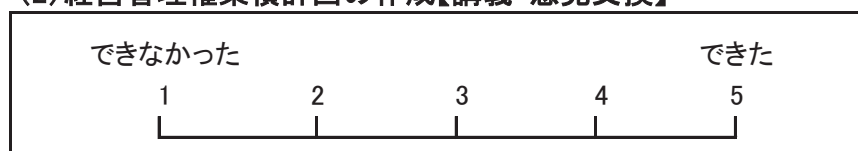
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.6

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (7名) 経営管理制度の運用方法について最新の考え方を知ることができた
- 5 (9名) 森林整備の必要性や意向調査から森林経営管理権までの流れが理解できた

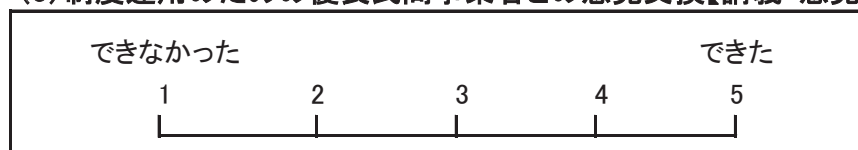
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 大変参考になった／他事例も聞けて良かった
- 4 (8名) 意向調査の考え方やコツについて理解が深まった
- 5 (7名) 他県の取り組みや進捗で今後の業務に活かせるところがあったので参考にしたい

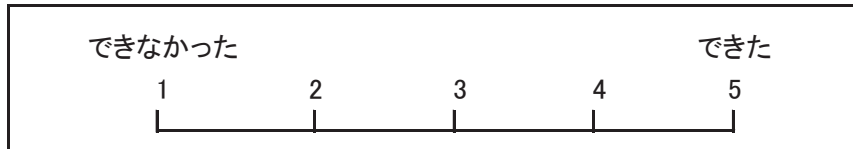
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.7

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (6名) 理念に基づいた森林経営で信頼できると思った／経営戦略に驚いた
- 5 (12名) 長期的な経済林を目指す具体的なプランを持っていることに刺激を受けた

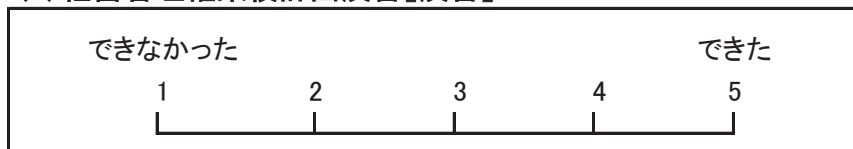
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.6

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (6 名) 配分計画まで進んでいる事例を聞くことができ参考になった
- 5 (11 名) 実務に活かせる内容ばかりだった／計画制作時の資料にさせて頂く

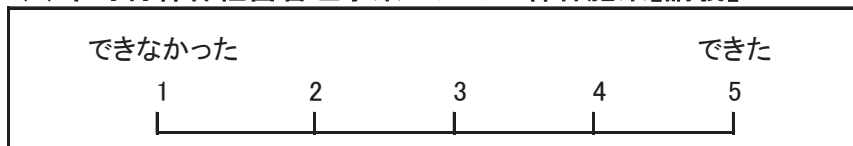
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 全体を説明するのではなく、重要なポイントだけを説明した方がよかった
- 3 (3 名) 集積計画作成のポイントを講義と課題発表を通して理解できた
- 4 (4 名) 研修生による様々な考えを聞き勉強になった
- 5 (6 名) 集積計画の考え方（経営の仕方）が様々なことを実感した

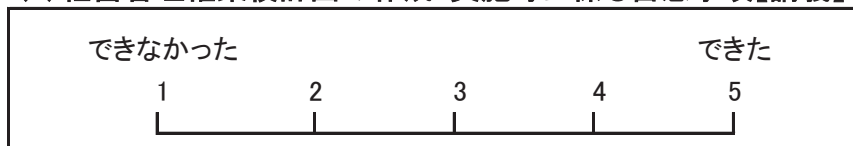
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 人工林を天然林に帰化することは困難だと分かった
- 4 (6 名) 針広混交林化の難しさがデータから分かった／技術的問題点が理解できた
- 5 (10 名) 目標林型の考え方、それに誘導するための方法等、今後の業務に役に立つものになった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

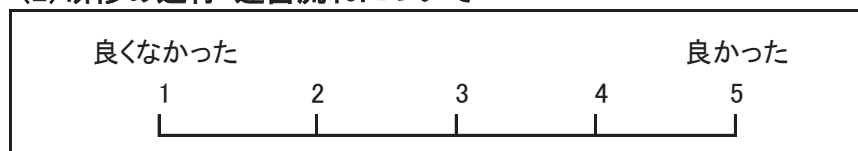
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 境界を明確にするにあたり、所有者同士の合意が必要だと分かった
- 4 (8 名) 法令関係の最新の話が聞いて参考になった／民法改正情報が役に立ちそうである
- 5 (8 名) 発注方法や制度を取り巻く状況が分かった／土地の扱いに係る講義が参考になった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（16名）
- 2：できていない（0名）

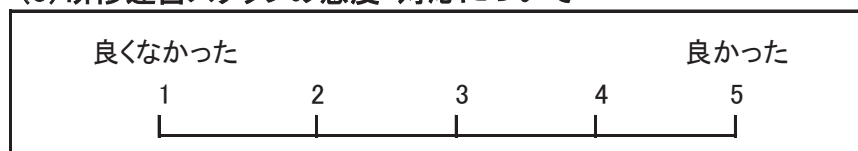
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.3

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（2名） 内容を詰め込みすぎた部分があると思う
- 4（7名） 時間オーバーが複数回あった／親切に対応して頂けた
- 5（7名） 能動的に参加できるよう工夫されていて知識が定着した／大変受講しやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.9

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（0名）
- 4（2名）
- 5（14名） 丁寧に対応頂いた／コロナへの配慮などしっかりやって頂いた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 今回のような研修を各都道府県に行って頂けると嬉しい
- ・ 全国の事例を知る研修
- ・ 先進事例や各市町村の取組例についてこれまで以上に展開して頂きたい。今回の研修でも、他市町村の取組みがとても参考になった
- ・ 更に市町村取組情報を流してほしい
- ・ コロナ対策で難しいと思うが、都道府県や市町村の担当レベルのグループ座談会
- ・ 集積計画作成時の技術的な助言
- ・ 今後も集積計画を作ってみるという演習は実施してほしいと思う
- ・ 制度の詳しい説明や国の動きは丁寧に説明する場を設けて頂きたい
- ・ 針広混交林化のやり方について
- ・ 森林情報の扱い方（この情報を使えば経営に適する適さないの判断ができる等）。GIS活用方法
- ・ 林務担当者として知っておくべき基礎知識の研修があれば受講したい
- ・ 林学に関する知識を深められる研修があったら良い
- ・ 県へのお願いになるが、統一の見解が欲しい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 3日通して非常に分かりやすかった。特に林野庁の講義がとても勉強になった
- ・ 森林管理制度の概要、集積計画の作成例
- ・ 研修の内容は理解できたが難しかったと思う。管理制度の市町の責任を取り上げたところが参考になった
- ・ 静岡県の中の市町村の動向を聞いて良かった
- ・ 書面等では見えない事情等を教えて頂き大変興味深かった
- ・ 他県、他市町村ともっと意見交換等をしたかった（休憩時間での話しに限界があった）
- ・ 事前課題が難しかった。進め方のサポートとなる資料等がもっと欲しかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(2 名)	事前課題に日常業務が圧迫されてしまった
90点台	(7 名)	受講生間での意見交換がもう少しできたら良かった
100点	(7 名)	大変良かった、参考になった

平均： 94 点

⑤森林経営管理制度円滑化対策研修 西日本ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年10月6日(火)～10月8日(木)
研修会場 鳥取市役所多目的室1(鳥取県鳥取市)

2 研修受講者数:19名 [男性:15名 女性:4名]
(府県職員9名、市職員6名、国有林1名、民間事業者3名)

京都府	1名	兵庫県	6名	愛媛県	1名	鳥取県	10名
国有林	1名						

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、箕輪富男・林野庁森林利用課長の開講の挨拶から研修がスタートし、森林経営管理制度の概要と現状、経営管理権集積計画の作成へと講義が進められた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(鳥取県東部森林組合の経営方針及び取組状況)では、働く人を大切にする職場、人材確保の方法などが披露された。先進市町村の取組事例(鳥取市の森林経営管理制度の取り組みについて、八頭町における森林経営管理制度の取組)では、2つの異なるタイプ市町から先進の取組事例が報告された。

・3日目は、市町村森林経営管理事業のための森林施業、経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項について講義された。

・全体としては、広めの研修会場が準備できたことで、コロナ対策がとりやすい安全な研修会が運営できたと考えられた。



林野庁箕輪課長あいさつ:1日目



経営管理権集積計画演習:2日目

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・講演、講義及び発表者には、マスクあるいはフェイスシールドを着けていただき、前面に飛沫防止ボードを置く措置を講じた。

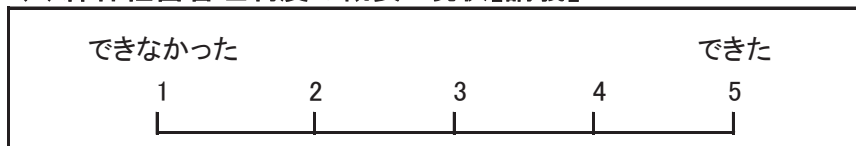
・会場の音響施設に不具合があり固定及び移動マイクが使用できなかったが、3台のマイク・スピーカーシステムを代替機として使用した。音が聞き取れないなどの障害はなかった。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 西日本ブロック アンケート集計結果

回収率： 18名 / 19名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

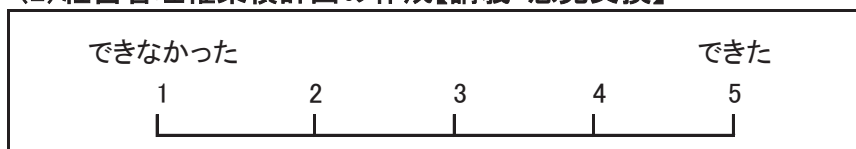
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：3.9

- 1 (1名) 質問の意図が資料でくまれていなかった
- 2 (2名) 説明は分かりやすかったが、初めての制度でやや難解だった
- 3 (2名) 初めて携わる業務研修で中程度の理解度／ポイントを押さえて具体的な説明が良かった
- 4 (6名) 制度概要等概ね理解できた／考えを改める部分もあることが分かった
- 5 (7名) 事前学習と本日講義で理解が深まった／市町村への指導の進め方の参考になった

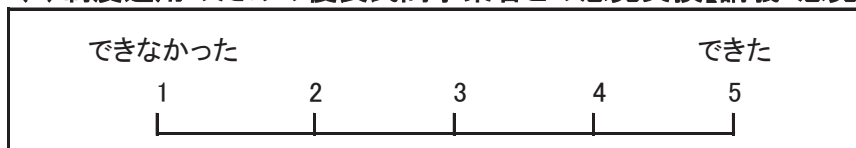
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：3.7

- 1 (1名) 参加者としての議論が深まらなかった
- 2 (1名) 制度を軽視していたと感じた
- 3 (5名) 他の自治体の事例が参考になった／市町村への指導時のポイントは押さえられた
- 4 (7名) 基本の流れを確認できた／意向調査の実際の状況等を聞いて良かった
- 5 (4名) 各市町村の意向調査の状況を本市での実施に役立てたい

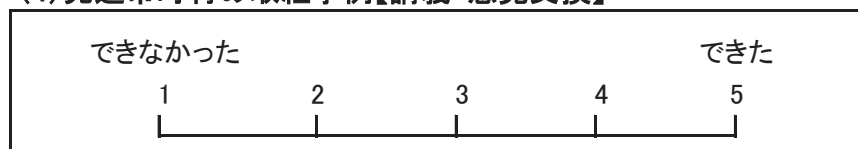
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 優良事業者の特徴について理解が深まった
- 4 (7名) 従業員確保、森林所有者への利益還元確保の内情が分かり勉強になった
- 5 (8名) 大変優良な民間事業者の事例だった／他の事業者の考えが分かって良かった

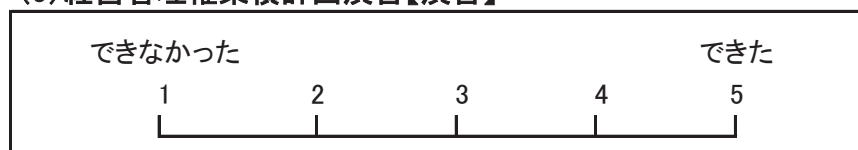
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 2自治体の抱える実情と課題が全部ではないが、少し分かった
- 4 (6 名) 意向調査結果の解析が参考となった／他市町村の事例を伝えられるよう工夫したい
- 5 (8 名) 意向調査の取組経験からの様々な提案が良く理解できた

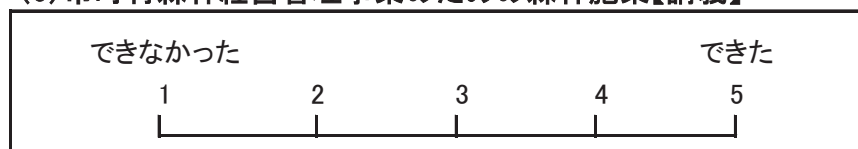
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.4

- 1 (1 名) 基礎知識が無く難しかった
- 2 (3 名) 発表には準備が必要／作成には経験が必要
- 3 (5 名) 自分で取り組むことでどのような点で困るのかを知ることができた
- 4 (5 名) 他の方の発表や作成例をみて森林管理の心を入れ込むことが必要だと気づいた
- 5 (3 名) 集積計画の様々なパターンが示され参考になった。持ち帰って再度検討したい

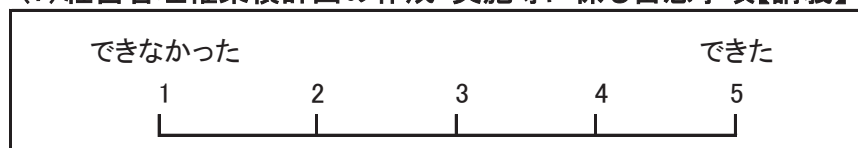
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 食害対策か、事前の判断が重要と感じた
- 3 (4 名) 広葉樹林化は現実には長いスパンとなり、所有者に話をすることは難しいと感じた
- 4 (6 名) 一番重要なのは森林であること、荒らさないこと、前生稚樹、原則など勉強になった
- 5 (5 名) 広葉樹林化の難しさを改めて理解することができた

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：3.6

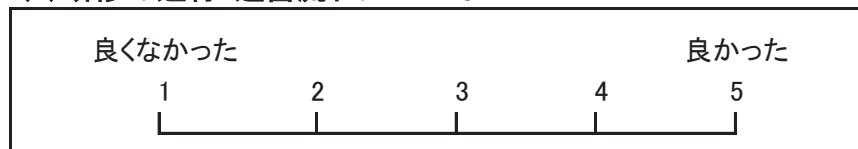
- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 理解には自信がないが、活用はできる
- 3 (6 名) 各種法改正の利点と積極的に活用していきたい
- 4 (7 名) 配分計画の指導になると思うので予め内容を勉強できて良かった
- 5 (2 名) 国の法改正のポイントが分かったのが良かった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（16名）
2：できていない（1名） 資料の解像度が悪かったので生ファイルが良かった

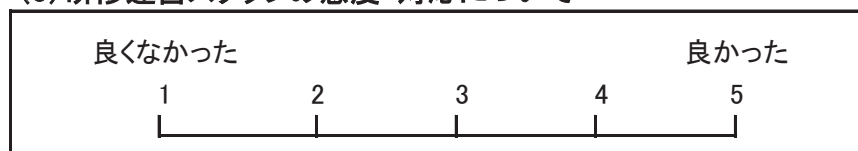
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.1

- 1（1名） 会場設営はトイレの導線がつぶれている。講師の方への拍手を促しても良かったと思う
2（0名）
3（4名） 休憩の頻度がもう少しほしい／全体的に時間が不足していたと思う
4（5名） 内容が盛りだくさんだったがうまく運営していた／最終日の終了時間をもう少し早く
5（8名） 事前の説明で研修が取り組みやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.9

- 1（0名）
2（0名）
3（1名）
4（0名）
5（16名） 新型ウイルス対策等大変な中、気持ちよく受講できた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 森林経営管理制度についてはもう少し走ってから浮き彫りになった内容・成果等を伝達してもらえる研修があればありがたい
- ・ 制度も進み、多くの事例が集まってきていると感じるが、これらを基に情報提供、共有が進めば良いと思う。特に失敗事例が知りたい
- ・ 重箱の隅をつつつくような対応事例の講義
- ・ 初級編の開催
- ・ 市町村担当者が替わっても実施いただける体制をお願いしたい
- ・ 集積計画の実例をもとにした工夫や改善点などを共有する研修会の開催
- ・ 同制度に係る他部局（法律、土木など）横断的なもの
- ・ 意向調査、集積計画、配分計画、市町村管理事業などの実例を一通り学習できる研修
- ・ QGISや森林クラウドを含む情報交換会
- ・ QGIS研修
- ・ 自分の理解が追いついていないところがあるが、内容はとても濃く有意義なものなのでオンラインへの対応をお願いしたい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全て良い勉強になった
- ・ 民間事業者（東部森林組合長）の話
- ・ 林野庁講師の説明はよく理解できた。説明が上手
- ・ 市町村の現状を知られたこと
- ・ 森林管理のための森林施業。実践的で分かりやすかった
- ・ 研修を受けて個人の考え方により計画が変わる。答えがあるようでない。本当に奥が深い制度
- ・ 少ない人数での研修だったため、重すぎず発言しやすい空気感だった
- ・ 公用車の駐車について会場の厚意で駐車料が無料となったのはありがたい
- ・ 事前課題が複雑すぎる。説明考察資料が少なすぎる。もっとシンプルにしてほしかった
- ・ 講師資料がたくさんあり、事前に予習しておきたかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(2 名)	自分に対しての評価
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(7 名)	事前課題は発表時にもっと効果的な方法によること
90点台	(7 名)	参加者間でもう少し話し合える場があれば良かった
100点	(2 名)	

平均： 82 点

⑥森林経営管理制度円滑化対策研修 四国ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年9月28日(月)～9月30日(水)
研修会場 高知市町村職員共済会館3階大ホール「桜」(高知県高知市)

2 研修受講者数:22名 [男性:17名 女性:5名]
(県職員11名、団体職員9名)

山口県	1名	愛媛県	9名	高知県	12名
-----	----	-----	----	-----	-----

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、森林経営管理制度の概要と現状の説明に続いて、経営管理権集積計画の講義と研修生が事前に作成した集積計画の発表、それらについて講師のコメントがされた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(森林経営管理法と森林組合／中村市森林組合)では同制度の運用状況等の説明、受講生との意見交換がされた。続いて、先進市町村の取組事例(四万十市)の発表がされた。

・3日目、市町村森林経営管理事業のための森林施業について、学術的見地からの視点で講義が行われ、続いて林野庁講師から経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項の講義が行われ、3日間の研修を終えた。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換(中村市森林組合)



先進市町村の取組事例(四万十市)の講義

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

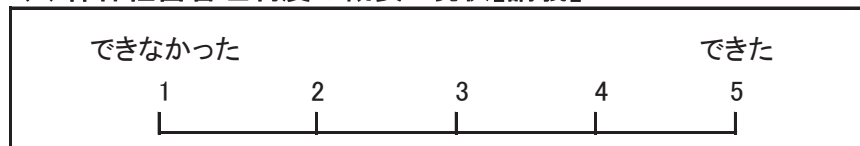
・工夫した点でもあるが、上記の事前に課題を取りまとめるプロセスが本研修のポイントでもあり、研修内容を研修生自らが少しでも掘り下げて習得する機会となったと思われる。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 四国ブロック アンケート集計結果

回収率： 20 名 / 22 名 (91%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

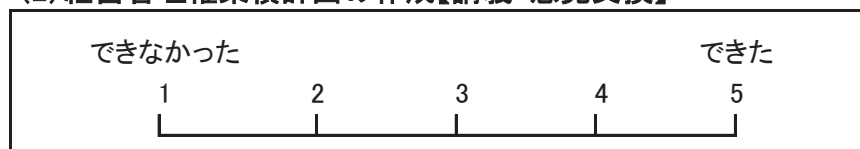
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均： 4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名)
- 4 (12 名) 森林の公益的機能の発揮こそが大切なのだと改めることができた
- 5 (6 名) 制度の基礎的な部分を細かい点まで改めて学ぶことができた／分かりやすく良かった

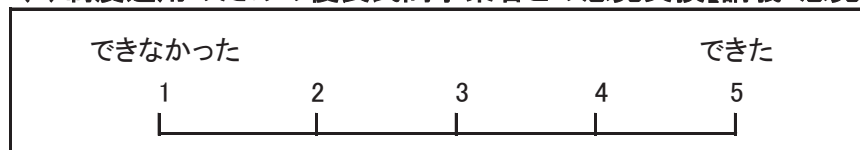
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均： 3.8

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 配布資料の読み直しや動機と理解を共有したい
- 3 (4 名) 計画の記載について、丁寧に書く必要がある事が分かった
- 4 (10 名) 他県の取組状況が分かった。回答率を向上させる方法が分かった
- 5 (4 名) 意向調査からの集積計画までの流れを把握することができた

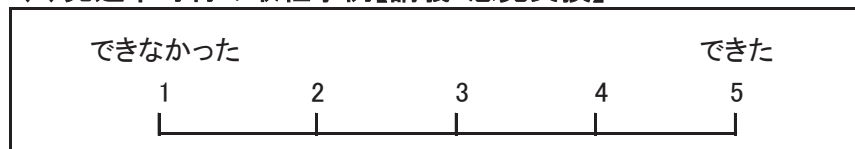
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均： 4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (5 名) 民間事業者の現状を直接知ることができた
- 4 (6 名) 事業者の声を聞くことができて良かった／活動状況や課題が分かった
- 5 (9 名) 優良民間事業者を選定等する際の参考になっ

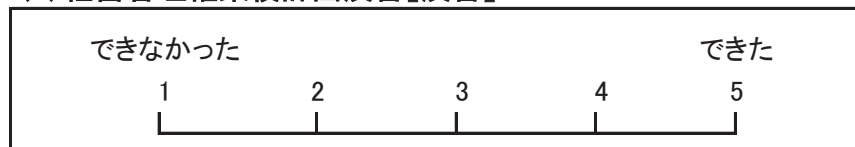
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 手順について分かりやすくまとめられていたので今後の指導に役立てられる
- 4 (10 名) 地籍調査が進んでいないにも関わらず制度運用に前向きに取り組んでいる
- 5 (8 名) どのように当制度を進めているかが良く分かった

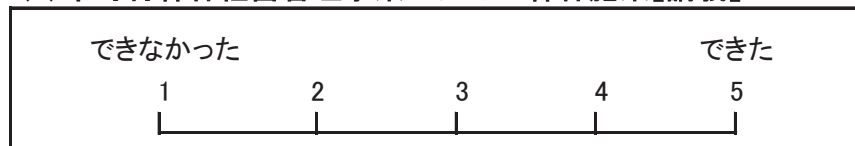
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 難しく理解しきれない点があった／森林の状況を深読みし、勉強していきたい
- 3 (5 名) 自分で集積計画を立てる機会がなかったため、良い機会だった
- 4 (5 名) 各々の集積計画、林野庁からの集積計画がとても参考になった
- 5 (7 名) 様式の文言等を早急に取り組み直したい／着目点、考慮した点が理解できた

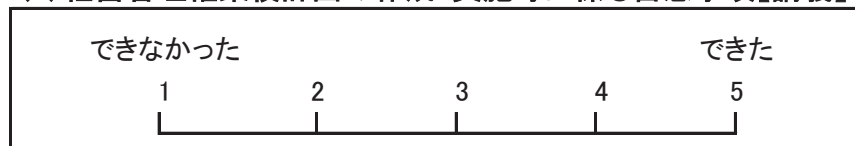
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 制度を活用し針広混交林化へと誘導する市町村がある。講義を参考にその山に行きたい
- 4 (9 名) 広葉樹の天然更新について、前生樹、周辺の稚樹等を十分理解し、判断していきたい
- 5 (7 名) 間伐、皆伐施業選択の参考になった／針広混交林への誘導の難しさを理解した

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

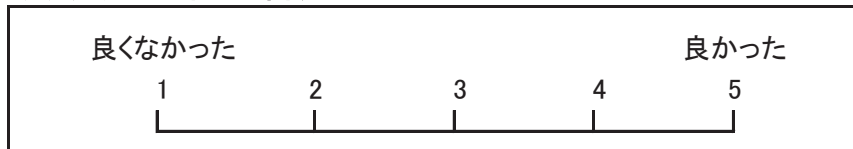
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (9 名) 集積計画作成のヒントが多数あり、参考になった
- 5 (7 名) 今あるデータでも進められる例は今後活かしたい／手法として参考になった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（20名）
2：できていない（0名）

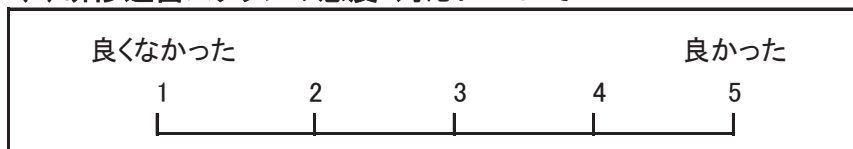
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.9

- 1（0名）
2（0名）
3（1名）
4（1名） 演習発表には時間が足りなかった印象がある
5（18名） 円滑にまわっており、非常に充実した研修だった／丁寧な説明で分かりやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.9

- 1（0名）
2（0名）
3（0名）
4（2名）
5（18名） 心配であった感染症対策もとられていて安心できた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・初めて円滑化対策に参加させていただいた。主な対象は市町村を指導する県職員となっていたが、今後は実際に行う市町村を主なターゲットとした研修を行っていただきたい
- ・なるべく多くの自治体が参加できる体制ができれば良いと思う
- ・森林GISの有効活動を推進していきたいと考えているため、今回よりさらに深まった内容の研修
- ・毎年度、このような円滑化対策研修を実施していただければとても助かる。配分計画策定済みの市町村の意見も聞いてみたい
- ・同様の研修があれば参加したい
- ・これから市町での取り組み事例がたくさん出てくるであろうと思うので、参考になる取り組みを紹介しつつ、国での法整備状況について解説していただきたい
- ・今後、情報が集まれば他県の取り組みなど詳しく紹介する時間があっても良いかと思った
- ・この制度が数年経過する事により、全国に蓄積された優・悪事例を教えて欲しい
- ・実際に各地で作成されている集積計画や配分計画を見ながら色々話し合うような場があると良い
- ・先進地（四万十市のような）の話をもっと具体的に聞いてみたかった（集積計画の内容等）
- ・事業費算定に関する演習、意向調査地区選定に関する模擬演習
- ・林務をあまり分かっていない人のための研修と合わせた森林経営管理制度説明会

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 大変中身の濃い研修を開催いただきありがたかった
- ・ 特に四万十町や林野庁講師には良い刺激を受けた。担当地域での未整備林の解消・森林の公益的機能の発揮に尽くす
- ・ 林野庁の生の声を聞いて良かった
- ・ 3日間大変勉強になった。4月から入庁したばかりで分からない部分もあったが、帰って復習したい。印象に残った講義は、林野庁の講義、優良民間事業者との意見交換、市町村森林経営管理事業のための森林施業
- ・ 経営管理権集積計画を自分で作成し、研修時に発表する課題は非常に良かった。やはり、自分で作成してみないと分からないため、事前の勉強になった。また、研修当日に様々な考え方を教えていただくことにより、より理解することができた
- ・ 市町村が担う役割が多く、その分責任が重大。だから県が支援をしていかなければならないが、実際現在の職は2年目であり、なかなか市町村の支援ができる程、林業についての知識が乏しいため、このような研修をしていただければすごく助かる
- ・ 経験が浅いのでその場でお話しされた内容が頭に「スーっ」と入ってこず、事前に資料に目を通していればもっと深く聞いたのかと思う
- ・ 意向調査から配分計画までの詳しい流れ（スケジュール）が分からなかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	公務時間外を研修で使う場合があった。スケジュール等の見直しが必要
80点台	(3 名)	参加者同士の交流議論がもう少しほしい
90点台	(6 名)	出席者は様々な立場、理解度のため、もう少し研修の時間がほしい
100点	(10 名)	

平均： 93 点

⑦森林経営管理制度円滑化対策研修 九州ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年11月10日(火)～11月12日(木)
研修会場 宝山ホール(鹿児島県文化センター)(鹿児島県鹿児島市)

2 研修受講者数:14名 [男性:12名 女性:2名]
(県職員8名、市町村職員5名、国有林職員3名、有林職員団体職員2名)

福岡県	1名	佐賀県	1名	長崎県	2名	大分県	1名
熊本県	1名	宮崎県	2名	鹿児島県	6名		

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、林野庁森林集積推進室から経営管理制度の概要についての講義があり、その後、受講者から意向調査の取組状況や経営管理権集積計画の作成についての発表があり、意見交換が行われた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換((有)田中林業)では、会社の行動指針を基に森林経営管理制度やSDGsへの取り組みを行っていることの説明がなされた。先進市町村の取組事例では、鹿児島市からは、森林経営管理制度の取組実績、さらに令和3年度に向けての方向性について説明がなされ、加えて鹿児島県森林組合連合会から鹿児島市への支援の取り組み及び森林経営管理市町村サポートセンターからセンターの概要と取組状況について説明がなされた。

・3日目、森林総合研究所から森林管理をしていく上での考え方などについて講義があった。また、森林集積推進室から筆界推定にかかる手法などについて講義がなされた。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換((有)田中林業)



先進市町村の取組事例(森林経営管理市町村サポートセンター)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

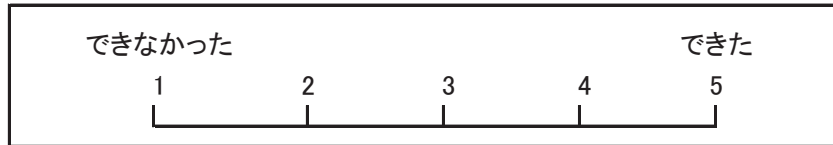
・広い会議室を使用し、研修会場への入室時には消毒液の設置による手指消毒や非接触型体温計による体温測定を行い、さらにアクリル板の設置、一人掛けの座席配置、マスクの着用、講師・進行のフェイスシールド着用等のコロナウィルス感染予防対策を講じた上で開催した。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 九州ブロック アンケート集計結果

回収率： 13 名 / 14 名 (93%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

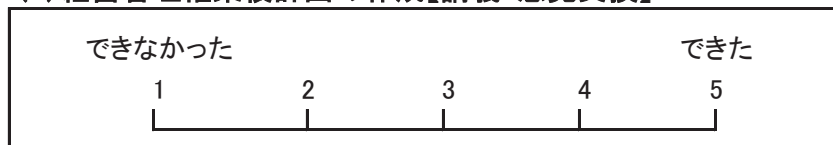
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.5

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 各地域の事例紹介が参考になった
- 4 (4 名) 譲与税の用途についての考え方など参考になった
- 5 (8 名) 法令や現地の声に詳しく理解の幅が広がった／質問への林野庁回答が業務に役立つ

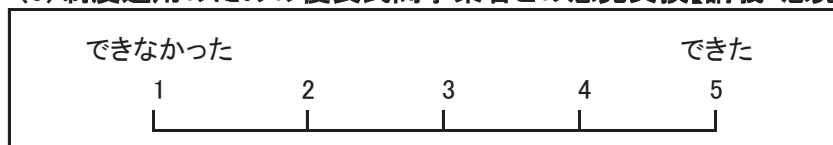
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 他の自治体の事業の進め方を詳しく交換できれば良かった
- 4 (5 名) 直接事務に携わった市町の担当の方の話が特に参考となった
- 5 (5 名) 他市町のやり方が分かり、内容をよく調べて取り入れていきたい

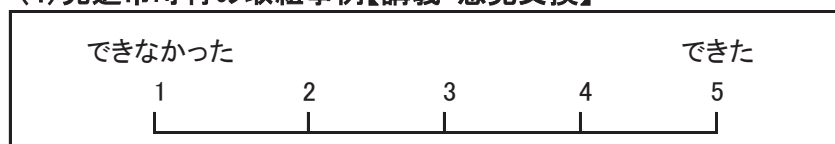
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.6

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (5 名) 安全管理、現場管理の取組方法を地元で普及したい／人材育成の大切さが分かった
- 5 (8 名) 事業体育成に役立てたい／経営理念が素晴らしかった

(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 鹿児島県のサポートが分かって良かった
- 4 (4 名) 市、県森林組合連合会、市町村サポートセンターの連携が取れている
- 5 (7 名) 市町、県、関係団体の連携の重要性を改めて感じた

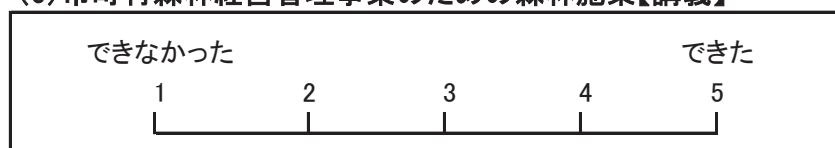
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.8

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (6 名) ポイントについて後でしっかり見直しておきたい
- 4 (3 名) 集積計画作成に当たり、基本的な考え方が理解できた
- 5 (3 名) 色々な考え方を聞くことができ参考になった

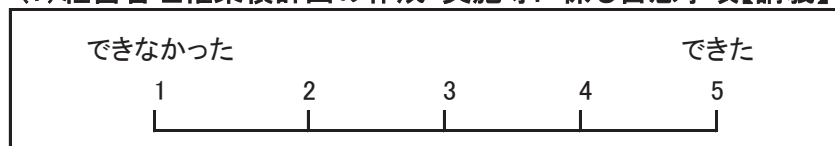
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 複層林化がいかに大変な施業であるかを痛感した
- 4 (4 名) 天然更新も難しいのだと認識できた。計画地選定について市町と共に考えていきたい
- 5 (6 名) 針広混交林への誘導の困難さを理解／人工林→複層林化の難しさ

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.5

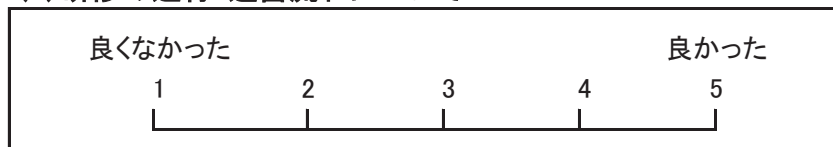
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 制度が多く難しいと思ったが、有効な手段は活用していけるよう、勉強していきたい
- 4 (2 名) 境界についてはよく懸案ともなるので今後参考にしたい
- 5 (7 名) 意向調査後の実務の進め方が分かった／関連する法改正の話まで聞け有意義だった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1 : できていた (12 名)
- 2 : できていない (0 名)

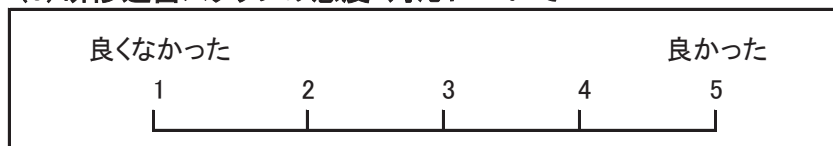
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均: 3.9

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 集積計画作成の演習方法は見直しが必要
- 4 (8 名) 時間オーバーがあったが、それ以外は良かった
- 5 (2 名)

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均: 4.5

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名)
- 4 (5 名) 大変丁寧な態度・対応だった
- 5 (7 名) 大変快適に受講できた／親切で良かった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 手探り状態は皆同じかと思うので、今後も研修等を通じ、情報共有しながら地域の森林経営、整備が進めていければと思う
- ・ 各市町村で色々な進め方が出てくると考えられるので、先進的な事例などを紹介して、自分の地域に合ったやり方を考えることができる研修
- ・ 当制度の具体的対応事例
- ・ 市町村毎の森林所有者状況等に則した研修及びサポート
- ・ 自治体を対象とした研修（林野庁からの）もあると良い
- ・ 市町村森林経営管理事業の取り組み方（設計書の作り方、検査等）について受講してみたい
- ・ 混交林化、複層林化を目指す上で稚樹の確保が重要とのこと、伐採の安全確保との兼ね合いもあり、作業方法の指導方法を考える必要があると思うため、その研修等があったら良い
- ・ 意見交換の場を増やしてほしい
- ・ Webシステムによる受講

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義が印象に残った。ただ、森林経営管理事業の中で取り組み事項を示して頂きたかった
- ・ 林野庁の講義、話し方が分かりやすかった
- ・ 制度を作った林野庁の方々のお話しやつながりができて良かった
- ・ 直接林野庁の考えが聞けて非常に良かった
- ・ 皆様の熱意が伝わった。有難かった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(2 名)	資料は参考になるが、説明を受けていないものも多く、後で確認したい
90点台	(6 名)	課題解決演習において意見交換ができれば良かった
100点	(3 名)	大変有意義だった

平均： 92 点

VI. アンケートからみる研修の成果

1. アンケート結果の概要

(1) 評価アンケート調査結果

アンケートは受講生全員を対象とし、研修成果の確認と今後のカリキュラムの検討・研修運営に役立てることを目的に実施した（70頁／アンケートの雛形）。主に各科目の理解度、研修の進行・運営、設備等に対する評価、研修の評価について、集計結果を取りまとめた。アンケートの回収率は、92%（受講者数132名、回答総数は122名*）。

*研修の一部を欠席した受講者がいるため、回答総数とアンケート各項目の回答者数とは異なる。

(2) 本研修のねらい・内容の理解度

アンケートは、1（理解できなかった）から5（理解できた）までの5段階評価で実施した。

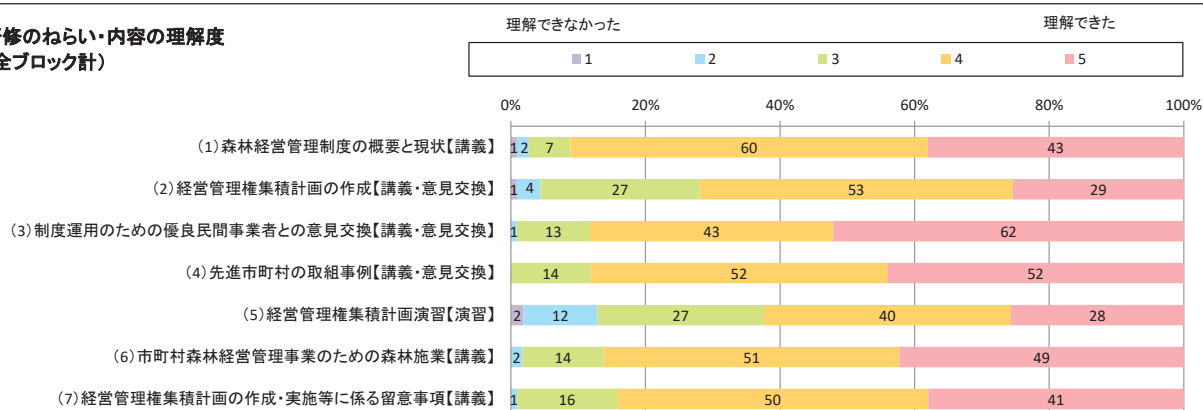
各講義の内容の理解度では4（おおむね理解できた）が最も多く、次いで5（理解できた）の評価で、受講生の理解度は高く、研修のねらいや目的に応じた成果が得られたと考えられる。

各コマの理解度5と4の割合は、62～91%と総じて高い結果となった。

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）

	理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】	1	2	7	60	43	4.3	113	91	38
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】	1	4	27	53	29	3.9	114	72	25
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】	0	1	13	43	62	4.4	119	88	52
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】	0	0	14	52	52	4.3	118	88	44
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】	2	12	27	40	28	3.7	109	62	26
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】	0	2	14	51	49	4.3	116	86	42
(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】	0	1	16	50	41	4.2	108	84	38

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）



「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】

初日に実施した「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】は、理解度5と4の割合が91%と最も高くなった。「森林経営管理制度の運用方法について最新の考えを知ることができた」といった制度への理解が深まったというコメントや、「制度の基礎的な部分を細かい点まで改めて学ぶことができた」といった制度を再確認できたというコメントが見られた。このことは、全ブロック共通の研修資料に加えて、受講生が事前課題として提出した森林経営管理制度の全般に係る質問に対する回答集をブロックごとに作成し、配布資料として講義を進めたことが、理解度評価の高さにつながった要因の一つと考えられる。

「経営管理権集積計画の作成」【講義・意見交換】

初日2コマ目の「経営管理権集積計画の作成」【講義・意見交換】は、理解度5と4の割合が72%となった。「直接事務に携わった市町の担当者の話が特に参考となった」「意向調査の考え方やコツについて理解が深まった」といった具体的なコメントからは、市町村を支援するための知見を広げ、応用力を養うという本研修のねらいに沿った講義であったと考えられる。一方で、理解度3と評価した研修生からは「意見質問の時間をもっととってほしい」「基礎的な事項を理解できるように知識を深めたい」とのコメントが見られた。

「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】

2日目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については52%と研修の講義の中で最も高い理解度となった。「森林経営管理制度に対する熱意を感じることができた」「従業員確保、森林所有者への利益還元確保の内情が分かった」などのコメントから、制度に適合する民間事業者のイメージを掴むという講義目的にかなった講義となったことが伺える。一方で、理解度2と評価した研修生の「制度に関する取組がなく、今回の研修にそぐわないと思った」とのコメントからは、講義の意図を研修生に伝えることの難しさが示された。

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については44%と高い理解度となった。コメントには、「意向調査をコンサルに委託した内容が参考になった」「アドバイザーと市との連携の重要性、有意性がよく理解できた」等が記載され、研修生が制度を推し進める上で講義の具体的なポイントが参考となったことが伺えた。

「経営管理権集積計画演習」【演習】

2日目午後「経営管理権集積計画演習」【演習】については、理解度5と4の割合が62%、理解度の平均も3.7と研修の講義の中で最も低い数値となった。コメントには「自らが考えた集積計画に対する添削・指導を直接いただけたことは大きな収穫だった」「集積計画を考える様々なヒントを得ることができた」「集積計画を立てるにも画一的な考えで無くてもよいと分かった」といった記載が見られた。このことから、受講生が事前課題を作成したことで生じた不明事項が、講義の質疑、林野庁からのアドバイスによって、一部解消され、修正計画への理解が深まったことが伺える。

「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】

3日目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】については、理解度5と4の割合が86%となった。「天然更新の難しさを知ることができた」「天然更新完了基準を基本として考えていたがそれだけでは難しいことが分かった」等の天然更新の難しさを改めて認識したというコメン

トや、それゆえに「計画地の選定について市町と共に考えて行きたい」等の市町の経営管理の具体的な進め方に言及するコメントも見られた。

(3)全体評価

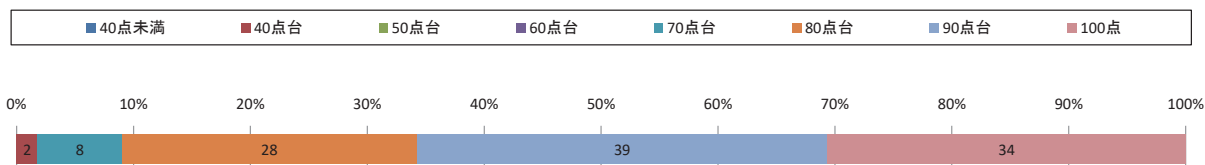
研修全体の評価については、100点満点での評価を実施した。

研修の評価は、平均点が100点満点中89点で、全体の9割が80点台以上をつけ、高評価と見て良いと考える。しかしながら「研修の時間が十分でなく、駆け足で進んでしまったところがある」等、研修の時間不足を指摘する意見が多く寄せられ、カリキュラム内容と各コマの時間配分について検討・調整が必要である。また、「研修生間での意見交換がもう少しできたらよかった」「他県と全く話ができてなくて残念」という意見も多く寄せられた。コロナウイルス感染予防を第一に考え、密を避け、意見交換の場を制限した研修ではあったが、集合研修の大きな意義である他の研修生との意見交換ができるような工夫・検討が必要である。

森林経営管理制度円滑化対策研修の評価(100点満点で記載)

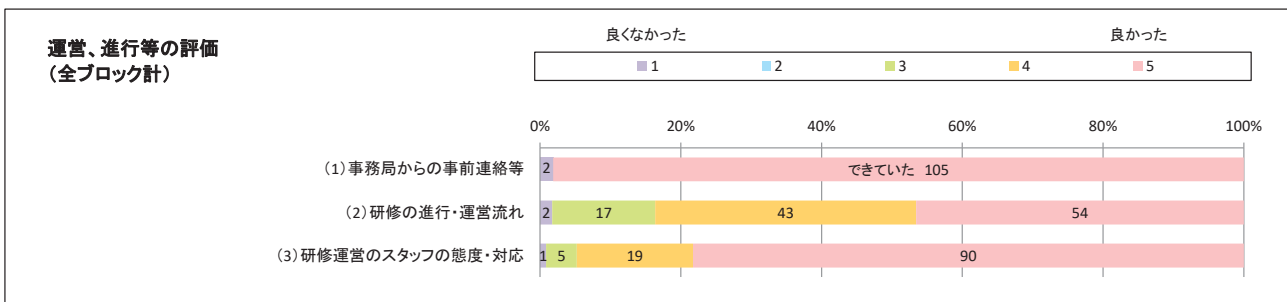
	北海道・東北	関東	中部・近畿①	中部・近畿②	西日本	四国	九州
40点未満	0	0	0	0	0	0	0
40点台	0	0	0	0	2	0	0
50点台	0	0	0	0	0	0	0
60点台	0	0	0	0	0	0	0
70点台	3	3	1	0	0	1	0
80点台	7	1	6	2	7	3	2
90点台	6	2	5	7	7	6	6
100点	5	3	4	7	2	10	3
各ブロック平均点	87	86	89	94	82	93	92
全ブロックの平均点	89						

森林経営管理制度円滑化対策研修の評価



(4) 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

運営、進行等の評価 (全ブロック計)	評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 事務局からの事前連絡等				2	105	5.0	107	—	—
(2) 研修の進行・運営流れ	2	0	17	43	54	4.3	116	84	47
(3) 研修運営のスタッフの態度・対応	1	0	5	19	90	4.7	115	95	78



研修の事前連絡

研修の事前連絡は、全回を通し、概ねできていたという評価であった。できていないという評価へのコメントは、事前課題のファイルの受け渡しに関することであり、研修生との連絡についてはより徹底が必要である。

進行・運営の流れ

進行・運営の流れについては、5（良かった）と4（おおむね良かった）の評価が全体の84%となった。「全体として時間が足りなかった」「時間オーバーが複数回あった」等のコメントが見られ、発表を伴う講義の際の発表時間と質疑の時間配分についての検討・調整が必要である。

研修運営のスタッフの態度・対応

研修運営のスタッフの態度・対応については、5と4の評価が全体の95%となり、評価が非常に高かった。運営スタッフの丁寧な対応等が評価されたことが受講生のコメントからも伺えた。

(5) 今後の必要なサポートや研修等について

今後、必要なサポートや研修等への要望については、全ブロックにおいて多くコメントが寄せられた。市町村担当者への研修の強化を望む記載が多く見られた。それ以外の要望等について、研修、講義内容、サポートに分けて次に記載する。

(研修)

- ・経営管理制度上、必要な事務の細かな研修(境界明確化、集積計画の作成などポイントを絞ったもの)
- ・意欲能力のある経営者の企画提案スキルアップ研修
- ・事業体育成のための研修（自らの森林を所有しない先進的な事業体の経営計画、皆伐、再生林の取組）

- ・市町村の取組状況の進捗に応じた研修
- ・優良事例とともに上手く進んでいない事例を紹介し、原因分析と対処方法を話し合う研修
- ・先進・優良事例のみを集めた研修
- ・先進事例地の現地研修等
- ・市、県、事業体のレベルを合わせた協議したい（市のみ、県のみ、事業体のみなど）
- ・事業体へ対する理解を深め、関係を構築できる内容の研修
- ・都道府県や市町村の担当レベルのグループ座談会
- ・務担当者として知っておくべき基礎知識の研修
- ・意向調査、集積計画、配分計画、市町村管理事業などの実例を一通り学習できる研修
- ・森林GISを活用するより具体的な内容の研修
- ・集積計画の実例をもとにした工夫や改善点などを共有する研修
- ・各地の集積計画や配分計画の実践について話し合う研修
- ・市町村ごとの森林所有者状況等に則した研修
- ・市町村森林経営管理事業の取り組み研修（設計書の作り方、検査等）
- ・針広混交林化、複層林化を目指す上で稚樹の確保、伐採の安全確保のための研修

（講義内容）

- ・経験年数に応じて内容を対応させる
- ・市町村を対象とした森林環境譲与税の使い方
- ・森林以外への森林環境譲与税の活用法、考え方など
- ・所得者不明土地に関する法整備の講義
- ・針広混交林化の方法について
- ・森林情報の扱い方（この情報を使えば経営に適する適さないの判断ができる等）。GIS活用方法
- ・失敗事例
- ・応対事例の講義
- ・制度に係る他部局（法律、土木など）横断的な講義
- ・QGISや森林クラウドを含む情報交換会
- ・事業費算定に関する演習
- ・意向調査地区選定に関する模擬演習

（サポート）

- ・研修資料（パワーポイントのデータ）共有
- ・各県より提出された事例書の手直しや共通の特に多い修正すべきところなどが記された資料
- ・県の支援制度
- ・現地検討会
- ・市町村向けの基礎からのサポート
- ・今後適時アップデートされた資料等が閲覧できる体制
- ・実際の意向調査票事例集
- ・集積計画作成時の技術的な助言
- ・制度の詳しい説明や国の動きを説明する場の設定

- ・ 森林経営管理制度の実施で浮き彫りになった内容・成果等の伝達
- ・ 研修のオンラインへの対応
- ・ 市町村ごとの森林所有者状況等に則したサポート

(6)その他、感想(研修の中で特に印象に残った講義)

印象に残った講義として、各ブロックともに実践者が講師となった「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】、「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】が多く上げられた。また、研修全体を通じた感想として、「林野庁講師の話を知ることができてよかった」等のコメントが多く見られた。新しい制度が地域に定着していく過程では、発信者から当事者に直接伝えることの意義が伺える。

Ⅶ. 研修の実施における課題と改善点

受講生間の情報交換等について

受講生に行ったアンケートでは、受講生の間で情報交換を行える場がほしいとの意見が多々見られた。このような意見は前年度の研修においても散見されたが、今年度の研修はコロナ禍の中での研修であり、研修時間外での情報交換も困難な状況であったことから、特にこのように感じた受講生が多かったと考えられる。

このような情報交換は集合方式の研修であるから可能となるものであり、研修時間内にも取り入れるような工夫も行ってきた。

受講生からは、受講生のみでグループをつくり情報交換等を行うとの意見も出されていたが、受講生のみでの情報交換、意見交換を行った場合には、その内容の是非を判断できる者がおらず、場合によっては不適切な方法が共有されるおそれもある。林野庁の担当官が参加する研修であるので、このグループに担当官に同席することも考えられるが、グループが多ければこれも困難となる。

このため、研修においては、受講生から特定の事柄について、他の受講生の地域での状況や取組について知りたいとの質問があった場合には、該当する受講生を指名して意見や情報提供を求める対応を行って来た。この方法であれば林野庁の担当官も全ての発言を把握でき、発言の中に不適切な部分について修正・指導できる。このような場を研修の中に意識的に設けることができれば、受講生の満足度を高めることが可能となる。

しかしながら、研修の時間は限られている。このため、講義のうち主として情報提供となるものについては予め録画して、集合研修の前にYouTubeで視聴してもらうことで、集合研修での受講生間の情報交換などの時間を確保することが可能となるのではないかと考えられる。

この場合、YouTubeでの視聴も研修の一貫であり、集合研修においてはYouTubeで視聴した講義についての質疑や意見交換を行うこととなる。

配布資料について

受講生に行ったアンケートでは、研修当日に配付した資料が充実していたという意見が見られた。次のようなコメントである。

- ・分かりやすくまとまった資料で説明して頂いたので理解しやすかった
- ・配布資料が分かりやすく充実しており受講できて良かった

一方で資料が充実しているがために、事前に配布してほしいという次の意見も聞かれた。

- ・講師資料がたくさんあり、事前に予習しておきたかった
- ・事前に資料に目を通していればもっと深く聞けたのかと思う

このような意欲ある研修生に対応するために、講義資料は研修当日も配布するが、講義資料が調った時点で、事前に全研修生に対してオンラインストレージ等で講義資料を届ける方法が考えられる。

また資料については、次の意見も聞かれた。

- ・資料の綴り方が分かりにくかった

- ・配布資料の整理が不十分と思われる

このことについては、研修開始時のオリエンテーションで配付資料について説明を行い、また講義ごとに使用する資料を示す（ホワイトボードに記す）などで対応できると思われる。

森林經營管理制度円滑化対策研修・参考資料

森林経営管理制度円滑化対策研修研修 評価アンケート調査票(●●ブロック)

今後の研修を効果的に実施するための参考資料としますので、率直なご意見・ご要望等をご記入下さい。
ボールペン等で濃くご記入くださいますようお願いいたします。

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No: _____

1 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？
 該当欄の数字に○を付け、理由等を【コメント】欄にご記入下さい。

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】(2日目午前)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】(2日目午前)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】(2日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

※裏面に続きます。

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

該当欄の数字に○を付け、理由等をコメント欄にご記入下さい。

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

できていた	できていない
1	2

※「2」できていないとしたのは何故ですか。理由をご記入下さい。

【コメント】

(2) 研修の進行・運営の流れについて

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

【コメント】

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

【コメント】

III 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

森林経営管理制度円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？
減点した理由等もお書き下さい。

(成果や達成感ではなく、研修の内容等全体を客観的に評価して下さい。)

【ブロック研修】

【減点した理由等】

____ / 100 点

ご協力ありがとうございました。

1日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

2日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

令和2年度 森林経営管理制度円滑化対策研修
最終日のふりかえりシート

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No.: _____

1. 3日間の研修を終えて、新たに獲得したこと、得た知識・情報、ポイント等

2. 3日間の研修を終えて、新たに見えてきた課題等

各ブロックの評価アンケート調査票

「Ⅰ 本研修のねらい・内容(各講義についての理解度)」のアンケートは、1(理解できなかった)から5(理解できた)までの5段階評価で実施した。「Ⅱ 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価」は、1(良くなかった)から5(良かった)までの5段階評価で実施した。資料では、評価点数ごとのコメントを集めて掲載した。

■北海道・東北ブロック

Ⅰ 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

4点

- ・パワーポイントの一枚当たりの文字数が多い
- ・意向調査について、地域のニーズがあるところから取り組むという視点が重要
- ・林野庁の担当者から直接話が聞けたことはためになった
- ・講師の制度や森林に対する熱意が伝わった
- ・手引きだけの理解だったが、考え方が広がった
- ・再認識できた。質問にたいして、林野庁のコメントはとても参考になる
- ・図解とともに説明を受けたので分かりやすかった
- ・林務担当1年目であるため制度の概要やポイントを改めて講義していただけて良かった
- ・内容はある程度分かっていたので新しい情報も得られてよかった
- ・森林経営管理制度について説明を聞いていたのは初めて。手引きやガイドブックを読んだだけでは意向調査がきもだと伝わらない
- ・誰かが手入れをする森林を増やすことが目的という言葉で、これまでの考えを改めさせられた
- ・やらないのが一番問題ということに感銘を受けた
- ・改めて森林管理制度について学んだ
- ・基本的な考えを学べたのは良かった

5点

- ・概要と現状を再確認したことで、より制度について理解することができた
- ・重要なワードがいくつかあった(森林経営管理制度は「骨」、譲与税は法の原則を守って使う)
- ・内容のおさらいとコメントで理解を深めた
- ・林野庁の考えの趣旨が良く理解できた。
- ・駆け足であったが、丁寧な説明だった

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

2点

- ・時間が足りなかった

3点

- ・前半の発表は質疑時間が長くて良かったが、後半は終了時間が迫っていることで質問を控えてし

まった

- ・事前課題の問い（取り組みの課題や意見交換したい項目）が参考になった
- ・意向調査を実際に行う市町村の担当者の意見をもっと聞きたい。また、意見、質問の時間は多く取ってほしい

- ・講義の時間がもう少し欲しかった

4点

- ・要点を絞ったパワーポイントの作成、プレゼンをしてほしい
- ・「計画に伐跡を入れるとモラルハザードになりかねない」との言葉になるほどと思った
- ・各県の取り組みなど参考になった
- ・意見交換の時間がもう少しあると良かった
- ・今後の進め方の参考になった
- ・集積計画は意向調査後の要であると思うので、さらに勉強していきたい(団地設定は地域差があり、容易ではないと思う)
- ・経営管理権集積計画は1つの方法であり、何もしないということが悪化につながる、何か対策をとることが大切
- ・他市町村の意向調査の実施状況が聞けた
- ・ほぼ初心者の方にとっては基本的な作成方法を学べて良かった

5点

- ・他の良い事例があり参考になった
- ・森林境界の明確化と山形県西川町の意向調査後の地図が参考になった
- ・他道県の取組状況や考え方など勉強になった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

2点

- ・地域産業として素晴らしい林業の取り組みであると思ったが、森林経営管理制度に関する取り組み内容がなく、今回の研修にはそぐわないと思った

3点

- ・街づくりの中での林業経営
- ・意欲と能力のある事業者の取り組みを学ぶ事がなかったので良かった。認証林の活用は今後も優先・需要が高まると思う

4点

- ・意欲と能力のある事業者の理想的な姿がイメージ出来た
- ・林業が地域産業の中の1つであるという意識が強く感じられた
- ・先進事例として参考にしたい
- ・事業者の意見を知ることができ貴重な講義
- ・意欲と能力のある経営体の積極的な雰囲気を知ることができ良かった
- ・F S C 認証をツールとして活用している話が参考になった
- ・地域に根差した林業事業者の話を知ることができて参考になった

5点

- ・分かりやすく、話しやすく、意見交換しやすい雰囲気であった

- ・地域のことを真剣に考えている業者さんの姿勢は見習うべきことが多いと思った
- ・震災後の会社経営を検討して所有森林の経営管理と地域との結びつきを大事にしていることが参考となった。キーワードとして森林認証だったが、地元置き換えていきたい
- ・他の事業体(森林組合)の話も聞きたい
- ・F S C 認証の活用方法がためになった
- ・こうした視点(自社の収益だけでなく林業の持続性や地域の中での林業を考える)を持つ経営者を増やしていく必要があると感じた
- ・実施例を分かりやすく説明され、手掛かりとなる FSC®も参考になった
- ・意欲のある経営者の話は良かった
- ・狭い、古い林業ではなく、地域の産業として取り組んでいる、まさに意欲と能力のある事業者さんの話を聞くことができ失敗を恐れない姿勢を学ぶことができた
- ・F S C®を基軸に地域発展に貢献している企業の取り組みを聞くことができ大変参考になった
- ・市町村担当のため、あまり必要のない講義な気がした

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・登米市への県のサポート体制がしっかりしていることに興味した。どうやれば本県でもそういった体制がとれるか検討したい

4点

- ・意向調査で未返答者にハガキでお願いするのは効果的で参考になった
- ・市町村に対してきちんと指導していく必要があると感じた
- ・林務4人体制は比較的市町村としては多いように思うが、それでも大変ということで県へのメッセージ含めて、せめて寄添うことの重要性を感じた
- ・大変うまくやっているという印象を持った
- ・取組事例が大変参考になった。意向調査の進め方のはじまりの方法によって、①組合②コンサルでの差があると思い、改善の目安になる
- ・説明が分かりやすく理解できた
- ・具体的な流れややり方の話を聞くことができ参考となった
- ・参考となる部分もあってよかった
- ・意向調査の実施方法について、直営、森林組合への委託のほかに、コンサルへの委託もあることは分かった。放射性物質の影響で広葉樹(しいたけ原木)はうちの管内でも課題
- ・県の支援が大きく、相談できる環境整備をされていることに感銘を受けた
- ・町として、今後の意向調査業務の参考になった
- ・意向調査の方法など、より詳しく伺いたい

5点

- ・分かりやすく、話しやすく、意見交換しやすい雰囲気であった
- ・圏域協議会における参加団体と森林経営管理制度実行に向けた取り組みが参考となった。県のサポートが不可欠だったことやコンサルタント事例が良かった
- ・意向調査をコンサルに委託した内容が参考になった
- ・参考になることが多いので複数の自治体の話を聞きたい

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

2点

・現況の森林が分からない、また実施方針や考え方が分からなくて記載例をそのままにしてしまった

・正直、勉強不足で分からない点が多かった。引き続き勉強する必要性を強く感じた

3点

・発表者が多すぎるような気がする。図面が細かく分かりづらいため、質問が思いつかない

・団地設定の難しさが浮き彫りになった。実際に該当市町村でやってみないと分からないのが本音。それぞれの団地設定の考え方を聞くことができ、参考となった

・他の方の作成例や林野庁の方の作成例で以前よりもイメージができるようになった

・参考となる部分があった。林野庁のコメントもありがたかった

・林野庁の講義をもう少し受けたい

4点

・理解できていなかった部分の気付き、講師の言葉遣いに若干のトゲを感じた。もう少し私たちの目線に合わせた空気が欲しいと感じた。

・集積計画の文面はきちんと精査しないといけないことが分かった

・基本的には森林経営計画推進の思いで聞いていた。集積計画は最終手段と理解している

・もっと勉強する必要があると思った。林野庁作成例の講義が良かった

・対象森林の森づくりをどうしていくかということ考えた上で集積計画の各項目を詰める視点を学んだ(ひながた通りでなくて良い)。ただ、市町村にとっては現時点ではひな型的なものがあった方が取り組みやすいと思う

・今後の進め方の参考になった

・演習形式なので理解しやすかった

・林野庁が示された例とその解説が大変参考になった

・様々な演習結果を聞いたため

・まだ集積計画を作成するのは先だが、今後の参考になると思った

・集積計画を考える、様々なヒントを得ることができた

5点

・市町村担当者の立場になって集積計画が実行可能かの判断について参考にすることができた

・集積計画作成の注意点を振り返ることができた

・適切でない事例の指摘理由が参考になる

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

・天然更新の認識不足が分かった

・広葉樹林化は考えているより、手間やコストがかかることが分かった

4点

・中身が広葉樹林化に特化していることが意外だったが、それはそれで参考になった

・講義内容は専門的で難しかったが、天然更新の施業が理解できた

- ・必要本数や樹高などちょこちょこ聞き逃してしまったが、興味深く拝聴した。天然更新が難しいことについての認識がもっとたくさんの人に共有されれば良いと思う
- ・大変参考になった
- ・針広混交林とは漠然としたイメージしかなかった。天然更新はコスト、人手がどうしてもかかることに意味が分かった(ただの放置では混交林として成功しない)
- ・資料が分かりやすかった
- ・天然更新の難しさを知ることができた
- ・勉強になったが、時間が足りなかった
- ・安易に広葉樹林化と考えるべきではなく、よく現場を調べて導入すべきことが良く分かった
- ・天然更新の厳しさを改めて感じた
- ・本市でも伐採後の天然更新が多いが、この対応に不安がある。機能を回復するためには困難であり、そもそも天然更新を認めて良いのかと思う
- ・天然更新の難しさに気づかされた
- ・広葉樹天然更新は安易に考えては行けないことを学んだ

5点

- ・非常に分かりやすい。一つ一つの言葉が心に残る説明であった
- ・天然更新もコストがかかる、など認識が新たになった
- ・天然更新を進めるポイントとして各種データを紹介して分かりやすい講義だった。当管内で不成績造林地の施業提案に活用したい
- ・天然更新は難しいが不成績造林地はできる
- ・針葉樹の広葉樹林化の難しさを再確認した
- ・今後市としての事業に役に立つ内容でとても良かった

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

3点

- ・内容が盛りだくさん。覚えるのが大変。しかしながら、市町村には情報提供していく

4点

- ・早足だったが、要点を絞って解説していただいた
- ・ポイントが多すぎて消化しきれない
- ・最後の林野庁講師の話が良かった
- ・大変参考になった
- ・スライドが分かりやすかった
- ・まとめの時間があってよかった。重要なポイントだけが聞けた
- ・境界の確認はどの市町村でも課題。現場立会の前の事前準備に利用できるものが知れたことは成果

- ・所有権界と筆界の違いについて理解した
- ・研修前から気になっていた境界明確化についてのポイントが聞けた
- ・林野庁講師の最後の締めが良かった

5点

- ・まずは「やってみること」ということが分かった。事務所に帰り、分からないことがあれば問い

合わせする

- ・法律改正のポイント、国土地理院の内容が理解できた
- ・所有権界と筆界の説明など大変参考になった
- ・今後の法改正等に期待する
- ・参考になった。理解度が増した
- ・金をかけなくてもある程度どのデータは活用できる。譲与税は地域の森林、公益的機能のために活用を

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・事前に色々ありがとうございます、お疲れ様です。
- ・GISデータ提供ありがとうございました
- ・事前課題を修正して再度提出したが、差し替えがされていなかったが、結果的にその方法でも良いと言われたので良かった

2. できていない

- ・課題を提出した時に「届きました」の確認メールが欲しかった
- ・当日意見交換をするなら前日までに林野庁コメントなど送ってほしい

(2)研修の進行・運営流れについて

1点

- ・昨年度から引き続きやっているはずなのに、段取りが悪すぎる。時間配分が下手

3点

- ・事前課題の内容が濃すぎて作成及び提出することに不安があった
- ・紙に書いてホワイトボードに張ったのは字が小さくて見えなかった。声が聞こえない人がいた。パワーポイントの色、大きさをもっと大きく見えるものにした方が良かった

4点

- ・丁寧な対応、同じ目線で対応していただいた
- ・1日目は時間配分ができなかったが、2日目以降はスムーズな研修内容と進め方となっていた
- ・2日目発表者が多く同じような考えの発表が続き長く感じた
- ・新しい生活様式での研修の進行は問題なかった
- ・事前課題に対してさらに詳細に調べて丁寧に回答、コメントされていて大変参考になった。感動した

5点

- ・大変良くやっていただいた
- ・スムーズで良かった

無点

- ・盛りだくさんでしようかしきれていない。実務で使う場合の参考になる

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

1点

- ・運営側の方が研修に集中していない。今後のブロックでは改善してほしい

4点

- ・特に悪いところはなかった
- ・良かった

5点

- ・丁寧な対応、同じ目線で対応していただいた
- ・スタッフの皆様お世話になった
- ・色々とお気配りが感じられた
- ・ありがとうございました
- ・大変良くやっていただいた
- ・良かった

無点

- ・よかった

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・今後地域の市町村へ支援するため資料提供を願う
- ・各県より提出された事例書の森林集積推進室での手直しや共通の特に多い修正すべきところなどが記された資料
- ・パワーポイントのデータ共有
- ・後学のため、研修資料のファイル提供をお願いしたい
- ・林野庁の熱量は、県、市町村、末端まで伝わっているとは言えないため、説明会、研修は数多く続けてほしい
- ・経営管理制度上、必要な事務の細かい研修(境界明確化、集積計画の作成などポイントを絞ったもの)
- ・経験年数に応じて内容を変えてほしい
- ・新しい制度等に対応した研修にしてほしい
- ・意欲能力のある経営者の企画提案スキルアップ研修
- ・事業体の育成向けの研修。特に自分の森林を持っていない先進的な事業体の経営計画、皆伐、再造林の取組
- ・市町村を対象とした税の使い方
- ・森林以外への譲与税の活用法、考え方など
- ・国、県のサポート体制が良くとれているので、特に無し

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・全て参考になった
- ・国からのコメント等、非常に参考になる
- ・林野庁担当者の熱を感じた。率直なお話しが聞けて良かった
- ・今回の研修を受けて「自分の頭が固い」と感じた。もっと柔軟に業務を進めていきたいと感じた
- ・集積計画作成方法。事前の課題が出され、それについての振り返りをする研修方法で知識を深め

ることができた

- ・優良民間事業者(株式会社佐久)の講義
- ・林野庁の講義は具体的で大変分かりやすかった
- ・集積計画の演習発表は様々な意見、考えが聞けて良かった
- ・事前課題3つの課題設定の難易度が高いと感じた
- ・グループ討議がないならリモートでの研修でも良いと思う
- ・他県の人と話さない、話せない研修は初めてだった。せめて席順をかえるなり話しやすいようにしてほしかった
- ・研修時間が少ないためメニューは広くしないで作成書類の内容検討の具体的な指導としてほしい
- ・林野庁との意見交換の時間をもっと増やしてほしい
- ・講義を撮影していたようなので、動画をDVDで欲しい。聞いた内容を改めて市町村に伝えるが、時間、能力的に厳しい
- ・意見交換が多いので、学校形式より口の字の方が良いと思った
- ・時間がないため、ふりかえりシートは1日目のはじめに配ってほしかった

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70点

- ・資料は極力少なく、要点を分かりやすく私たちと同じ目線の言葉遣いをしてほしい
- ・時折進行がスムーズでなかった
- ・研修の受講を考える時、どんなレベルの受講生を対象としているか分かるとありがたい。内容が盛りだくさん過ぎる

80点

- ・他県と全く話ができなくて残念。集まる意味があったのか
- ・2日目演習の発表者はもう少し絞りこんでも良いと思う。3日目1コマの時間がもっと長くても良かった(質問時間が少なかった)
- ・林務1年目には少し難しいと感じた
- ・紙に書いてホワイトボードに張ったのは字が小さくて見えなかった。声が聞こえない人がいた。パワーポイントの色、大きさをもっと大きく見えるものにした方が良かった
- ・事前に勉強をもっとしておくべきだったと思った
- ・もう少し時間的に余裕があれば良い

90点

- ・最後の質問の時間をもう少しとっていただきたい
- ・1日目の研修時間配分が十分でなかったため
- ・時間が少し不足
- ・民間林業事業者の講義が興味深かったものの、今回の研修目的とはあまり合っていなかったため
- ・もう少し説明に対する時間に余裕があれば良かった

■関東ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3点

- ・制度の意義を改めて認識したのと同時に、市町村がおかれている実情に相違があるため、説明内容に納得できない点もあった
- ・制度概要について理解できるが、自分の担当地域で集積計画をどのように活用できるかメリットを見出しにくい

4点

- ・意向調査を実施した後は経営管理権を設定するだけでなく、既存事業の活用も選択肢になり得るのが驚きだった
- ・制度についての確認と全国の現状についての情報は今後の参考になると感じた
- ・制度全体の仕組み等について理解を深めることができた
- ・ある程度理解した

5点

- ・分かりやすくまとまった資料で説明して頂いたので理解しやすかった

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

3点

- ・意識調査の目的が”森林所有者の想い”を把握するためのもの！ちょっとカルチャーショックです。ちょっと認識ずれてました。意識調査の実施方法について先進地事例を参考にして対応する必要があると感じた
- ・意識調査がどのようなものか理解が深まった
- ・再度資料を自分なりに整理していきたい

4点

- ・様々な事例が紹介されたが、取り組み方は様々であった。帰ったら紹介された事例についてより詳しく調べたい
- ・意識調査についての正しい理解を得ることが出来たと感じた
- ・質問に対する回答について他の受講生のものがすぐ理解できないものがあった。改めて読み返して理解したい

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

3点

- ・林分の材積の量、価格の算出方法を知ることができ有益だった
- ・条件の良い地域でうまく仕事を回している事例
- ・参考になった

4点

- ・当方の森林組合と経営理念に相違(対象：組合員、事業：国有林の対象としていない)があり、とても参考になった
- ・積極的に事業を行っている森林組合の事例に触れることができた。組合員の意向を考えることが

最優先であると感じた

5点

- ・優良な森林組合は新たな事業を増やすほどの余力は無い可能性がある
- ・多角経営や山林所有者が納得がいき、作業員のモチベーションが上がる賃金システムにするなど経営努力が感じられた
- ・見積額の提示が重要

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・市の先進的取組を聞いて興味深い

4点

- ・当市と比較して約2年先行している(経営管理実施権の設定)今後の進め方を考える上で大変参考となった
- ・既に意向調査を行い集積計画の作成を行っている市町村の考え方等に触れられることができた。今後の参考にしたい

- ・同じ県内における積極的な取り組みに触れ、参考にしたいと考えた
- ・アドバイザーの役割が重要
- ・今後の方針の参考になった

5点

- ・どのような経過で制度に取り組んできたかや意向調査に向けてどんな事前準備をされたのか、その後の流れなどを知ることができた

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・計画を立てる上での参考になった

4点

- ・集積計画作成にあたってのポイントを確認することが出来た
- ・今回の理解不足で記載方法が読み解けていなかったが、林野庁の方のコメントを踏まえてより理解を深めたい
- ・課題を提出するために時間は要したが、自ら取り組む良い機会でも効果的に理解が進んだと感じる
- ・他の発表者が集積計画にあたり検討した要素・要件は本市で参考にしたいと思う
- ・集積計画を作成するにあたって経営管理内容にどんなことを書くと良いかや場所を選定する際にどんなところに注目すると良いかなどを学ぶことができた
- ・自分で作成してみて理解不足の点があった
- ・他の研修生の計画を学べて自分の中に無かった考えを知ることができて有意義だった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

4点

- ・複層林化という言葉がこの制度でよく耳にするが、一筋縄ではいかない難しい施業であることに驚いた

・現状では市町村は針広混交林への意識は低いが技術的なハードルもあると今後の方向性に不安を感じる(優先度は極めて低くなるか・・・)

・針広混交林をテーマにした講義だったが、実際の森づくりにあたっての考え方を知ることができた

・間接的に聞いたことのあったテーマ。今回直接聞くことができ理解を深めることができた

・広葉樹の植栽の難しさを知った

・実務上、不採算の民有林を市が管理するか、間伐までのイメージだった。複層林まで手入れしての施業となると負担が大きいと感じた

5点

・広葉樹林化について、いかに大変で時間がかかることなのか理解することができた

・具体的な育林方法を知りたい

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

3点

・意向調査もまだであるためすぐイメージはできなかったが、今後取り組む際の参考としたい

・短い時間の中での説明だったので、もう少し時間をとって説明してもらえると良かった

4点

・集積計画策定後は再委託が望ましいとこの研修に参加するまではそう思っていた。カルチャーショックだ

・全く知らない内容だったので新鮮だった。参考資料の説明をもう少し聞きたかった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

・事前課題が大変であった

・配布資料の整理が不十分と思われる

・もう少し問題を議論する雰囲気が必要だと思う

4点

・講義の進捗に合わせて時間の管理をされていた

・大きな流れは良かったと思うが、全体として時間が足りないように感じた

5点

・事前の入念な準備のおかげでストレスなく取り組めた

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

5点

・丁寧に案内して頂けて大変助かった

・コロナ対策等大変な中ご対応いただき感謝

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・林野庁の方が何時でも連絡すれば対応して頂けるのは有難いですが、県でも支援制度をとって頂けると大変助かる
- ・研修の内容が充実している分、庁内に持ち帰って展開するのが心配。このような有益な機会が増えると良い
- ・市町村職員は森林施業について詳しく学ぶ機会が少ないのでそのようなサポートや研修があると良い
- ・現地検討会

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・全てが印象的であった
- ・広葉樹の天然更新について

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70 点

- ・内容が多すぎて十分に理解する時間が不足している
- ・資料が整理されていない
- ・森林総研の講義は質問が多いので 15 分くらいは質疑の時間を取るべき

80 点

- ・ややスピードが速くてついていけないところがあった

90 点

- ・研修の時間が十分でなく、駆け足で進んでしまったところがあると感じたから

■中部・近畿①ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

4 点

- ・専門知識が不足しており理解に苦しむところもあったが、説明は分かりやすかった
- ・県などから色々な研修を聞いていたので
- ・講義でより理解を深められた
- ・分かりやすかった
- ・森林経営管理制度の担当では無いので基本から話を聞けて良かった
- ・自身で説明している内容が多く共感する部分があり、今後の参考になった

5 点

- ・譲与税の活用の検討の視点、市町村指導の参考となる
- ・気になっていた譲与税 300 億の理由が聞けて満足
- ・来月管内市町さんと当制度の勉強会を開催するので制度の裏にある課題が分かり良かった

- ・制度の概要と現状を他県の事例を紹介いただきながら分かりやすく説明頂いた
- ・通常業務で実施しているので入りやすかった
- ・復習になった

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

3点

- ・専門知識が不足しており理解に苦しむところもあったが、説明は分かりやすかった
- ・近県の情報をもっと知ってみたい
- ・近畿中部ブロックの各県の状況は境界明確化が問題となっている点など共通していることが分かったので今後参考としていきたい
- ・他県の状況が把握できた

4点

- ・受講生の多くが現在直面している課題であり、もう少し時間を取って意見交換できれば良かった
- ・対象森林決定のプロセスにGIS活用できれば格好良いが、全員誰でもできることではないと思うのでどういう事務をしていくか
- ・意向調査を実施している町が多く、参考にさせていただきたい

5点

- ・講義：基本的な内容、意見交換：各県苦労していることが聞けた
- ・他の市町との情報共有が出来た
- ・実際に意向調査を行った市町さんがどのようにして地区を選定したのか聞いて良かった
- ・他府県の取組状況や課題を知ることが出来た
- ・各県の悩みや問題点が聞いて有意義だった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

3点

- ・当市と全く違う状況の中での取組事例を当事者から聞いたことが良かった

4点

- ・県内情報なので多少聞いていた
- ・加賀森林組合の特徴的な取り組みの話を知った
- ・森林組合が積極的で羨ましい
- ・知っている事業体だが、森林経営管理制度に対する熱意等を聞いて良かった
- ・良い事例だけでなくできなかったことも知りたい
- ・良い事例で参考となった

5点

- ・森組の経営制度に対する積極的な取組姿勢は大変参考になり、県内の森組に対する指導に生かしてまいりたい
- ・境界画定から森林整備、森林所有者への利益配分まで一貫した体制整備
- ・刺激的で興味深いお話しを聞いた
- ・地域の森林組合と協力して制度を運用する方法が分かった
- ・林産組合制度や境界管理室の設置等、非常に先進的な取り組みをされていた

- ・経営管理制度のメリットに関する生の声を聞け有意義だった
- ・これまでの取り組みや今後の方向性等が分かりやすく的確に説明されていた
- ・理想とする取り組み
- ・森林組合の特徴について理解できた

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・担当者の市職員からは是非ご講義頂きたかった
- ・市職員の生の声をやはり聞きたかった

4点

- ・県内情報なので多少聞いていた
- ・地理や土地柄に合わせた制度運用があり、様々な視点があると感じた
- ・境界明確化の専門部署のあるかが森林組合でも集積計画の箇所のはではできなかつたと聞いて難しさを感じた

5点

- ・アドバイザーと市との連携の重要性、有意性がよく理解できた
- ・実際の取り組み(近県のよく似た状況)は参考になる
- ・白山市のモデルを見ることが出来た
- ・市、森林組合、県の関わり方が参考になった
- ・白山市野地町での意向調査や集積計画の作成等の実際の取組事例を知ることができ大変参加になった
- ・意向調査及び集積計画の作成について具体的な話が聞けた
- ・市町の温度差がある中、熱心な取り組み
- ・森林管理制度の取り組みについて理解できた。意向調査から集積計画の作成まで詳しく説明をして頂けた

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

1点

- ・課題が深まった

2点

- ・集積計画そのものが無知で取っ掛かりがつかみにくい
- ・林野庁の作成例はまだ考えが追いついていけないので、よく見直して身につけていきたい
- ・実際の業務に生かせる研修だと思いますが、集積計画の作成をしたことが無いので難しかった

3点

- ・受講生の理解度や取り組みの差が大きかった。筆数をもう少し絞り、作業にあたっての着眼点などを示してもよかったのではないかと
- ・学ぶべき事がまだまだたくさんあると感じた

4点

- ・自らが考えた集積計画に対する添削・指導を直接頂けたことは大きな収穫であった
- ・集積計画満期後の事業体へのつなぎ方

- ・市町村は他業務と併行してやるのは大変だと発表を聞きながら感じた

5点

- ・経験により演習の差がでていた
- ・集積計画の規模感をつかむことが出来た
- ・計画作成するにあたっての対象森林の考え方や経営管理の内容検討等のポイントを学ぶことができた
- ・各県市町ご担当の実情がよく分かった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

2点

- ・森林の経験がなく、用語から覚えていく必要を感じた

3点

- ・内容の専門性が高く私の理解力が追いつかなかった

4点

・県の林務職員には大変有意義な内容であったが、林務以外の市町村職員にはかなり難しかったのでは

- ・天然更新の難しさ、広葉樹林化の奥深さ
- ・広葉樹林化は難しいということは分かったが、実際流れは広葉樹林化なのでそのギャップをどう埋めようか悩む

- ・天然更新完了基準を基本として考えていたがそれだけでは難しいことが分かった

5点

・市町村(関係者を含めた)が混交林森林整備の内容を決める必要がある(知識が必要)。県(試験機関)の支援による指導

- ・森林整備の課題を聞くことが出来た
- ・市が預かった人工林は更新伐ではなく切り捨て間伐が良いと思った
- ・広葉樹化はかなり難しいこと、100~200年の長期間を要することを学んだ
- ・大変興味深い内容であった
- ・針広混交化の理想と実態を踏まえるのに大変勉強になった
- ・天然更新が最適だと思っていた
- ・具体的な事例を交えた講義で分かりやすかった
- ・広葉樹林化がいかに難しいことなのか理解できた
- ・目標林型(広葉樹林化)の考え方が参考になった
- ・現地に合わせた施業が重要であることが分かった

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

3点

- ・全国的な事から地元に使えそうなものを考えていく必要を感じた

4点

・境界明確化の進め方について参考になった(しかし、本県においても金沢市や津幡町と同様、これまで手の入ってこなかった森林については現地と森林簿の不整合、境界の不明確など課題が多

い)

- ・個人的な事業体に再委託の選択肢はない。市の事務とトラブルリスクが大き過ぎる
- ・色々今後課題となると想定される事について現段階での知見が聞けた
- ・境界明確化について少しモヤモヤが解消された

5点

- ・この研修に参加した目的に沿うような大変良い内容であった
- ・空中写真の活用→実施している(県の指導の場合)、発注の事務→積算について確認
- ・国土地理院のホームページがとても便利だと感じた
- ・市がやるべき事務について自分で説明できるようにならないといけない。市に寄添います
- ・集積計画の作成等を行うにあたって、市町村等に指導、助言するポイントを学ぶことができた
- ・航空写真の活用を実際に過程から見られたのは良かった
- ・内容が濃くて良かった
- ・非常に分かりやすい説明だった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・定期的にメールが来ていた

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

- ・時間配分というか、事務局側でもう少しスムーズに行ってもらえないかと感じた(例えば、アンケートは記入した人から提出でよいのではないか)
- ・演習科目において林業職(技師)の方の作成したものも聞きたかった
- ・研修のボリュームが大きいので資料の量が増えるのは仕方ないが、少し使いにくいと感じた(例えば、事前のファイリング、付箋がつけなどされているとスムーズかと感じた)

4点

- ・初日の終了時刻の遅延(約30分)
- ・休息のタイミングを(時間が長くなった場合)
- ・受講生の問題だと思うが、発表の際の持ち時間をオーバーしていたのはどうなのだろうと思った

5点

- ・振り返りシートは提出後各自解散で良かったのではないかと思います
- ・2日目昼から途中で休憩が欲しかった
- ・スムーズな進行・運営がされていたと思う
- ・講義・意見交換ともに適切な時間配分がされていた

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

4点

- ・最前列で受講したが、スタッフとの距離が近すぎた(最前列をもう一列下げてもよかったのではないか)

5点

- ・席を左側にしてほしいという希望にご対応頂き有難かった
- ・懇切丁寧にご対応頂いた
- ・遅くなつての参加表明にも関わらず受け入れて頂きありがとうございます。お世話になりました
- ・大変お世話になった
- ・研修運営の円滑化に努力されていた
- ・コロナ対応がしっかりできた

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・この研修の実施箇所(ブロック)が増えれば良いと考える(距離的な問題、社会情勢等から、このような有益な研修に参加できないのはもったいないと考えるため)
- ・県単位で良いのももう少し市町村向けの内容の研修をお願いしたい
- ・市町村向けの基礎からのサポートがあると良いと思う
- ・制度開始から1年半が経ち、市町村の取組状況に差ができていることから進捗に応じた市町村向け研修を複数用意
- ・事例がでたとき、事例を含めた内容の研修
- ・優良事例とともに上手く進んでいない事例を紹介し、原因分析と対処方法を話し合う研修の実施
- ・先進・優良事例のみを集めた研修
- ・先進事例地の現地研修等
- ・市、県、企業のレベルを合わせて協議したい(市のみ、県のみ、企業のみなど)
- ・配布資料が分かりやすく充実しており受講できて良かった。今後適時アップデートされた資料等が閲覧できる体制を充実してほしい
- ・このような森林経営管理法の研修や所得者不明土地に関する法整備の講義があると助かる
- ・税の用途に関する研修(森林整備以外の取り組み)
- ・事業者へ対する理解を深めたり良い関係を構築できる内容の研修

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・資料1のスライド9「制度による効果」
- ・かが森林組合専務の講義(意見交換)
- ・広葉樹更新の手法などは今後に掛かる話なので特に印象に残った
- ・3日目・市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義
- ・各県の意向調査実施状況について聞けて良かった
- ・勉強になった講義、市町での実務の状況等、全てが印象に残った。ありがとうございます
- ・このような研修は大変有意義であり市町村にはもっと参加してほしい
- ・もっと多くの事業者の取組事例を聞きたかった
- ・意向調査実施後、集積計画に至る過程での課題について意見交換する場があれば良い(今後増加するものと思われる)
- ・森林経営管理制度は民法等を踏まえて慎重に対応すべき点もある事を補足されていた講義を聞いて、制度運用の注意点についてより詳しく説明があればと思った
- ・法律関係の講義を今後もお願いしたい

- ・林野庁からの説明時間がもう少しゆっくりと説明してほしい
- ・3日間大変お世話になりありがとうございました。今後ともご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70点

- ・市町村でやっていない内容があったため

80点

- ・グループ討議など意見交換の時間があると良かった
- ・都道府県向けであったため
- ・参加者の市町村と都道府県を分けた方が良かった
- ・市町担当者への内容としてはどうなのか
- ・全て受けていないので

90点

・ブロックによって内容は違うと思うが、今日の私のような立場(初任者の市職員)の職員にとっては、あまりにも専門的なものも含まれており、個人的な理由ではあるが減点とした。県職員の育成を主としている研修だと考えていたが、市職員も参加すべきとても良い研修だと感じた

- ・休息のタイミング
- ・教室が思ったより狭く、換気頻度が少ない
- ・3日間では足らなかった
- ・地籍部局等、他関連部局や関係者の方の見解も聞ければ良かった

100点

・減点した理由は市町村の現状を踏まえ地域林政アドバイザーの活用、府県の協力の得方等の講義により、業務を効率的に進める内容もあれば良かったと個人的に感じた。最終講義で前述した内容が含まれており良かった(=業務を効率的に進める内容が含まれていた)

■中部・近畿②ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

4点

- ・概要をつかむことができ大変有意義だった
- ・業務上で気になっていた箇所を分かりやすく講義して頂き参考になった
- ・経営管理制度の運用方法について最新の考え方を知ることができた
- ・意向調査の順序当決めるについてもやはり市町の基本的な方針をしっかりと立ててあることが大事であることが確認できた

5点

- ・地域の森林を誰かが面倒を見ていくことが重要であって、そういう状況にするのがこの制度の目

的とのコメントを受け、自分の中では経営管理権集積計画の作成が目的化していることに気づかされた。地域の森林・林業が良くなるにはどうすべきか広い視点を持つよう心がけたい

- ・改めて制度について復習することができた。あやふやなところや忘れていたところを思い出すことができ良かった
- ・疑問が解消できた部分もあった
- ・森林整備の必要性や意向調査から森林経営管理権までの流れが理解できた
- ・大事なところに絞って話をして頂けたので集中して聞いた
- ・意向調査は林地台帳の制度を上げるための手段でもあるという視点を持って取り組もうと思った
- ・とても分かりやすく、また、新たな有用な知識を得ることができた

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

3点

- ・大変参考になった
- ・他事例も聞けて良かった

4点

- ・意向調査の考え方やコツについて理解が深まった
- ・各自治体、様々な取組方がある
- ・他市の取組状況を知られて参考になった
- ・他県の状況を知ることができた
- ・質問、コメント者を先に決めていたのは効率が良かったと思う。もう少し参加者の発表時間があれば良いと思う
- ・集積計画にむけた意向調査をしている皆様の意見をお聞きし参考になった

5点

- ・他自治体の意向調査への取組状況や考え方について知ることができ大変勉強になった
- ・各市町村手探りで取り組みを進めている中、他市町村の取組内容の情報を共有できることは大変有難い
- ・他県の取り組みや進捗について知ることができた。今後の業務に活かせる場所があったので参考にしたい
- ・意向調査は範囲によっていろいろある。その後を考える必要がある
- ・各市町村の手法で学び参考になった。進行具合は森町と同じくらいのところが多い模様
- ・他の市町村の優良事例を伺うことができ勉強になった
- ・皆さまが様々なリスクを考えながら調査されていることを強く実感し、ある種の危機感を持つことができた

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

4点

- ・民間事業者を選定する上で、優れた事業者の経営姿勢や現場の活動などがどのようなものなのか(実感として)知っておく必要があると思うので良い機会だった。時間的制限があるが、1事業体でなく、複数の事業体の話しを伺えればと感じた
- ・民間事業者(白糸植物園)の経営戦略に驚いた

- ・理念に基づいた森林経営で信頼できると思った
- ・間伐手遅れ材でも収益をあげる方法があることが分かった

5点

- ・とても参考になる話ばかりだった。各種論文も後日読み込みたい
- ・実施権者の生の声を聞くことができ大変参考になった
- ・今まで知らなかった技術や施業方法を知ることができて良かった
- ・民間事業者（白糸植物園）の考え方は他の事業体も参考にすべき
- ・森林組合以外の事業体でも努力次第では林業としてやっていくことができることが分かった
- ・長期的な経済林を目指す具体的なプランを持っていることに刺激を受けた
- ・林業をバリバリに進めている事業体の声を聞ければ良いと思う
- ・普通じゃない事業者の考え方や施業の実績が参考になった
- ・経験や感覚ではなく、理論に基づく施業を行うことで本来の林業の在り方を実現できることが分かった
- ・大変興味深く聞かせて頂いた
- ・信念を持った会社の取り組みで興味深かった

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

4点

- ・他市町村の取組内容は大変参考となるので共有して頂けるのは有難い
- ・計画的に素早い取り組み
- ・具体的な事例を聞いて参考になった
- ・富士市の分析を自身の町にも活かしたい
- ・配分計画まで進んでいる事例を聞くことができ参考になった

5点

- ・トップランナーである富士市のやり方や考え方は参考になった
- ・事例を交えながらの話で実務に活かせる内容ばかりだった
- ・昨年度の状況は知っていたが、今年度の状況を知ることができたので良かった
- ・実際にどのように取り組むかイメージができた
- ・富士市の取り組みとして市単独ではなく、事業体との連携が必要であることが分かった
- ・方向性を決めて進められていて参考になった
- ・配分計画を立てることが前提とされた集積計画の話は新鮮味があった
- ・集積計画を決める上でのポイントが分かった
- ・とても参考になった。計画制作時の資料にさせて頂く
- ・実務の流れが分かって今後の参考となった

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

2点

- ・全体を説明するのではなく、重要なポイントだけを説明した方がよかったのでは

3点

- ・概要、作成方法が分かり助かった

- ・集積計画作成のポイントを講義と課題発表を通して理解できた
- ・レベルの高い意見発表となった

4点

- ・区域の設定、計画の内容の理解が深まった
- ・正解はない、自治体毎はよく考えなければいけない
- ・研修生による様々な考えを聞き勉強になった
- ・自分の課題の考え方は伝えられたと思う。皆さんの課題を深く読み取ることができず質問や意見を上げづらかった

5点

- ・集積計画の考え方(経営の仕方)が様々あることを実感した
- ・林野庁作成事例は分かりやすくとても参考になると思う。演習についてグループワークのようなことをすれば、より理解が深まるのではないかと感じた
- ・事前課題で集積計画作成に取り組むことで作成の判断や内容の精査の難しさを知り、演習でポイントを知ることができて良かった
- ・人によって集積計画が違う。何が正しいかは分からない
- ・今まで集積計画を作ることにハードルがあったが、小規模でもできることが分かったのでモデル的にやってみたいと思う
- ・実際に作業をすることにより、見えてこなかった問題点を発見できた

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・人工林を天然林に帰化することは困難だと分かった

4点

- ・課題が分かり、今後どうすべきか悩む内容だった
- ・混交林化が難しいことが分かった
- ・針広混交林化の難しさがデータから分かった
- ・広葉樹林化が難しく年数もかかりコストも高いことが良く分かった
- ・針広混交林化は難しい施業技術であることを再認識した。逆に安易に針広混交林化や複層林化は叫ばない方が良いのではないかと個人的に思う
- ・技術的問題点が理解できた

5点

- ・広葉樹植栽の際にリスクヘッジとして針葉樹も植栽するという考えが興味深かった
- ・目標林型の考え方、それに誘導するための方法等、今後の業務に役に立つものになった。町有林の施業にも活用させていただきたい
- ・天然更新がいかに難しかったかについて統計や事例を交えた説明を受けたことにより、初めて聞く内容であったため、理解が深まった
- ・前生稚樹がないと更新は難しいこと、天然更新はコストがかかることが分かった
- ・人工林化は難しいと思った
- ・針広混交林化を甘く考えてはいけないと学んだ
- ・森林を施業していくにあたって大きな方向性が分かった

- ・新たな見識を得ることができ大変参考になった
- ・分かりやすい説明だった。今後役に立つと思う

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

3点

- ・境界を明確にするにあたり、所有者同士の合意が必要だと分かった

4点

- ・総務省、国交省の動きは参考になった
- ・関連法改正が進んでいる
- ・民法改正を注意深く見守りたい
- ・法令関係の最新の話が聞けて参考になった
- ・他事例の詳細部分が聞けて良かった。固定資産税の情報をすぐ手に入れたと思う
- ・民法改正情報が役に立ちそうである
- ・おもしろい説明だったが、少し説明が早すぎた。ゆっくり聞きたかった

5点

- ・最新の情報が得られて良かった
- ・境界の明確化について北海道での事例がとても参考になった。本町でも同様のやり方を検討したいと思う
- ・発注方法や最近の制度を取り巻く状況が分かって良かった
- ・プロセスだけはしっかりする
- ・もう少し時間がほしかった
- ・森林経営管理制度に係る他の法律や制度のことが分かった
- ・土地の扱いに係る講義について大変参考になった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・丁寧な説明ありがとうございました
- ・十分にできていた

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

- ・内容を詰め込みすぎた部分があると思う

4点

- ・事前に講師のリストが頂ければ有難かった
- ・親切に対応して頂けた
- ・時間オーバーが複数回あった
- ・一日の始まりに前のスクリーンでスケジュール表を出すと良いと思う。また、講義の始まる前に「資料はこれを使います」と示してもらえると良いと思う

5点

- ・準備等有難かった
- ・講義前に講義の目的や概要の説明があったのが良かった
- ・受講者も発言できて良かった
- ・問題なかったと思う
- ・能動的に参加できるよう工夫されていて知識が定着した
- ・大変受講しやすかった

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

5点

- ・有難かった
- ・講義中も資料を見つけられなかった方に配慮して頂くなど、丁寧な対応がされていた
- ・コロナへの配慮などしっかりやって頂いた
- ・良かった
- ・丁寧に対応頂いた
- ・丁寧で良かった
- ・丁寧に対応して頂けて良かった
- ・皆さま大変親切でとても有難かった

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・今回のような研修を各都道府県に行って頂けると嬉しい
- ・全国の事例を知る研修
- ・先進事例や各市町村の取組例についてこれまで以上に展開して頂きたい。今回の研修でも、他市町村の取り組みがとても参考になった
- ・更に市町村取組情報を流してほしい
- ・コロナ対策で難しいと思うが、都道府県や市町村の担当レベルのグループ座談会
- ・集積計画作成時の技術的な助言
- ・今後も集積計画を作ってみるという演習は実施してほしいと思う
- ・制度の詳しい説明や国の動きは丁寧に説明する場を設けて頂きたい
- ・針広混交林化のやり方について
- ・森林情報の扱い方(この情報を使えば経営に適する適さないの判断ができる等)。GIS活用方法
- ・林務担当者として知っておくべき基礎知識の研修があれば受講したい
- ・林学に関する知識を深められる研修があったら良い
- ・県へのお願いになるが、統一の見解が欲しい

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・3日通して非常に分かりやすかった。特に林野庁からの講義がとても勉強になった
- ・森林管理制度の概要、集積計画の作成例
- ・研修の内容は理解できたが難しかったと思う。管理制度の市町の責任を取り上げたところが参考になった
- ・静岡県の中の市町村の動向を聞いて良かった

- ・ 3日間有難かった
- ・ 大変勉強になった。有難かった
- ・ 書面等では見えない事情等を教えて頂き大変興味深かった
- ・ 他県、他市町村ともっと意見交換等をしたかった(休憩時間での話しに限界があった)
- ・ 事前課題が難しかった。進め方のサポートとなる資料等がもっと欲しかった

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

80 点

- ・ 事前課題に日常業務が圧迫されてしまった。研修は非常に分かりやすかった
- ・ 研修のやり方のせいではなく、新型コロナ対策で研修参加者と突っ込んだ話、お酒の席で心を許して話し合うことができなかつたことが残念だった。研修自体はバランス良く出来ていたと思う

90 点

- ・ 意見交換の場が大事だがある程度時間を守ってほしかった
- ・ 演習については、グループワークの方が研修生の理解が深まったかと思う。優良事業体の話については、もう 1 つ 2 つあっても良かったと思う
- ・ 事前課題は少し取り組みにくかった
- ・ 事前課題が難しかった
- ・ コロナ対策のこともあり、難しいと思うが受講生間での意見交換がもう少しできたら良かった
- ・ 時間が不足している

100 点

- ・ 大変良かった、参考になった

■西日本ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

1 点

- ・ 質問の意図が資料でくまれていなかった

2 点

- ・ 言いたいことは分かるが、頭の中で整理できていない。説明はよく分かった
- ・ 説明は分かりやすかったが、初めての制度でやや難解

3 点

- ・ 退職後の再任用で今の業務に就き、初めて携わる業務研修で予習もあまりしていなかったため、中程度の理解度
- ・ ポイントをおさえて具体的な説明が良かった

4 点

- ・ 時間が短いので内容を現状に絞っての良いのかと思った
- ・ 聞きたいことが明快に聞けてとても参考になった。質問にも丁寧に回答いただけて助かった

- ・制度概要等概ね理解できた
- ・昨年度から取り組みを始め、ふりかえりながら受講した。改めて制度のポイント(3点)を確認できた

・既に何回も説明をいただき理解をしてきたつもりだったが、改めて説明を受け、考えを改める部分もあることが分かった

5点

- ・100年かかる場合の優先順位は難しいと感じた
- ・事前学習と本日講義で理解が深まった
- ・市町村への指導について今後の進め方の参考になった
- ・林野庁担当の方の本音が聞けて、なお良い話であった。意向調査や集積計画作成は市町村の選択でしないことも可能だが、市町村の労力に見合うようになるべく成果を上げるべきと感じた
- ・制度の本旨が理解できた。林野庁からのコメントが参考になった
- ・林野庁としての考え方を聞けて良かった。認識が変わった
- ・システムに対する林野庁の姿勢が確認できた

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

1点

- ・参加者として議論が深まらなかった

2点

- ・制度を軽視していたと感じた

3点

- ・各県市町等の実際の状況も把握でき参考となった
- ・意向調査等における各市町の現状と課題が生の声で聞けて勉強になった
- ・自分が直に市町職員として手をつけるわけではないが、指導時のポイントは押さえられた
- ・他の自治体の事例が参考になった

4点

- ・基本の流れを確認できた
- ・他の市町村の事例とどのような事が聞きたいのか(質問があるのか)を知れて良かった
- ・意向調査が制度の第一歩目なので、実際の状況などを聞けて良かった
- ・地籍や明確化が終了していなくても意向調査や集積計画作成をどんどん進めているという事例が聞きたい

・司会の方が話をするとき、声が小さくて聞き取りにくい。マイクを使ってほしい

・既に何回も説明をいただき理解をしてきたつもりだったが、改めて説明を受け、考えを改める部分もあることが分かった

5点

- ・各市町村の意向調査の状況を本市での実施に役立てたい
- ・各地で工夫して意識調査を実施されている
- ・様々な角度から意見を聞くことができ参考になった
- ・意見交換において、他自治体の事例発表に対して質問しても回答できないと思う

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

3点

- ・優良事業者の特徴について理解が深まった

4点

- ・東部森林組合は組合長が着任されてから大きくなったと感じた
- ・これまで伺った森林組合の方はかなり保守的な傾向が大きかったので、講義で民間のように意欲的・改革的・先進的な事例をお聞きできて良かった
- ・東部森林組合のように将来を見据えて活動することは、いきなりは難しいかもしれないが、部分的にでも今後の助言等に活用したいと思った
- ・優良事業体であり、先進的な取り組みだった
- ・従業員確保、森林所有者への利益還元確保の内情が分かり勉強になった
- ・組合長の話は経営に特化していた。地域の森林をどうしたいのか聞きたかった

5点

- ・事業体の姿勢は大切であると実感した
- ・素材生産に係る林業機械導入によるコスト削減、安心な雇用体制、山元への利益還元に至るまで一貫した経営理念が素晴らしい
- ・組合経営者の覚悟が素晴らしい
- ・大変優良な民間事業者の事例で参考となった。今後一般的な(平均的な)民間事業体の実態について聞きたい
- ・組合長の話は明確で分かりやすかった。ここまで経営を安定させるまでの苦労話、失敗したことを聞きたい
- ・優良な事例でとても参考になった
- ・他の事業体の考えが分かって良かった。優れた森林組合があることに驚いた
- ・意欲が高く、創意工夫されている状況が理解できた

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・仕事上担当しているが新しい事を聞けて良かった。八頭町は町民のため進捗状況が聞きたかった
- ・2自治体の抱える実情と課題が全部ではないが、少し分かった
- ・鳥取県内の市町は非常に進んでいる

4点

- ・市町村でも悩みながら意向調査、境界調査を行っていることが分かった
- ・最後に補足いただいたが、なかなか外の情報が入り辛い市町村へと他の市町村の事例をもっと伝えられるよう工夫していきたい
- ・意向調査結果の解析など参考となった
- ・どちらもよく知っている内容だが、改めて今何をしているか確認できた
- ・八頭町の取組状況について非常に参考となった

5点

- ・特に鳥取市の本制度への取り組みは本市にとって大いに参考になる
- ・市町の現状と課題はどこも同じ。人の問題と考える程簡単ではない

- ・具体的な実態を教えてもらえ大変参考になった
- ・実際の市町の取り組みの経験による事例発表、市においては困っていることを八頭町においては意向調査の取り組みの経験による様々な提案がなされて良く理解できた
- ・鳥取市八頭町は同じ管内のため他県の事例が知りたかった
- ・市町村の工夫や苦勞が良く分かった
- ・他の自治体の考えが分かって良かった
- ・現場での悩み、アドバイスが参考になった

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

1点

- ・基礎知識が無く難しかった

2点

- ・再配分計画は現時点では兵庫でやられていないが、行うとなった時に適した計画を提案できるよう精進する
- ・発表には準備が必要
- ・自分にとってはかなり難解であった。経験が必要

3点

- ・自分で取り組むことでどのような点で困るのかを知ることができた。実際に地元には当てはめた時にどうなるかを今後考えなければいけない
- ・多様な作成例があり、色々な再度から見ることができた
- ・なかなか奥深い様々な事例や制約が考えられる制度で十人十色の計画が解説付きで聞くことができ勉強になった
- ・急遽代理での対応だったため予習が足りなかった。設定をしっかりと自分で考えその筋にそって対応していくべきと考えた

4点

- ・意向調査等、事業の実施における優先順位の付け方はやはり難しい
- ・集積計画を計画するかどうかの選択の基準にやりやすさ、経済性以外の要素が更に設定したい
- ・十分な発表ができなかった。他の方の発表や作成例をみて森林管理の心を入れ込むことが必要だと気づいた
- ・集積計画を立てるにも画一的な考えでなくても良いと分かった

5点

- ・集積計画策定に係る様々な思いや考えが聞けて良かった
- ・事前説明が長く、肝心の課題の方が不十分だった
- ・集積計画の様々なパターンが示され参考になった。持ち帰って再度検討したい

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

2点

- ・食害対策か、事前の判断が重要と感じた

3点

- ・混交林化など実務として知識が身についた

- ・針広混交林についての検討は全くしていなかった。目標林型の話はとても興味深い
- ・広葉樹林化は現実には長いスパンとなり所有者の人に話をするのは難しいと感じた
- ・広葉樹林化の課題や問題点を知ることができた

4点

- ・実際の事業実施時に迷うこともあるだろう
- ・混交林化で絶対に広葉樹を植栽する必要はなく過程として針葉樹を植栽しても問題ないことが再確認できた
- ・天然更新の入り口を市町村管理で行うという話があったが、所有者さんに返した後、しばらくしてから確認、再度預かることが必要になりそうだと感じた
- ・久しぶりに大学の講義を受けているような感触で受講した。大変勉強になった
- ・一番重要なのは森林であること、荒らさないこと、前生稚樹、原則など勉強になった

5点

- ・現場での長年に渡る植生調査は信憑性を高く感じた
- ・大いに参考になった
- ・広葉樹林化はかなり困難ということで残念である。この分野の研究が更に進められていただければと思う。
- ・広葉樹林化の難しさを改めて理解することができた
- ・大変勉強になった

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

2点

- ・理解という意味では全部の講義に言えるが自信はない。活用できるかという点では十分に活かせる

3点

- ・自分で手を動かしていない部分なので要勉強事項と感じている
- ・各種法改正の利点と積極的に活用していきたい
- ・「やってみるしかない」と感じた
- ・「配分計画」は初めて聞く名称だったが分かった。質問に的確に答えていただきありがたい
- ・法改正の情報提供などは非常に参考になった

4点

- ・実際の計画作成実施時には迷うこともあるだろう
- ・市役所と話ができるまでの理解ができなかった
- ・今後を見据えた説明がありがたい
- ・説明されるには時間が不足
- ・配分計画の指導になると思うので予め内容を勉強できて良かった

5点

- ・実際の発注事務に至った時には再度確認を求めたい
- ・国の法改正のポイントが分かったのが良かった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・事前課題の意図が十分分かっておらず提出が遅くなって申し訳ありませんでした。

2. できていない

- ・課題の添付ファイルがPDFだったので資料の解像度が悪かった。生ファイルが良かった

(2)研修の進行・運営流れについて

1点

- ・会場設営は講義中のトイレの導線がつぶれている。進行は、講師の方への拍手を促しても良かったと思う

3点

- ・説明は予定の時間内でできるように準備してほしい
- ・休憩の頻度がもう少しほしい
- ・決められた時間通りに進行すると流れの良い研修となる
- ・全体的に時間が不足していたと思う

4点

- ・内容が盛りだくさんだったが、うまく運営していた
- ・時間内に終われなかった
- ・良い環境で受講でき有難かった
- ・最終日の終了時間をもう少し早くできなかったか？

5点

- ・事前の説明で研修が取り組みやすかった
- ・全体の時間をもう少し長くとっても良いのではないか
- ・特に問題は感じなかったが、受講生の質問内容に十分対応しきれていなかった

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

5点

- ・新型コロナウイルス対策等大変な中、気持ちよく受講できた
- ・大変お世話になった
- ・感染拡大にも配慮されており良かった
- ・良かった
- ・V e r y G o o dだった
- ・お世話になり、ありがとうございました

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・森林経営管理制度についてはもう少し走ってから浮き彫りになった内容・成果等を伝達してもらえる研修があればありがたい
- ・制度も進み、多くの事例が集まってきていると感じるが、これらを基に情報提供、共有が進めば良いと思う。特に失敗事例が知りたい
- ・重箱の隅をつつつくような対応事例の講義

- ・初級編の開催
- ・市町村担当者が替わっても実施いただける体制をお願いしたい
- ・集積計画の実例をもとにした工夫や改善点などを共有する研修会の開催
- ・同制度に係る他部局(法律、土木など)横断的なもの
- ・意向調査、集積計画、配分計画、市町村管理事業などの実例を一通り学習できる研修
- ・QGISや森林クラウドを含む情報交換会
- ・QGIS研修
- ・自分の理解が追いついていないところがあるが、内容はとても濃く有意義なものなのでオンラインへの対応をお願いしたい

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・全て良い勉強になった
- ・民間事業者（東部森林組合長）の話
- ・林野庁講師の説明はよく理解できた。説明が上手
- ・市町村の現状を知られたこと
- ・森林管理のための森林施業。実践的で分かりやすかった
- ・研修を受けて個人の考え方により計画が変わる。答えがあるようでない。本当に奥が深い制度
- ・少ない人数での研修だったため、重すぎず発言しやすい空気感だった
- ・公用車の駐車について会場の厚意で駐車料が無料となったのはありがたい
- ・事前課題が複雑すぎる。説明考察資料が少なすぎる。もっとシンプルにしてほしかった
- ・講師資料がたくさんあり、事前に予習しておきたかった

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

40点

- ・頭の中で整理ができず、何を質問して良いかも分からない自分に対しての評価
- ・一番大事な2日目を欠席してしまったため

80点

- ・時間が足りないように感じた
- ・時節柄難しいかもしれないが、グループワークがあった方が良い(情報交換)
- ・事前課題は発表時にもっと効果的な方法によること。優良民間事業者との意見交換は必要なし。

事例の検討・説明が少ない

・参加県にかたよりがあつた。多くの県が参加できるよう、時期を検討してもらえると有難い。研修は勉強になった

・事前課題で与えられた集積計画の見本ファイルの森林簿データへの貼り付けがうまくいかず時間がかかった。フォーマットを整えるなど受講生の負担軽減をしてほしい

・研修が長く感じた。休憩が少ない

・講師の説明が参考になることが多かったので、事前課題など参加者の発表のウェイトは小さくした方が良くと思う

90 点

- ・もう少し活発な意見交換になる様にできたら良い
- ・受講生側にも差があり、自分には難しい場面もあったが、全ての講義が参考になるものだった
- ・実際に所属の市町村森林を例にとって、モデル的に集積計画の作成練習を行った方が良かった
- ・「綴り〇の〇ページです」と言われたい限り、どの資料を見ればよいのか分かりにくかった。(資料の綴り方が分かりにくかった。量もすごい量だった)
- ・各研修生の書いた質問への対応時間がみてなかったこと。あとはとても良かった
- ・自分の知識不足で演習課題ができなかったため
- ・進行や議題設定は適切と考えた。あとは、参加者間でももう少し話し合える場があれば良かったと思う

■四国ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

4 点

- ・法制度がより理解できた
- ・制度の概要についてはこれまで何度か県の研修である程度は理解していたが、県のフィルターを通して(県下5地域への推進センター設置ありき)の研修より、林野庁からの全国の現状などケーススタディー的な説明の方が分かりやすかった
- ・職場では聞きにくかった細かい疑問点についてご教授いただいたので大変ためになった
- ・県の目標の一つとして、皆伐再造林があり、森林経営管理制度でもそれを意識して進めなければならないという縛りを感じていたが、決してそうではなく、森林の公益的機能の発揮こそが大切なのだと改めることができた
- ・改めて制度について復習ができて良いおさらいになった
- ・第一に公益的機能の発揮を考え進めていくこと
- ・制度の主旨、活用にあたってのポイントなど改めて確認できた
- ・制度の活用について理解が深まった。制度の活用について狭く考えすぎている
- ・全国の事例など参考になった
- ・改めて制度の概要を理解できた。全国の取組状況が8割の市町村で行われている現状。管内市町村の支援を手厚くし、意向調査にまで持っていきたい
- ・話を聞くのが精一杯で、研修が終わってから再度資料をじっくり読み返し、自分の中に取り込みたいと思う
- ・森林経営管理制度の目的や意義を知ることができた

5 点

- ・当制度の基礎的な部分を細かい点まで含めて改めて学ぶことができた
- ・必ず集積計画を策定しなくてもよいとの説明あり
- ・分かりやすく良かった

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

2点

- ・部分的になるほどと思うことはあったが、ねらいをきちんとおさえられたかと言われると少々自信がない。配布資料の読み直しや動機と理解を共有したい
- ・発表するのに緊張し抜けた部分が多かったので他の取り組みを活かせるよう研究していきたい

3点

- ・計画の記載について経営管理内容など認められない文言や後々の事業円滑化のため、留意事項を丁寧に書く必要がある事が分かった
- ・客観的なご意見が大変参考になった。まだ、基礎的な事項で理解できていない部分があり、他市町村の現状を聞かせていただいたものの、質問をできるほど理解が追いつけなかった。この反省を活かしてもっと知識を深めたいと思った。

4点

- ・意向調査における所有者不明対応の方法例が分かるとより良かった
- ・各市町の活動状況が分かり参考にすべきところがあった
- ・林野庁がチェック作成を手助けしてくれると知れたことがありがたかった
- ・集積計画作成に際しての注意点が確認できた
- ・他市町村の現状が理解できた。日高村のビジョンが参考となりそう
- ・どれだけ汗をかけるか。近道はないと感じた
- ・研修後にもう少し皆さんの事例を読み込み参考にしたい
- ・他県の取組状況が分かった。回答率を向上させる方法が分かった

5点

- ・意向調査からの集積計画までの流れを把握することができた
- ・市町村の集積計画の勉強になった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

3点

- ・民間事業者の現状を直接知ることができた
- ・中村市森林組合の組織努力自体はよく理解できたが、当制度や当研修の中でどう位置付けているのかよく分からなかった
- ・アンケートに条件を付するなど参考になった。作業員の賃金改善などの取り組みが参考になった
- ・中村市森林組合の理念を知ることができた

4点

- ・職員の平均年齢も34歳と若く、森林に関する全ての業務に従事されるとのことでまさに山のプロだと感じた。新たな森林管理システムを円滑に進めるために、地元森林組合、事業体を認定する県とも情報を共有し、協議したい
- ・組合としての理念から始まり、普段の運営の仕方など特徴が多かった
- ・中村市森林組合についての活動状況や課題についてわかりやすかった
- ・作業員が足りないのはどこも同じだとわかった
- ・市町村及び所有者の声は聞けても事業体の声は聞けなかったので今回聞けることができて良かった

5点

- ・制度開始にあたり事業者の体制の変更をしたなどの実例が知りたい
- ・優良民間事業者を選定等する際の参考になった。今後もできるだけ多くの事業体について知り、目を養っていきたい。
- ・いろいろな考え方の元、集積計画が立てられることが理解できた
- ・森林組合の理解が足りていなかったのも勉強になった
- ・作業員を全ての業務に従事させることによって組合内のバランスがよく取れており大変参考になった
- ・「恒常的な班を作っていない」作業の流れが上の者から一方的に教わるのではなく、色んな考え方を出し合い、またモチベーションを上げるよう工夫されていてやりがいのある職場だと感じた。制度についても多方向から活用して頂けそう
- ・中村市森林組合の特徴が分かりやすく勉強になった。作業員の賃金の問題はなるべく早く解決できると良いと感じた

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・手順について分かりやすくまとめられていたので今後の指導に役立てられる

4点

- ・具体的な方法、改善点が分かり良かった
- ・今まで先進市町村の取組内容を直接担当者より講義を頂いたことが無かったので大変参考になった
- ・自分の勤務地における優良民間事業体の実績しか知らなかったのも、大変ためになった。もっと様々な事業体の話を聞いてみたい。四万十市さんの活動内容に感銘を受けた
- ・先日開催した愛媛県の新たな森林管理制度の説明会では、地籍調査が進んでいないため、なかなか制度運用が進まないという理由を聞いていたので同様の状況でありながらも制度運用を前向きにしている四万十市には、尊敬の念を覚える。自県でも参考にしていきたい
- ・先進事例を参考に制度の実施を進めていきたい
- ・意向調査のやり方について前回は踏まえ改善しながら進めていかれている
- ・熟読し、市町村にアドバイスできるよう、いいところを拾い出したい
- ・具体的な事務の進め方や考え方がわかった

5点

- ・特異な地域での取り組みが参考になった
- ・四万十市の取り組みについてとても参考になった
- ・近くにここまでちゃんと進んでいる地域があるのを知らなかったのも良かった
- ・四万十市がどのように当制度を進めているかが良く分かった
- ・本庁を通して四万十市の取り組み方は情報提供いただいたが詳細な情報が直接聞けて良かった
- ・四万十市の事例が分かりやすかった。意向調査は場合にもよるが、直接訪問が一番分かりやすく、所有者も安心できるのではないかと思う

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

2点

・対象森林の決定、経営管理権の存続期間など各担当者によって考え方が様々だということが分かった(とても参考になった)。記載内容については市が何をを行い、何をしないかを明確にすることや不適切な内容があったとコメントを頂いたが、難しく理解しきれない点があった

・森林に携わった初心者にはとてもハードな課題だった。森林の状況を深読みし、別添の文言についても勉強すること等、課題が山積み

3点

・自分で集積計画を立てる機会はこれまでになかったので良い機会を与えていただけて感謝。今後は、積極的に経験を積みたい。

・ひたすら難しいと思った。勉強したい

・集積計画の作成の仕方が概ね理解できるようになった

・難しかった

4点

・紹介された注意点等を振り返り、今後に活かしていきたい

・各々の集積計画、林野庁からの集積計画がとても参考になった

・様々な考え方が大変参考になった。計画策定上のポイントの捉え方(保安林、地形、周辺公共施設)など今後に活かしたい

5点

・集積計画にあたり着目点、考慮した点が理解できた

・色々な見方、考え方があることがわかった

・考え方や方向性は間違っていないと思うので後はどうやって形にするか(様式の文言等)を早急に取り組み直したい

・実際に集積計画を作成する際に非常に役立つ内容だった

・参加者それぞれ様々な視点で計画を立てているのかわかったし、講師が実際に例を作成してくれたのが良かった

・受講生の発表を聞き、色々な考え方があり、勉強になった。このような機会があれば集積計画を作成したい

・集積計画を作成する上で注意すべきことがわかった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

・管内市町村にこの制度を活用し、針広混交林化へと誘導するところがある。講義で聞いたことを参考に山を見に行きたいと思った

4点

・広葉樹林化は様々な点でハードルが高いと感じたが、今後の業務の参考にしたい

・広葉樹林化は容易でないことが良く分かった

・職場に持ち帰り検討したい

・広葉樹の天然更新については安易に考えず、前生樹、周辺の稚樹等を十分理解し、判断していきたいと考えている

・市町村がお預かりした森林を、100年後を目指しての施業を考えるということはとても責任がある仕事だと痛感した

- ・広葉樹林化は容易ではなく、むしろ人工造林より難しいことが分かった

5点

- ・間伐、皆伐施業選択の参考になった
- ・今治市では長伐期非皆伐複層林施業を進めてきた。公益性の高い施業で市としても(個人的にも)推進したいが、高度な知識と技術が必要であり、100~200年オーダーのモニタリングが必要とのことで集積計画に「複層林化を図る」と明記しづらい
- ・とても興味深い講義だった。今後も情報提供がいただけるとありがたいと思った。
- ・結局どのような施業が良いのかわからなかった
- ・針広混交林の話が聞けて良かった
- ・すごく分かりやすく充実した内容だった
- ・天然更新、針広混交林への誘導の難しさが理解できた

点なし

- ・森づくりの考え方についてとても参考になった。様々なことを考えながら地域に合わせた森林施業が必要と感じた
- ・大変興味深いお話しであった。森づくりの基本的な考えが勉強になった

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

4点

- ・境界の見える化について大変分かりやすく講義いただき勉強になった。GISについて知識が少ないので帰って勉強したい
- ・集積計画の作成・実施について、今後は自分からやってみたいと思えた(これまではそのような気持ちになれなかった)
- ・無料のソフトウェアやオープンデータを使用してここまでできるのかと感心した。参考にしたい
- ・作成・実施の際、参考としたい
- ・集積計画作成のヒントが多数あり、参考になった
- ・集約化を進める上で国調が進んでいなくても一定可能な範囲で情報を整理できる術を教えてください
- ・具体事例を見ながらの講義は分かりやすかったのですが、実際身近な作業ではないので、市町村にアドバイス等できるようになるにはまだまだハードルが高い
- ・境界の明確化の復習になって良かった

5点

- ・想定ではあるが、手法として参考になった
- ・使えるものは使ってうまく活用していこうと思う
- ・今あるデータでも進められる例は今後に活かしたいと思う
- ・具体的なGISを見せながら示していただけてどういうことをやればよいのか良くわかった
- ・林野庁の正直な感想等が聞けて有意義であった

点無

- ・管内市町村は国調の進捗率が良い、悪いところの差がある。国調がおわっていないから意向調査ができない、との声がある。しかし、今回講義を聞いて当事者同士の合意があれば境界を確定できるということを再度伝えたいと思う

Ⅱ 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・丁寧に連絡されていた

(2)研修の進行・運営流れについて

4点

- ・演習発表には時間が足りなかった印象がある

5点

- ・大変勉強になった。ありがとうございました
- ・質疑応答が大変中身のあるものとなったのは、進行の方のおかげであると思う。ありがたい
- ・丁寧な説明で分かりやすかった
- ・会が円滑にまわっており、非常に充実した研修だった
- ・良かった
- ・進行は分かりやすく示していただいた
- ・分かりやすかった
- ・スムーズにできていた
- ・3日間お疲れ様でした、ありがとうございます
- ・円滑な運営ありがとうございます

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

5点

- ・すごく丁寧に対応していただいた。コロナ渦で大変だったと思うが、開催していただきありがとうございました
- ・個別質問をさせていただいた際は大変丁寧な回答をいただいた。皆さん優しくて温かい研修だった
- ・特に心配であった感染症対策もとられていて安心しました
- ・感染拡大対策もされており良かった
- ・コロナ対策の徹底がされていた
- ・室温も気にしていただけ良かった
- ・丁寧な対応ありがとうございます

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・初めて円滑化対策に参加させていただいた。主な対象は市町村を指導する県職員となっていたが、今後は実際に行う市町村を主なターゲットとした研修を行っていただきたい
- ・なるべく多くの自治体に参加できる体制ができたら良いと思う
- ・森林GISの有効活動を推進していきたいと考えているため、今回よりさらに深まった内容の研修
- ・毎年度、このような円滑化対策研修を実施していただければとても助かる。配分計画策定済みの

市町村の意見も聞いてみたい

- ・同様の研修があれば参加したい
- ・これから市町での取り組み事例がたくさん出てくるであろうと思うので、参考になる取り組みを紹介しつつ、国での法整備状況について解説していただきたい
- ・今後、情報が集まれば他県の取り組みなど詳しく紹介する時間があっても良いかと思った
- ・この制度が数年経過する事により、全国に蓄積された優・悪事例を教えて欲しい
- ・実際に各地で作成されている集積計画や配分計画を見ながら色々話し合うような場があると良い
- ・先進地(四万十市のような)の話をもっと具体的に聞いてみたかった(集積計画の内容等)
- ・事業費算定に関する演習、意向調査地区選定に関する模擬演習
- ・林務をあまり分かっていない人のための研修と合わせた森林経営管理制度説明会

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・大変中身の濃い研修を開催いただきありがたかった
- ・特に四万十町の主幹や林野庁講師には良い刺激を受けた。担当地域での未整備林の解消・森林の公益的機能の発揮に尽くしたい
- ・林野庁の生の声を聞いて良かった
- ・3日間大変勉強になった。4月から入庁したばかりで分からない部分もあったが、帰って復習したい。印象に残った講義は、林野庁の講義、優良民間事業者との意見交換、市町村森林経営管理事業のための森林施業
- ・経営管理権集積計画を自分で作成し、研修時に発表する課題は非常に良かった。やはり、自分で作成してみないと分からないため、事前の勉強になった。また、研修当日に様々な考え方を教えていただくことにより、より理解することができた
- ・市町村が担う役割が多く、その分責任が重大。だから県が支援をしていかなければならないが、実際現在の職は2年目であり、なかなか市町村の支援ができる程、林業についての知識が乏しいため、このような研修をしていただければすごく助かる
- ・経験が浅いのでその場でお話しされた内容が頭に「スーっ」と入ってこず、事前に資料に目を通していただければもっと深く聞けたのかと思う
- ・意向調査から配分計画までの詳しい流れ(スケジュール)がわからなかった

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70点

- ・公務時間外を研修で使う場合があったのでスケジュールなどの見直しが必要

80点

- ・減点は受講者である自分の受け皿が十分でなかったため
- ・参加者同士の交流議論がもう少しあるのかなと思っていた(コロナの影響もあるかと思いますが)
- ・2日くらいで行うとありがたい

90点

- ・少し時間が不足していると感じた

- ・様々な立場、理解度の方が出席していると思うのでもう少し時間をかけて研修していただきたいかった
- ・今回は全く知識がない状態だったので講義形式が多くためになったが、次回参加する際は、アウトプットを目的とでもう少し討論等を行い研修も組み込んでいただけると嬉しいと感じた
- ・参加同士のディスカッションがあれば情報共有が図れる(コロナのため今回はなかっただけかもしれない)
- ・森林組合の話は制度とはあまり直結していないと思ったため
- ・時間配分

■九州ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1)森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3点

- ・スライドのピントが合わなく見にくかった。各地域の事例紹介が参考になった

4点

- ・譲与税の使途についての考え方など参考になった
- ・制度の考え方を改めて見直すことができた

5点

- ・分かっているようでよく分かっていないモヤッとしたところが解消された気がする
- ・現状等の確認ができた
- ・疑問点についてピンポイントで講義頂いた
- ・意向調査の目的、森林関係者の責務など、考え方の基本について説明があり、ありがたい内容だった
- ・法令や現地の声に詳しく理解の幅が広がった
- ・改めて制度の趣旨、贈与税の使途について林野庁の見解が確認できて良かった
- ・質問に対する林野庁回答については今後の実務に大いに役立つものと感じた。参考にさせて頂く

(2)経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】

3点

- ・事例発表をもう少し長くして良いのではないのでしょうか
- ・他の自治体の事業の進め方を詳しく交換できれば良い
- ・質問への回答は良く理解できたが、発表者は事前に教えて頂ければ良かった。自分の発表をまとめるのに他の人の発表が頭に入らなかった

4点

- ・直接事務に携わった市町の担当の方の話が特に参考となった
- ・各市町村の進め方・考え方について情報収集できた
- ・他県の現状がよく分かった
- ・集積計画の作成についてももう少し時間を割いてほしかった。2日目PMはしっかり聴く
- ・受講生皆様のご苦勞が分かった

5点

- ・他市町のやり方が分かり、内容をよく調べて取り入れていきたい
- ・疑問点についてピンポイントで講義頂いた
- ・他市町村の取組状況が確認できた

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】

4点

- ・人材育成の大切さが分かった。行動指針をデスクマットにはさみます
- ・安全管理、現場管理の取組方法について参考となるものが多く、地元の事業体にも是非普及させていきたい

- ・田中林業の優良企業の中身の一端を見た気がする

5点

- ・本市の事業者にも研修内容を紹介し、より良い事業を行ってもらえるように助言していきたい
- ・具体的な取組事例を伺い、また経営理念の在り方など今後の事業体指導に是非活かしていきたい
- ・林業事業者の意識の高さ
- ・ビジョンの意識が高い事業者の話が聞いて良かった
- ・同じ立場の林業事業体として、大変興味深く聞くことが出来た。安全管理についても大変参考になった

- ・優良事業体の経営の進め方が参考になった
- ・模範的な林業経営者。当管内にも欲しい経営者。とても良い内容だった
- ・事業体育成に役立てたい
- ・経営理念が素晴らしかった

(4)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・鹿児島県のサポートが分かって良かった

4点

- ・市町村サポートセンターの話は参考になった
- ・サポート体制が整っていると感じ、当県でも参考にさせて頂きたい
- ・市、県森林組合連合会、市町村サポートセンターの連携が取れている

5点

- ・市町、県、関係団体の連携の重要性を改めて感じた
- ・県、林業団体の連携が良く取れていた
- ・やってきた方向性が認められて自信がついた
- ・当制度の解釈によって、それぞれの行政の取組が変わるということが分かった
- ・取り組みについては鹿児島市のモデル事業を参考に進めてきたので特にコメントはなし

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・自分の説明がまとまりなくて申し訳なかった

・多くの考え、説明を聞くことができたのは良かったが、全体を総括した林野庁の作成例についての説明を少し詳しく伺えればより良かった(全国的な事例も踏まえてのお考えがあると思うので)。

・考え方も様々であるが、ポイントについて後でしっかり見直しておきたい

・図面を分析する能力を高めないといけない

・もっと時間が必要

・受講生の取り組みに濃淡があり、あまり参考にならなかった

4点

・集積計画は人それぞれ

・林野庁の説明はよく分かった。研修生の発表はそれぞれ考え方が異なることが確認できた

・集積計画作成に当たり、基本的な考え方が理解できた

5点

・色々な考え方を聞くことができ参考になった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

・民有林で行政が目標林型を設定することは難しいとの固定概念がある

・常緑広葉樹の混交林化の可能性についてもう少し詳しく聞けると良かった

・大変有意義な講義で有難く拝聴した。複層林化がいかに大変な施業であるかを痛感した

4点

・天然更新も難しいのだと認識できたため、計画地選定について市町と共に考えていきたい

・広葉樹林、複層林化への更新の難しさ

・九州に限ってこの事業に沿った話を聞きたかった

・基本的な考え方は十分理解できた。しかし、現実の林分においてどのように施業を行っていくのかは非常に難しい課題であると思う

5点

・混交林化にするには長い期間が必要であり難しいこと

・人工林→複層林化の難しさ

・新たな知見を得ることができた

・針広混交林化については地理的・地域的要因による部分が大変大きいので取り入れる際は検討が必要かと思った

・針広混交林への誘導の困難さを理解

・意見を言えなかった事が残念だった

(7)経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】

3点

・制度が多く難しいと思ったが、有効な手段は活用していけるよう、勉強していきたい

・当市でも税務部局との対応に苦慮している

4点

・北海道の森林組合が行っている境界明確化の資料(送付文書等)があれば頂きたい

・境界についてはよく懸案ともなるので今後参考にしたい

5点

- ・意向調査後の実務をどう進めていけばいいのかが分かった
- ・内部的に理解できた
- ・疑問点についてピンポイントでご講義頂いた
- ・関連する法改正の話まで聞けたので有意義だった
- ・色々な事例を紹介して頂いて参考になった
- ・各種制度の見直しや事例紹介が参考になった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・課題の印刷等大変お世話になった
- ・研修課題で自分のミスで何回かやり取り、親切にして頂いた。ありがとうございました

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

- ・集積計画作成の演習方法は見直しが必要

4点

- ・時間オーバーがあったが、それ以外は良かった
- ・時間配分は難しいと思う。多くの資料の整理ご苦労様でした
- ・発表させたり、名指しされたり緊張感のある研修で良かった。初日だけが終了が遅くなった
- ・本来はグループ討議して発表する研修だったと思う。コロナで難しかったことと思うが、他研修生の様々な考え方を聞きたかった
- ・タイムスケジュールがちょっとコントロールできていなかった

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

4点

- ・大変丁寧な態度・対応だった
- ・フレンドリーに対応して頂いた

5点

- ・大変快適に受講できた。ありがとうございました。
- ・お世話になった
- ・親切で良かった

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・手探り状態は皆同じかと思うので、今後も研修等を通じ、情報共有しながら地域の森林経営、整備が進めていければと思う。
- ・各市町村で色々な進め方が出てくると考えられるので、先進的な事例などを紹介して、自分の地域に合ったやり方を考えることができる研修
- ・当制度の具体的対応事例

- ・市町村毎の森林所有者状況等に則した研修及びサポート
- ・自治体を対象とした研修(林野庁からの)もあると良い
- ・市町村経営管理事業の取り組み方(設計書の作り方、検査等)について受講してみたい
- ・混交林化、複層林化を目指す上で稚樹の確保が重要とのこと、伐採の安全確保との兼ね合いもあり、作業方法の指導方法を考える必要があると思うため、その研修等があったら良い
- ・意見交換の場を増やしてほしい
- ・Webシステムによる受講

(5)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義が印象に残った。ただ、森林経営管理事業の中で取り組み事項を示して頂きたかった
- ・林野庁の講義、話し方が分かりやすかった
- ・制度を作った林野庁の方々のお話しやつながりができて良かった
- ・直接林野庁の考えが聞けて非常に良かった
- ・皆様の熱意が伝わった。有難かった

Ⅲ 森林経営管理制度円滑化対策研修の評価

(1)森林経営管理制度円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

80 点

- ・資料が多く、非常に参考になるが、説明を受けていないものも多く、後から目を通して確認していきたい
- ・林野庁の説明をもう少し聞きたかった

90 点

- ・時期的に早かったから仕方ない部分もあるが集積計画作成後の進め方や事例の紹介をもう少し勉強したかった
- ・駐車場がある会場を選定して頂きたかった。時節柄、懇親会が出来なかったのが残念
- ・初日の遅れだけがマイナス点
- ・課題解決演習において意見交換ができれば良かった
- ・演習の実施方法についての改善
- ・タイムスケジュール

100 点

- ・大変有意義だった、ありがとうございました

ブロック事務局名簿

*運営スタッフは主な者である。

北海道・東北ブロック事務局

名称	宮城県林業振興協会		
所在地	〒981-09141 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎10F		
電話番号	022-301-7501		
運営スタッフ	事務局長	田畑正紀	
	スタッフ	金澤孝之	光岡志保 小山とも子

関東ブロック事務局

名称	公益社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構		
所在地	〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町1030-2		
電話番号	028-643-6801		
運営スタッフ	事務局長	瀬田正幸	
	スタッフ	大塚初恵	

中部・近畿①ブロック事務局

名称	石川県山林協会		
所在地	〒920-0362 石川県金沢市古府1-197		
電話番号	076-240-7950		
運営スタッフ	事務局長	坂口浩一郎	
	スタッフ	野村史絵	

中部・近畿②ブロック事務局

名称	公益社団法人 静岡県山林協会		
所在地	〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階		
電話番号	054-255-4488		
運営スタッフ	事務局長	西島 潔	
	スタッフ	河合征彦	高尾篤史

西日本ブロック事務局

名称	鳥取県林業普及の会		
所在地	〒680-0947 鳥取県鳥取市湖山町西2丁目413番地 鳥取県山林樹苗協同組合内		
電話番号	0857-28-4886		
運営スタッフ	事務局長	有吉邦夫	
	スタッフ	谷口奈々	

四国ブロック事務局

名称	一般社団法人 高知県山林協会内		
所在地	〒783-0055 高知県高知市伊勢崎町8-24		
電話番号	088-822-5331		
運営スタッフ	事務局長	長澤佳暁	
	スタッフ	橋本達夫	永野俊彦

九州ブロック事務局

名称	鹿児島県森林組合連合会		
所在地	〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町9番15号		
電話番号	099-226-9471		
運営スタッフ	事務局長	後藤 猛	
	スタッフ	西 太志	久野真実 淵脇咲季
		加世田加奈子	

新型コロナ・ウイルスに対応した森林経営管理制度円滑化対策研修の 実施方法について

1 基本的な考え方

- ・ コロナであっても何らかの形で研修を行う。（予定したものには及ばないが一定の成果は確保したい。）
- ・ コロナによる制約の下で可能な限りの効果が上がる方法を探る。

2 コロナによる制約の区分ごとの対応方法

（1）参加者が会場に集まらない場合（緊急事態宣言など）

<研修講義>

- ① オンデマンド配信（予め録画・編集した動画を配信）及び資料配布を行う。
 - ・ 各講義を録画し、参加予定者等に対してアプリインストールの手間が少ない YouTube を配信に利用する。
 - ・ YouTube のリンク（URL）を参加予定者に連絡し、一定期間視聴可能とする。（一般の者には内容を誤解される場合があるので録画の視聴は参加予定者に限定し、都合がよい時間に見られることと、質問の回答のため締切日を設ける必要があることなどを勘案して、視聴可能な適切な期間を設ける。）
 - ・ 講義への質問については期限を区切って事務局のメールアドレスに送ってもらい、林野庁等の講師と共有する。林野庁等の講師からの回答は事務局から参加者に送信する。
 - ・ ライブ配信（リアルタイム）は発信場所が複数になり、円滑に配信できない恐れがある。また、発信してもらおう講師への大きな負担となるので行わない。

②動画配信・資料配付の準備

- ・ 林野庁講師、森林総合研究所講師（森づくり）の講義については、全林協が録画を行い、配信する。
- ・ 講義資料の配布はブロック単位とせず、開催不能となった全ブロックに共有するものとする。
- ・ 配信動画及び資料配付を踏まえた、事後質問については、林野庁及び全林協で精査し、書面回答の必要性があるものにとり、講師に取りつなぐこととし、講師の負担軽減に努めることとする。

<事前課題>

- ・コロナ対応の有無にかかわらず、各ブロックで予定している研修開始日の2カ月前（ただし、1回目北海道・東北、2回目四国は、日程に余裕がないため6週間程度前）に、受講生には「受講の手引き」とともに事前課題を送付する。
- ・事前課題は当初予定の締切日で、研修開始の3週間前に提出を促し、2週間前までには受講生には提出してもらう。
- ・緊急事態宣言などで、集合研修が出来なくなった時点で、オンデマンドで研修を行うことを（県窓口もしくは事務局を通じて）2週間前には受講生に伝える（状況により、これより短い期間とならざるを得ない場合もある）。
- ・オンデマンド研修となった場合、事前課題として提出された質問、事例等は各ブロックで集約して、受講生に共有する。
- ・共有の際に、質問に対する回答および課題についての模範解答例（林野庁作成）を受講生に送付する。

<研修修了判断>

- ・各講義（YouTube）の受講感想・質問記入用紙を受講生に送付し、講義視聴後に事務局に送付してもらう。
- ・受講感想・質問記入用紙により、すべての講義を視聴したことが確認できた者に修了書を発行する。

（2）参加者は研修会場に集まれるが、全林協、林野庁、森林総研は会場に行けない場合

（1）と同様の対応とする。

（3）参加者、林野庁、全林協は研修会場に集まれるが、外部講師（森林総研、市町村講師、事業体）が会場に行けない場合

研修を当初案どおりに実施し、研修会場に来られない外部講師のうち、森林総研については録画、市町村及び事業体については、可能な限り資料と音声通話とする。

3 研修の開催方法と上記2の対応方法の関係について

本研修では、講師からの一方的な講義だけではなく、受講生から事前に提出してもらう森林経営管理制度に関する質問や、制度の要である意向調査の取組事例、模擬的に作成した経営管理権集積計画等を研修素材として活用し、質問や発表（報告）、意見交換など対話形式による講義も交えながら進めていくことが特徴であり、研修効果を上げる方法となっている。

また、この研修は、全国各地から森林経営管理制度に取組む関係者が集まるため、

これを機に、組織を超えた技術者間の連携・協力関係の形成にもつながることも、併せて期待する方法でもある。

よって、森林経営管理制度に取り組む関係者が研修会場に集まり、講師の話を聞いてもらい、さらに質疑応答を通じて制度の円滑な導入と運用についての理解を深めてもらうというこれまでの研修の形が理想的である。

上記の考え方からすると、(1)の録画配信の場合は効果が低下することは否めないが、コロナの状況が許さないことからやむを得ない。

しかし、研修に参加予定であった関係者に対して、森林経営管理制度の円滑な導入と運用についての可能な限りの情報を提供することで一定の効果が期待できる。

4 対応変更判断のタイミング

2 (1) の場合には参加予定者に研修を中止することを伝えなければならないことから、前述のとおり、2週間前に判断を行う（状況により、これより短い期間とならざるを得ない場合もある）。

研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について (研修生への要請事項)

森林経営管理制度円滑化対策研修の研修実施に当たって、下記のとおり新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染防止対策を実施しますので、下記の要請事項等の遵守をお願いします。

記

1 研修受講前に関する事項

(1) 研修受講前の体調管理について

万全の体調で研修に臨むため、日頃から体調管理に努めてください。また、受講前の2週間は毎日（できれば朝夕2回）検温の上、各自の体調等について、別紙「体温・体調等記録用紙（表）」に記録し、受講の可否の判断材料としてください。

なお、当該記録用紙は、研修14日前から研修開始日を（表）面に、研修開始日から研修終了日までを（裏）面に記載する様式になっていますので、両面印刷の上、研修開始日までの状況を（表）面に記載し、研修に持参してください。

(2) 研修受講の可否の判断について

ア 受講の取りやめ

以下のいずれかに該当する方は、受講を見合わせてください。

- ① 研修前2週間以内に発熱等の症状が見られた者（※新型コロナが疑われる場合以外であっても、体調不良者は参加を見合わせてください）
- ② 国・地域を問わず、海外からの帰国後2週間以内の者
- ③ その他、同居親族等の家庭内又は職場の同僚などの感染が確認される等、感染のおそれがある者

イ 受講を要検討

以下のいずれかに該当する方は、受講の可否を慎重に検討願います。

- ① 基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患ほか）がある者、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者など、重症化しやすいとされている者
- ② 研修前2週間以内に大規模イベント等（ライブハウス、コンサート等）に参加した者

ウ その他

感染が拡大している地域等からの研修生は、当該都道府県等の方針（県外への移動自粛要請等）に基づき、研修受講について判断願います。

(3) 来場までの間の感染防止等について

ア 研修会場への来場の際、公共交通機関の利用にあたっては、感染防止にご留意ください。なお、利用した移動ルート（自宅最寄駅等⇔研修会場最寄駅等）

の便名・座席番号等を控えておいてください。

イ 来場時に検温を実施し、体調の聞き取りを行います。その際、発熱症状等がある場合は、研修参加を取りやめ、そのまま帰宅等していただきます。

(4) 厚生労働省配布の接触確認アプリの活用（スマートフォン所有者のみ）

各自のスマートフォンに、厚生労働省が配布する新型コロナの陽性者と接触した可能性について通知を受け取ることのできるアプリをインストールし、研修受講の可否の判断材料としてください（※詳しくは厚生労働省HPを参照）。

2 研修中に関する事項

(1) 持参品について

各研修生は、マスク、体温計を必ず持参願います（マスクは研修期間中に必要な枚数）。

(2) 研修中の感染防止対策について

ア 毎朝、研修スタッフが体調不良者の有無を確認しますので、研修生は各自で毎朝夕検温し、別紙「体温・体調等記録用紙（裏）」に体調その他参考事項等（メモ欄）を記録いただきます（記録用紙は研修最終日に提出）。

イ 研修初日に実施していた意見交換会は、開催を見合わせます。

ウ 研修時間外においても不要な外出は避け、常識的判断に基づく、節度ある行動をとるよう心掛けてください。

(3) 講義・実習中の感染防止対策について

ア 研修中は、可能な限り、人を密集させない環境の整備に努め、講義では換気を励行します。

イ 研修会場内では、マスクを着用していただきます。

(4) 体調不良者の取扱いについて

ア 新型コロナの疑い如何に関わらず、体調不良者は即時研修を中止し、帰宅等していただきます。

イ 感染のおそれがない体調不良者の場合、必要に応じて病院で診察後、医師の診断結果に基づき帰宅・入院等していただきます。

ウ 感染が疑われる場合（濃厚接触者であることが判明した場合等を含む）、保健所等の指示に基づき対処します。また、帰宅方法等は、保健所や研修生の所属機関とも協議の上、決定します。

3 研修受講後に関する事項

研修終了（帰任）後2週間以内に体調不良となる等、当該研修受講時には既に新型コロナに感染していたおそれがある場合は、至急、研修事務局に連絡願います。

4 その他

感染拡大状況等によっては、研修開始前に、急遽、研修を中止する場合があります。また、研修生に新型コロナが疑われた場合等は、研修実施中であっても、保健所等の指示に従い、即時研修を中止し、全研修生を帰宅等させる場合があります。

体温・体調等記録用紙（表）
（研修受講14日前からの状況）

参考資料1-7

*新型コロナウイルスの最大潜伏期間はおおむね14日間といわれています。
*本記録用紙には、研修14日前から研修開始日までの発熱等の症状と健康状態をセルフチェックしていただくものです。
*この期間に体調不良を感じた場合には、無理せず、職場と相談の上、他の研修生のためにも受講について再検討してください。
*個人情報の取り扱いには十分注意し、感染対策以外では使用しません。

所 属		研 修 名	森林経営管理制度円滑化対策研修
ふりがな		研修区分	北海道・東北ブロック（宮城県仙台市）
氏 名		研修期間	令和2年9月16日（水）～9月18日（金）

日付	体温測定時間	体温(°C)	【新型コロナ感染症を疑う症状】 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、味覚や嗅覚の異常など		【参考1】 医療機関の受診・解熱鎮痛薬の内服など	【参考2】 「三密」状態になるなど感染リスクが高いと思われる外出先(場所)・相手方など
			<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月2日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月3日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月4日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月5日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月6日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月7日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月8日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月9日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月10日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月11日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月12日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月13日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月14日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月15日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
9月16日 (当日)	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有()		

【注】「三密」状態:①換気の悪い密閉空間、②大勢がいる密集場所、③間近で会話する密接場面が重なる状態

体温・体調等記録用紙（裏）

（研修期間の状況）

*本記録用紙には、研修開始日から研修終了日までの発熱等の症状と健康状態をセルフチェックしていただくものです。

*研修期間に体調不良を感じた場合には、速やかに研修スタッフに申し出てください。

*本記録用紙は、最終日に提出してください（本記録用紙は研修終了後2週間保存後、廃棄します）。

*個人情報の取り扱いには十分注意し、感染対策以外では使用しません。

所 属		研 修 名	森林経営管理制度円滑化対策研修
ふりがな		研修区分	北海道・東北ブロック（宮城県仙台市）
氏 名		研修期間	令和2年9月16日（水）～9月18日（金）

日付	体温測定時間	体温(°C)	【新型コロナ感染症を疑う症状】 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、味覚や嗅覚の異常 など		【参考1】 医療機関の受診・解熱鎮痛薬の内服など	【参考2】 ・宿泊施設名称 ・研修中に利用した食堂等の名称など
			<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
9月16日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
9月17日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
9月18日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		

【メモ】
 班のメンバー以外で研修中(時間外を含む)に間近で会話する場面があった方(スタッフを含む)の氏名

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

【注】濃厚接触：1mの距離(目安)で、マスク等を着用せずに15分以上の接触があった者(喫煙所・会食など)

